

THE PHILATELIST MAGAZINE

フィラテリスト

スタンペディア日本版機関誌

Magazine

2020

WINTER ISSUE
STAMPEDIA INC.



フィラテリスト Magazine の読み方・使い方

当誌の位置づけ

フィラテリスト Magazine は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。年会費を納めた会員には、冊子（フルカラー 約 160 頁）が、発行の都度郵送されるほか、「マイスタンペディア」（右図）より冊子到着前にダウンロードして閲覧していただくサービスを提供しています。 <http://my.stampedia.net>

冊子の提供サイズ

機関紙（通常号）は A5 判と A4 判を用意しており、年間を通じて予めご指定頂きます。特に指定ない場合は A5 判を購読するものとして取り扱います。年途中での A4 判へのサイズ変更は、差額のお支払が必要ですが承ります。

PDF の活用方法（見る）

ダウンロードした PDF は、パソコンやスマホに保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時に PDF 版をご覧ください。

万一、ダウンロードした PDF が見つからなくなっても、会費を継続して支払っている期間は、入会以来全ての PDF を再度「マイスタンペディア」からダウンロードできます。

PDF 版は Adobe Reader 等の PDF 閲覧アプリでご覧頂くことを推奨いたします。ブラウザ（インターネットエクスプローラー等）での閲覧は不安定であり、勧めません。

PDF には目次がついています。目次表示機能付き PDF 閲覧アプリでは読みたい記事を簡単に探すことが可能です。

また機関紙の「目次」（原則として 4-5 ページ）で記事タイトルをクリックすると、読みたいページにジャンプします。

PDF の活用方法（印刷する）

ダウンロードした PDF は、個人の利用に限り、いつでも好きな時に繰り返し印刷することが許可されています。各号に用意された目次を参考にして興味ある記事を見つけ、印刷を行ってください。なお当誌では表紙を 1 ページ目としてページの割り付けを行っておりますので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しています。（ページ番号は各ページのフッタに表示しています）

なお本誌 PDF は快適なダウンロードの為、ファイルサイズをコンパクトにしています。この為、弊社で製本してお届けする冊子と比較すると印刷結果のクオリティは落ちます。

当誌の編集方針

現代のフィラテリーは古今東西の幅広い収集対象に対して深く研究が行われると共に、収集方法も多岐に分かれています。このような幅広い興味・関心を満たす郵趣雑誌は、多くのページ数を持ち、掲載が特定の分野に偏らない存在であることが理想的です。

この理想を実現するために、フィラテリスト Magazine はページ数に制限の少ない PDF で閲覧されることを前提に編集しています。まだ新しい、このようなスタイルの郵趣雑誌を提供することにより、郵趣の世界に元気を与えたいと考えています。



元旦発行の号外で 600 人超の郵便家に新年のご挨拶 大名刺 2021

「スタンペディア日本版」の機関紙である「フィラテリストマガジン」は毎年元旦に、会員の年賀メッセージを掲載した号外を発行しています。来年元旦も会員の皆様の交流促進のため「大名刺 2021」を行いますので奮ってご参加ください。

この企画は昔流行った「大名刺交換会」の誌面再現です。アルバムリーフ1ページを大きな名刺と見立て、参加者が展示し正月を祝う郵趣の取り組みは、近年正月の催しとして目にする事も少なくなりました。参加者が減少しただけでなく、お酒が入りほろ酔い気分になるイベントに、切手のリーフを持参し、紛失するリスクが嫌がられている面もあると思います。

- ① 原稿提出はメールなら大晦日まで OK。
大晦日まで忘れていても間に合います。
- ② 元旦夕方迄に PDF は配信されます。年賀状を出さなくても替わりになります。
- ③ 豪華商品の当たる「スタンペディアお年玉」に参加できます（自動登録）。
- ④ 「冊子版」を参加者全員に寄贈します。
(1/10 頃、発送予定)

参加要綱

参加資格 「スタンペディア日本版」2021年会員

原稿を郵便で送る場合

提出締切 2020年12月28日到着分

お送り先 102-0083 海事ビル内郵便局留置 スタンペディア

原稿を電子メールで送る場合

原稿締切 2020年12月31日 22:00

お送り先（電子メール）: tpm@stampedia.net

リーフ画像一枚のみをお送りください。カラーコピーのご郵送でも、画像を電子メールでお送り頂いても構いません。

注1 リーフ上部に氏名をご記入ください。（漏れている場合は当社で記載します）

注2 掲載順は12月15日を起点とした到着順です。なお、参加者が百名を大幅に越えた場合、その時点以降の到着分はPDF版には掲載されますが冊子版には掲載されません。

注3 サイズは自由ですが、A4判に収まるように縮小します。

注4 内容により掲載をお断りする場合があります、この場合、発行者は一切の理由を開示しません。

フィラテリスト Magazine

第29号

目次

当誌の読み方・使い方		2
目次		4
郵趣界重大ニュース		6
郵趣カレンダー		10
スタンペックスジャパン2021		12
国際切手展の開催動向		14
2021年度 郵博 特別切手コレクション展		15
第3回 南方占領地のフィラテリー展		16
郵趣雑誌およびその発行者の活動の紹介		18
私の発見・私の報告		
5厘小判葉書の記番印の使用局		20
モリコー和欧文機械印「幻の平成2年10月消印」	藤田 俊則	22
イマキケ 今更聞けないフィラテリー		
(11) 太平洋戦争中にどうして欧文印が使われているの？		24
(12) 明治4年12月の料金変更の基本重量は2匁？それとも4匁？		26
(13) お勤めのルーペは？		28
Classic Philately 連載 クラシック切手		
(12) 1847 レディ・マクロード	吉田 敬	30
寄稿記事・郵趣論文		
2020年の日本の新切手	山崎 太郎	32
南方占領地のフィラテリー (15) 北ボルネオ / 正規切手	守川 環	38
内容証明郵便の特急取扱使用例	町屋 安男	45
世界一周のカードとカバー	安藤 源成	50
「郵便交換條約」と「外国郵便税表」	安藤 源成	54
戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (6) SHIMONOSEKI 関連局	杉山 幸比古	56
戦後の欧文櫛型印 (6) C 欄 JAPAN 中間グループ (下)	神宝 浩	70
日本最古の外信配達証明便と各国の配達証明制度	山本 勉	76
江戸時代の国際郵便 (1) 文久3年・スイス	吉田 敬	96
琉球の航空郵便 (3) 多数貼	木戸 裕介	98
和欧文機械印トピックス	水谷 行秀	103

和欧文機械印 最新使用54局一覧

鈴木 盛雄 106

コレクションの作り方

切手コレクションの紹介

風景入通信日付印

石田 徹 108

英連邦占領軍の切手

吉田 敬 110

郵趣活動の記録

郵趣振興協会 活動報告

郵趣振興協会 112

国内競争切手展 受賞結果抜粋 JAPEX2020

郵趣振興協会 115

JAPEX2020 参観記

長野 行洋 118

第11回郵便史シンポジウム

和田 文明 127

「2020 大韓民国郵票展示会」参観記

ソフィチャン 130

オークションレポート

ジャパンスタンプオークションニアレポート

鯛 道治 135

スタンペディアオークション セールレポート・落札結果等

152

広告一覧

フィラサーチ [P.63]

スタンペディアオークション株式会社 [P.164]

Stampex Japan 2021 実行委員会 [P.62, 75, 80, 102]

付録

付録1	切手コレクション紹介 2 作品
付録2	郵便交換条約、外国郵便税表

郵趣界重大ニュース

2020年9月～2020年12月

1 新型コロナウイルス感染症がまだまだ流行するが、郵趣催事はほぼ復活

前号、前々号で取り上げた、新型コロナウイルス感染症の世界的流行はその後も続いています、国内の郵趣催事の記録を掲載します。

11月以降、感染流行の第三波が来たと言われていますが、本ニュースで取り上げる2020年9月から12月初めにかけての期間の郵趣催事については、ほぼ復活したと言える状況です。国内のここ数ヶ月の動向をまとめました。

時期	展覧会、WEB セミナー等	即売会・フリマ・例会	五大オークション+ナルミ
9月	10. 郵趣振興協会、スタンベックス2021の開催を告知 (IREX 公開)	5. 切手市場、開催 12. 名古屋切手フリマ in 大須、開催 (両フリマは10月以降も定期開催を継続中)	5. JPS オークションが下見会を再開 13. ジャパンスタンプが会期を一日に短縮してフロアオークションを再開
10月	1. 郵趣振興協会、12/12-13に開催予定の「第3回南方占領地のフィラテリー展」の会期を12/14-15に変更することを発表 15. PHILANIPPON2021 実行委員会、IREX を改訂 (出品料金、提出手段、エントリー締切など) 19. 郵趣振興協会、翌年2月開催予定の「第4回いずみ展」の中止を発表		
11月	5. TAIPEI 2021 実行委員会、会期の2022年への延期を発表 6. 郵趣協会、JAPEX2020を開催 29. 郵趣振興協会、日本初のWEBセミナー「出品者による作品解説」を開催		7. ジャパンスタンプ、浅草でのフロアオークション開催に伴い、従来より広いスペースを使用
12月	3. 郵趣振興協会、2021年度の、郵博 特別切手コレクション展の開催計画を発表 6. スタンプショウ=ヒロシマ2021 実行委員会、会期の来年9月への延期を発表 14. 郵博 特別切手コレクション展、2020年度唯一となる「第3回南方占領地のフィラテリー展」を開催 (予定) 23. 南方占領地切手コレクターズクラブ、作品解説のWEBセミナーを開催 (予定)	5. ジャパンスタンプ、大阪駅前第3ビル切手バザールを再開 26. 切手市場、年末のフリマを開催 (予定)	

2 国際郵便に第4地帯が復活

日本郵便は2021年4月1日から、国際郵便に第4地帯を新設し、これまで第2地帯に含まれていたアメリカ（グアム等海外領土含む）を、新設の第4地帯に変更すると共に米国あての小型包装物を大幅に値上げすることを2020年10月15日に発表しました。

小型包装物と言うとわかりにくいのですが、日本郵便の商標で言えば、「e パケット」「e パケットライト」などもこれに該当します。改訂後の国際 e パケット料金は下記の通りとなり、全世界で米国宛てが最も高価になります。なお、書状や葉書について、第4地帯と第2地帯の料金は同額です。

第一地帯	第二地帯	第三地帯	第四地帯
アジア	オセアニア・カナダ・ 中米・中近東・欧州	南米・アフリカ	米国
690 円	790 円	820 円	1,150 円

改訂後の、国際 e パケット基本料金（100g まで）

この表を見ると分かる通り、米国宛てだけが、世界でダントツに高額な料金設定となっており、多くの人から『何故これまで長年に渡り、安価に送ることができた米国宛てだけが大幅に値上げされたのか？』質問が出ると思ったのか、日本郵便はリリースに値上げ理由も明記しています。

国際郵便料金には、各国の郵便事業体間で差出国から配達国に支払う国際郵便物の配達手数料が含まれています。従前は、配達手数料は、万国郵便条約において発展途上国を考慮し、安価に設定されていましたが、2019年の万国郵便臨時大会議において、各国における国際郵便物の配達手数料を定める条約が改正され、大きく上昇することとなります。そのため、各国に支払う配達手数料の増加分を適切に賄うため、国際郵便料金の見直しが必要となりました。

リリースには綺麗にまとめられていますが、この前段階として米国のトランプ大統領による史上初の万国郵便連合脱退も辞さない強硬姿勢で進めてきた、小型郵便を発展途上国から格安で発送できる現行の料金制度の改革があります。2019年のUPU臨時大会議で、途上国からの配送料金の上昇と並行して、2021年からの5年間、各国が独自料金を設定することができる制度が検討され、米国を含む全会一致で採択されたことを受けて、日本郵便も米国への支払手数料上昇に伴い、値上げを決定したものです。

3 日本郵便、普通郵便の土曜配達・翌日配達を2021年秋より中止

2020年11月27日に、改正郵便法が成立し、普通郵便物の配達頻度が「週6日以上」から「週5日以上」に緩和されました。これにより、日本郵便は来年秋より日曜に加え土曜配達を取りやめる予定です。郵便は来年150周年を迎えますが、情報の伝達の主流は電子メールに置き換わっており、影響が少ないと思われます。

それ以上に影響が大きいと思われるのが、同時に実施されると報道されている、普通郵便物の翌日配達廃止で、これにより普通郵便を別の手段に変更する検討の機会が多くなりそうです。日本郵便のサービス内では、速達やレターパック、ゆうパックでしうし、またそもそも郵便物として送る必要のないものについては電子メールなどに代替されることが考えられます。

なお、時事通信の報道によれば、これに伴い速達料金の1割程度の値下げも検討されとのこと（時事通信 2020/10/15）

4 郵趣振興協会、日本初の WEB セミナーを開催

郵趣サークルの例会には大別して、収集対象をもとに参加者が集まり開催されるものと、居住地の参加者が集まり開催されるものの二種類があります。

収集人口の多かった時代は、後者の例会であっても専門的な話ができる機会が多かったものの、現在ではそれを可能とする例会は、特に地方で少数となり、地方における郵趣振興の妨げとなっています。とは言え、専門的な話ができる前者の例会は、参加コストが高く、首都圏在住で時間に余裕のある一部の層を除けば参加が難しく、これまた郵趣振興の上では課題点でした。

これを解決したのが、2020 年に世界的に始まったオンライン郵趣例会で、我が国でも現在では週に数件の、テーマを絞ったオンライン例会が開催され、原則として希望者は居住地に関わらず、無料で参加できるようになりました。また主に英語で開催される世界のオンライン郵趣例会への参加も非常に簡単で、以前とは比べ物にならないくらい郵趣を研究する為の環境は整ってきており、COVID-19 の流行が治った後もこの環境は継続されるのではないかと考えられます。

このような中、これまで世界では頻繁に開催されていたものの、日本で未開催の郵趣の WEB セミナーを、特定非営利活動法人 郵趣振興協会が 2020 年 11 月 29 日に主催しました。登壇者は 5 名で、司会進行は郵趣振興協会の横山裕三氏、菊地恵実氏がつとめました。



池田 駿介氏



吉田 敬氏



飯澤 達男氏



古家 美和氏



斎 享氏

講演者	作品名称
池田 駿介	第 1 次国立公園切手
吉田 敬	二次昭和
飯澤 達男	新昭和切手
古家 美和	日本 ポスタル・ステーションナリー 1898 - 1908
斎 享	東北の鉄道建設による発展

WEB セミナー「出品者による作品解説」講演者と作品

セミナー開催時間は午後 3 時から 6 時までの 3 時間と長めでしたが、39 名のご参加をいただきました。講演は一人当たり 30 分行っていただき、最後の 5 分は質疑応答にあてました。参加者のうちスタッフ・講演者を除く 21 名よりアンケートへのご協力をいただき、今回のセミナーにたいへんご満足いただけたことがわかりました。

セミナー開催の二日後にスタッフで行った「改善会」でも分析したのですが、原則として顔出しし、プライバシーを明かした上で初めて参加できるオンライン例会と比較すると、顔出し不要で講演を聞けて質問もできる WEB セミナーは、これまでオンライン郵趣例会に参加したことがない方にとってハードルが低い催事だと言うことがわかりました。



「東北の鉄道建設による発展」について解説する斎享氏

質問はできるものの、それ以外は一方通行ですませられる WEB セミナーは、切手のテレビ番組のようなもので、前向きな改善点が多数ありそうなので、今後郵趣振興協会では、WEB セミナーの開催に力を入れていく方針が確認されました。

WEB セミナーやオンライン郵趣例会の参加費が無料であるケースが多いのは、主催者のサービス使用料が非常に安価であることが背景にあります。しかしそれ以上に参加者にとってメリットが大きいのは、移動が不要であることです。地方在住者の場合は交通費・宿泊費がかかることは明示的です。しかし、それは首都圏に住んでいたとしても同じことであり、例会会場の近くに住んでいない限りは、行き来の交通費と共に時間が掛かります。90 分の例会に参加する為の移動時間が 90 分以上と言うことも多いのではないのでしょうか。

WEB セミナーやオンライン郵趣例会の登場で、空間的成約を解消できた一方、次なる課題として、一部の方から聞こえてくる要望である、時間的制約の解消への取り組みも検討が始まりました。

今回の WEB セミナーで言えば、『2020 年 11 月 29 日の午後 3-6 時にスケジュールの都合を付けられない人』は参加することができませんでした。これを後日でも閲覧できるアーカイブとして提供できないかと言う相談で、実験の第一弾として、郵趣振興協会の賛助会員を対象に、アーカイブ配信を 12 月末まで行うことが決定しました。

なお、特定非営利活動法人 郵趣振興協会は広く郵趣を振興する公益組織ですので、WEB セミナーの開催を検討している郵趣サークルに対して、技術支援・宣伝支援を提供する用意があります。郵政博物館で 12 月の平日に切手展を開催する南方占領地切手コレクターズクラブ様から早速、ご連絡をいただきましたので、同クラブ主催の WEB セミナーを後援させていただくことにしました。詳細は本誌 P.16-17 にも掲載されていますので、ご覧ください。

郵趣カレンダー

2020 年 12 月中旬以降に開催される郵趣イベント

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	分類	出品 枚切
→ 2021/4/10-13	スタンベックスジャパン 2021	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	12/17
2021/8/25-30	PHILANIPPON 2021	パシフィコ横浜 B・C ホール（横浜）	世	2/1
2021/11/5-7	JAPEX 2021	都立産業貿易センター台東館（浅草）	日	未発表
2021/11/9-13	CAPE TOWN 2021	International Convention Center（南ア、ケープタウン）	世	未発表
2022-2/19-26	LONDON 2022	Business Design Center（英、ロンドン）	世	締切済
2022-3/31-4/3	HUNFILEX 2022	ハンガリー、ブダペスト	世	未発表
2022/4（予）	スタンベックスジャパン 2022	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	未発表
2022/5/6-10	TAIPEI 2022	Taipei World Trade Center（台湾、台北）	ア	締切済
2022/5/18-22	HELVETIA 2022	スイス、ルガーノ	世	未発表
2022/8/4-9	INDONESIA 2022	The Indonesian Parliament Complex（インドネシア、ジャカルタ）	世	締切済
2022/9/8-11	MELBOURNE 2022	Caulfield Racecourse（豪、メルボルン）	ア	未発表
2023/5/25-28	IBRA 2023	Messe Essen, Hall 1+2（独 エッセン）	世	未発表
2026/5/23-30	BOSTON 2026	Boston Convention and Exhibiton Center（米ボストン）	世	未発表

分類 世：世界切手展 ア：アジア国際切手展 日：日本の全国切手展

一般切手展

開催日	地域	切手展名称	会場
12/14-15	東京	第 3 回南方占領地フィラテリー展	郵政博物館
2021/3-13-14	広島	スタンプショウ=ヒロシマ 2021	県立広島産業会館
2021/5/8-16	東京	故郷の郵便の歴史展	郵政博物館
2021/6/12-20	東京	第 4 回南方占領地フィラテリー展	郵政博物館
2021/12/28-2022/1/11	東京	富士鹿切手発行百年記念展	郵政博物館

※ 1 郵政博物館の開場時間は 11:00-16:00 ですが、最終入場時刻は 15:30 です。また切手展初日の開場時刻が 13:00 になるケースがありますので、ホームページでご確認ください。 <http://kitte.com/>

※ 2 スタンプショウ=ヒロシマ 2021 の会場時間は 3/13 が 10:00-17:00、3/14 が 9:00-15:00 です。

スタンプショウ=ヒロシマ 2021 について、本ページ校了後の 2021/12/6 20 時に、3 月の開催を 9 月に延期する旨の連絡が実行委員会より入りましたのでご案内します。

定期購読されている方には、9 月にお送りした機関紙 28 号と共に「スタンベックスジャパン 2021」の出品申込書を同梱していますので、ご利用ください。

主要なオークション

開催日	主催者	回	会場
12/20	タカハシ・スタンプ・オークション	651	タカハシスタンプ
1/9	スタンペディアオークション	16	綿商会館
1/17	タカハシ・スタンプ・オークション	652	タカハシスタンプ
1/29	スタンペディアオークション	文献	(メール)
1/31	日本フィラテリックセンター	785	大阪駅前第二ビル 15 階
2/6	JPS オークション	531+532	切手の博物館
2/21	タカハシ・スタンプ・オークション	653	タカハシスタンプ
2/27-28	ジャパンスタンプオークション	116	大阪駅前第三ビル 17 階
3/21	タカハシ・スタンプ・オークション	654	タカハシスタンプ
3/28	日本フィラテリックセンター	786	大阪駅前第二ビル 15 階

*メールオークションとして開催される場合は、開催日が入札締切日となります。

*当社関連会社が提携するスタンペディアオークションへの出品締切は下記の通りです。

第 17 回セール：2021/1/15、文献セール：2021/2/15

切手フリマ・即売会

開催日	地域	名称	回	会場	開催時間
12 月 26 日	東京	切手市場	年末篇	綿商会館	9:00-17:00
1 月 9 日	東京	切手市場	190	綿商会館	9:00-17:00
2 月 6 日	東京	切手市場	191	綿商会館	9:00-17:00
3 月 6 日	東京	切手市場	192	綿商会館	9:00-17:00
3 月 13 日	名古屋	名古屋切手フリマ in 大須	7	第 1 アメ横ビル 4F	10:00-16:00

*会場住所 綿商会館：東京都中央区日本橋富沢町 8-1 0

第 1 アメ横ビル：名古屋市中区大須 3-3 0-8 6

主なオンライン郵趣例会

切手サークル名	代表者	使用アプリ	参加費用	オンライン例会開催日
日本切手研究会	横山 裕三	ZOOM	無料	第 2, 4 日曜日 21 時 12/13, 12/27, 1/10, 1/24 2/14, 2/28, 3/14, 3/28
昭和切手研究会	斎 享	ZOOM	無料	第 3 日曜日 21 時 12/20, 1/17, 2/21, 3/21
外国切手研究会	榎原 晃二	ZOOM	無料	毎週土曜日 20 時 12/5, 12, 19, 26 1/2, 9, 16, 23, 30 2/6, 13, 20, 27, 3/6, 13, 20, 27
南方占領地切手コレクターズクラブ	守川 環	ZOOM	無料	第 4 水曜日 20 時 12/23, 1/27, 2/24, 3/24

全国切手展（競争切手展）出品締切は 12/17（火）です スタンペックスジャパン2021

スタンペックスジャパン2021 実行委員会

展覧会の概要

名称：スタンペックスジャパン2021

会期：2021年4月10日（土）～13日（火）[4日間]

会場：郵政博物館（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：100 フレーム

主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会（郵政博物館）

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、（一社）全日本郵趣連合、
（公財）日本郵趣協会、株式会社鳴美

毎日の開場時間

4月10日（土）10:00-17:30

4月11日（日）10:00-17:30

4月12日（月）10:00-17:30

4月13日（火）10:00-13:30

＊最終入場時刻は毎日午後5時



出品応募方法

本展覧会へのご出品につきましては、作品募集要項をご覧の上、指定の「出品申込用紙」を使い、ご応募ください。なお、出品受付期間は2020/11/1（日）～2020/12/17（火）です。

作品募集要項：インターネットに掲載しているほか、「フィラテリストマガジン 28号」等の郵趣雑誌にご掲載いただいております。

出品申込用紙：インターネットに掲載しているほか、「フィラテリストマガジン 28号」等の送付時に同梱しました。

インターネットのホームページは下記をご覧ください。

<http://kitte.com/stampex2021>

スタンペックスジャパン2021の審査員が決定しました。

本展覧会の作品募集要項第2条（審査体制）に従い、審査員が決定しましたので、ご紹介します。



審査委員長 佐藤 浩一



審査員 設楽 光弘



審査員 山崎 文雄



審査員 山田 廉一

佐藤 浩一（さとう こういち）

昭和 31 年（1956）宮城県生まれ、神奈川県在住

1964 年の東京オリンピック記念切手を機に収集を開始し、学生時代よりイギリス、タスマニア、アルゼンチン、ハイデラバードを収集。1997 年に FIP 登録審査員となり、現在は伝統収集、郵便史、文献部門の審査員資格を有す。

設楽 光弘（したら みつひろ）

昭和 27（1952）年、群馬県前橋市生まれ

小学校 3 年より収集を開始。記念切手収集を経て学生時代より小判切手、上野国郵便印の収集を開始する。2004 年より FIP 登録審査員となり伝統郵趣部門資格を有す。AIEP 会員

山崎 文雄（やまさき ふみお）

昭和 25 年（1950）福井県生まれ、福井市在住

1960 年、小学校 4 年生の時に、同級生が転校する時にお別れの記しとして使用済の切手をくれたのをきっかけに切手収集を始める。その後、オリンピック切手発行をきっかけに本格的に収集。高校生時代には海外との文通などにより外国切手の収集を始め、ジェネラル的に収集を行う。大学時代には大阪博覧会、メキシコオリンピックなどの切手も収集。大学卒業時にハワイに行き、ハワイ切手を購入してから、ハワイ切手を専攻するようになる。また、同時にポルトガルの切手にも関心を抱き、ポルトガルの切手もジェネラル的に収集。2009 年に FIP 登録審査員となり、現在は伝統収集部門の審査員資格を有す。

山田 廉一（やまだ れんいち）

昭和 39 年（1964）神奈川県生まれ、東京都在住

小学生より切手収集を始め、中学生で小判切手収集を開始。2001 年、米国カリフォルニア在住時に、ハワイ切手の収集開始。2018 - 2020 年、英国ケンブリッジ在住時に英国切手、特に King George V の収集開始。2014 年に FIP 登録審査員となり伝統郵趣部門資格を有す。

アプレンティス公募のお知らせ

審査委員会では、我が国の FIP 登録審査員の強化・育成の為に、FIP 世界展の伝統郵趣・郵便史・ステーションナリーで大金銀賞以上を獲得した FIP 登録審査員以外の方を対象にアプレンティス審査員を公募します。詳細は実行委員会まで電子メールでお問い合わせください。（info@kitte.com）

国際切手展の開催動向

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

国際郵趣連盟および大陸別の郵趣連盟が公認する競争切手展（以下「国際切手展」と略す）の実行委員会は、2020年6月以降も、暫時延期をアナウンスしています。当協会ではホームページ（<http://kitte.com>）で速報を行っておりますが、以下でまとめてご案内します。

切手展の当初の名称	開催地	分類	当初 開催予定期間	現 開催予定期間
NZ 2020	ニュージーランド、オークランド	ア	2020/3/19-22	国際展は中止
LONDON 2020	英、ロンドン	世	2020/5/2-9	2022/2/19-26
WSC<INDONESIA2020>	インドネシア、ジャカルタ	世	2020/8/6-11	2022/8/4-9
TAIPEI 2020	台湾、台北	ア	2020/10/23-27	2022/5/6-10
MELBOURNE 2021	豪、メルボルン	ア	2021/2/11-14	2022/9/8-11
CAPE TOWN 2021	南ア、ケープタウン	世	2021/3/17-20	2021/11/9-13
IBRA 2021	独 エッセン	世	2021/5/6-9	2023/5/25-28
PHILANIPPON 2021	日、パシフィコ横浜	世	新規発表	2021/8/25-30
HUFNIX 2022	ハンガリー ブダペスト	世	新規発表	2022/3/31-4/3
HELVETIA 2022	スイス、ルガーノ	世	新規発表	2022/5/18-22

■ :2020 年開催 ■ :2021 年開催 ■ :2022 年開催 ■ :2023 年開催

この3ヶ月間に、アジア展ではありますが、台湾展が延期されました。

同展覧会は、TAIPEI 2020（台湾・台北）と言う名称で、2020年10月23-27日に開催が予定されていたものです。今年（2020年）3月29日に延期を発表したものの、延期先期日がわずか7ヶ月先の2021年6月4-8日で、国際展の開催が本当にその日程で可能か？海外から作品は集まるのか？と心配されていたものです。2020年11月5日になり、案の定、再延期が発表され、その期日は2022年5月6-10日となりました。

台湾展はあくまでアジア展ですので世界展とのバッティングは問題にならなかったのかもしれませんが、延期先期日である2022年5月6-10日は、先に開催期日が発表されているHELVETIA 2022（スイス・ルガーノ）の2022年5月18-22日に近接した日程です。コミッショナーの移動期日・予備日を考えると、両展覧会に同一作品を出品することは若干難しくなりました。

このように、2021年までに予定されていた国際展が次々と2022年以降に延期されたことにより、2022年の国際展は、4つの世界展と2つのアジア展と言うことで、異常に渋滞しています。2021年開催予定の、PHILANIPPON 2021とCAPE TOWN 2021は今のところ開催される予定ですが、この二つの内一つでも2022年に延期されると、1年間に5つもの世界展が開催されることになり、その渋滞はさらに酷くなりそうです。

もっとも主催者でない出品者は無用に悩む必要はありません。チャンスが増えたと捉え、自分の作品をどの展覧会に出品すれば良いか戦術を検討することができる好機ではないかと思います。なお、開催予定が延期された国際展ですが、全てが予定通り開催される保証はどこにもありません。当協会でもホームページで国際展情報を迅速にお伝えするように努力しておりますが、一次情報に勝る速さと正確性はありません。国際展出品者は、世界の感染症に関する情報収集と共に、各展覧会の実行委員会の公式ホームページにアクセスし、情報収集を進められることをお勧めいたします。

2021 年度 郵博 特別切手コレクション展

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

郵趣振興協会（以下、当協会）は、2017 年度より郵政博物館との共催で、同博物館において年数回の特別切手コレクション展を開催しています。来年度（2021/4/1-2022/3/31）の開催覧会並びにそのスケジュールを、12 月 3 日に発表しましたので、ご案内します。

なお、来年度の展示団体の選定に当たりましては、COVID-19 の流行状況を鑑みて、公募を中止し、過去展示を行った団体にのご案内し選定手続を進めましたことをお断り申し上げます。

先行き見えない中であるにも関わらず、ハイクオリティかつバラエティ豊かなラインナップとなりました。まことに有難く存じます。各展覧会の詳細につきましては、随時、ウェブサイト並びにフィラテリストマガジン紙面にて広報してまいりますので、どうぞご注目下さい。

日程	展覧会名称	副題・説明等	展示団体
5/8-16	ふるさと郷土の郵便の歴史展	全国各地、特定の地域や特定の郵便局に限定して集める“ふるさと郵便史”	NPO 法人郵趣振興協会
6/12-20	第 4 回南方占領地のフィラテリー展	太平洋戦争中に日本が東南アジア等の占領地域で発行した珍しい切手を一挙に展示	南方占領地切手研究会
12/28- 翌 1/11	富士鹿切手展	1922 年 1 月 1 日に発行され 100 周年を迎える富士鹿切手のコレクションを一挙紹介	NPO 法人郵趣振興協会
2022/2/5-6	第 4 回いずみ展	わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる	いずみ切手研究会

スタンプショウ＝ヒロシマ2021

スタンプショウ＝ヒロシマ2021実行委員会

スタンプショウ＝ヒロシマは西日本最大の切手展として毎年5-6月に開催して参りました。今年（2020年）につきましては、COVID-19 流行の影響で中止となりましたが、2021年は開催を予定しておりますので、ご案内申し上げます。

~~開催時期 2021年3月13日（土） 10:00～17:00~~
~~3月14日（日） 9:00～15:00~~
 会場 県立広島産業会館・西展示館 第3展示場（広島市南区比治山本町16-31）
 主催 スタンプショウ＝ヒロシマ実行員会（公益財団法人）日本郵趣協会中国・四国地方本部
 後援（公財）日本郵趣協会、日本郵便株式会社中国支社（予定）、（特非）郵趣振興協会
 企画テーマ 東京オリンピック2020

約100フレームの展示と切手商ブースを予定しているほか、初日17:30より会場となる県立広島産業会館にて、吉田敏氏（郵趣振興協会）の講演を予定しております。どうぞご来場ください。

スタンプショウ＝ヒロシマ2021について、本ページ校了後の2021/12/6 20時に、3月の開催を9月に延期する旨の連絡が実行委員会より入りましたのでご案内します。

毎年6月に開催している展覧会を仕切り直して開催します

第3回南方占領地のフィラテリー展

南方占領地切手コレクターズクラブ

『南方占領地のフィラテリー展』は、南方占領地切手コレクターズクラブが、2017年から毎年6月にテーマを決めて開催している展覧会です。

『よくわからない』『偽物ばかりでしょ?』『展覧会でも賞が取れないでしょ?』と誤解されがちな南方占領地切手について(1)一般のフィラテリストに魅力をアピールすると共に、(2)フィラテリスト以外へのアピールを通じてフィラテリー自体に興味を持ってもらうことを目的に、一般の方の来場も多い郵政博物館で毎年展覧会を開催することで、郵趣振興協会にご協力いただいています。

今年のテーマは、昨年逝去された、南方占領地切手ゼネラルの大コレクター橋本道弘氏のコレクションの抜粋展示に決定しました。

同氏のコレクションは、必ずしも全てがリーフに整理されていなかった為、有志が手分けして、アルバムリーフに整理しました(39フレーム、右表)。

このコレクションは、展覧会で展示するほか、少しでも多くの方に故人の大コレクションを見ていただけるよう、作品集を12月20日に発行しますが、会場で先行発売いたします(表紙:右下図)。

取扱地域	F	取扱地域	F
ビルマ	5	海軍担当地区	5
マライ	6	アンダマンニコバル	1
正刷葉書	1	フィリピン	3
北ボルネオ	3	香港	1
スマトラ	6	昭和	2
ジャワ	3	仏印	1
天長節発行の切手	1	軍事	1

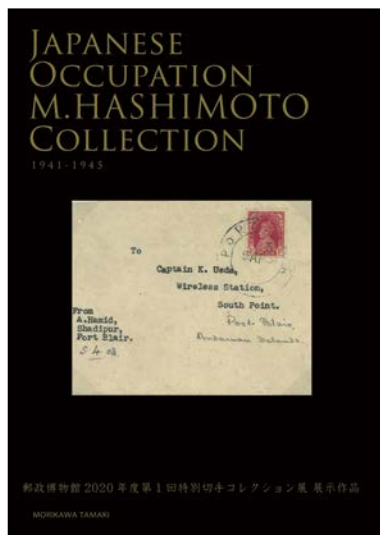
なお、今回平日開催となりました理由は、会場となる郵政博物館の営業日時が COVID-19 対策で土日休館・時間短縮で開催されることからです。ご来場いただけない方も多いかと思いますが、別途 WEB セミナーも開催予定ですので、ご活用ください。

展覧会名 第3回南方占領地のフィラテリー展

開催日時 2020年12月14-15日(月火)

開場時間 11:00-16:00(初日12時開場予定)

会場 郵政博物館 多目的ホール



今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性がございます。ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報(ホームページや代表電話)を確認の上、お越しください。

WEB セミナー

第3回南方占領地の フィラテリー展 作品解説

日時：2020年12月23日（水） 20:00-22:00



守川 環 氏 s



吉田 敬 氏



錦木 顕 氏



菊地 恵実 氏

2020/12/14-15 に郵政博物館で開催予定の『第3回南方占領地のフィラテリー展』は、昨年逝去された故・橋本道弘氏のコレクションの最初で最後の展示機会です。

多くの珍品が含まれ、その全貌を会場で解説予定でしたが、密集を避ける為に作品解説を中止しました。また、COVID-19の流行によりご来場が叶わない方も多いと聞きました。

そこで、当会では、急きょ本 WEB セミナーを開催し、展示コレクションについて、解説を行うことにしました。初心者の方にも分かりやすい解説を心がけますので、どうぞ視聴ください。

司会



比留間 晃 則

『作品解説 90 分』 + 『パネルディスカッション 30 分』で開催
質疑応答も受け付けます

講演を聞くだけなので、顔出し不要
テレビを見る感覚で南方占領地切手をお楽しみください

主催：南方占領地切手コレクターズクラブ 後援：特定非営利活動法人 郵趣振興協会

マイスタンプディアで PDF 購読のオプション申込が可能な 郵趣雑誌およびその発行者の活動の紹介等

2020年12月～2021年3月

IZUMI (発行：いずみ切手研究会)



381号を発行(9/20) 山田郵便局のN1B1(中世古 誠)近代史を語る記念絵葉書-1(矢嶋 基之) いびつに折られた震災往復はがきの使用例(尾台 昭弘) 戦前・日本の鉱山 小坂鉱山(富樫 敏郎) 戦前・日本の鉱山 荒川鉱山(赤須 秋生) 保険に関する標語(2)(清水 勝利) 菊・青杵葉書の機械標語印(田中 寛) 離島の郵便 先島諸島 宮古島(山田 克興) 時刻表示 Z 型と戦後統一型の早期使用例(水谷 行秀) 櫛型日付印 C 欄「郵便局」は電信印の流用? (濱谷 彰彦) 戦後の特殊取扱郵便物簡易書留 還付料徴収(安藤 源成) カタカナローラー印(X)(菅沼 良隆) ほか

「いずみ切手研究会」例会案内	
例会開催日	原則として第3日曜日 午前9時-12時
会場	練馬区立労働福祉会館(大泉学園駅近)
向こう三ヶ月の例会日	12/20, 1/17, 2/21, 3/21
例会参加資格	会員限定(ダウンロード権利のみでは参加できません)

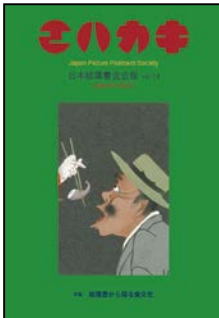
最近の情報(発行：小判振舞処)



198号を発行(9/20) 開函証印(取集証印)と上野国における使用例(設楽 光弘) 羽前・新庄局 DN3B2 型(平尾 勉) 多摩の KG 印(3) 西多摩郡(近辻 喜一) ほか

199号を発行(11/10) 旧小判 12 銭貼カバー(城野 隆三) U 小判 1 銭、2 銭に枠線(設楽 光弘) 多摩の KG 印(4) (近辻 喜一) 収入印紙の 11L 大穴目打のチェックリスト(長谷川 純) 楽しめる葉書 静岡在住アメリカ宣教師団(静岡バンド)(長田 伊玖雄) 三角 KB2 の謎(立山 一郎) インク浸透式丸一印と石代さんの思い出(水口 公秀) ほか

エハカキ(発行：日本絵葉書会)



74号を発行(9/25) 特集「絵葉書から探る食文化」神戸のハイカラ食文化(石戸 信也) 絵葉書の中の食(中村 容子) 絵葉書をより愉しむために(十)(高尾 均) 私の小早川秋聲(七)(松竹 京子) 石橋(二)(林丈二) ほか

郵趣仙台（発行：仙台郵趣会）



244号を発行(10/11)神功皇后5円切手貼りの特設電話加入申請書(横山 裕三)切手に登場した歴史上の女たち(11)(中島 斉)詩と音楽(11)(佐々木 克夫)太平洋戦争時の英連邦軍捕虜郵便について(佐藤 浩一)第1次国立公園切手(17)(池田 駿介)宮城県の不統一印 鈴木紀男氏のコレクションから 玉造郡・加美郡・本吉郡(気仙沼エンタィア)(小関 幸生)二つ折りはがき(3)脇付はがき半銭の市内便(斎 享)ほか

「仙台郵趣会」例会案内	
例会開催日時	COVID-19の影響もあり、会場や時間が定まりません。参加希望者は torusai2@yahoo.co.jp までお問い合わせください。
会場	
向こう三ヶ月の例会日	1/11, 2/14, 3/14
例会参加資格	会員限定(ダウンロード会員も参加できます)

予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず、全て急遽中止・変更される可能性があります。ご参加にあたっては、各主催者が提供する一次情報(ホームページや代表電話)を確認の上、ご参加ください。

マイスタンプEDIAでPDF購読のオプション申込が可能な郵趣雑誌

これらの雑誌のPDF購読を希望される方は、マイスタンプEDIAよりお申し込みください。(有料)

無料世界切手カタログ・スタンプEDIA株式会社(以下、「当社」)は、「スタンプEDIA日本版」会員を対象に、マイスタンプEDIA(インターネット上のサービス)を通じて、有償で他者が発行するフィラテリーに関する情報媒体を配信する事業を2016年より行っております。

提供している郵趣雑誌は、当社がその内容を精査し「スタンプEDIA日本版」会員の皆さんに自信を持ってお勧めできるものに限定しており、現在は4媒体を提供しております。これらの雑誌のPDF購読を希望される方は、マイスタンプEDIAよりお申し込みください。(有料)

雑誌名	発行者名	発行予定回数	年間購読料	会員数	備考
IZUMI	いずみ切手研究会	4回	1,000円	121人	毎月の例会と年1回の展示会を自主運営する首都圏ナンパーワン切手サークル
エハカキ	日本絵葉書会	4回	1,000円		絵葉書文化を提唱する雑誌
郵趣仙台	仙台郵趣会	6回	1,000円	123人	毎月15-16人参加する例会活動を中心とする、東北地方の切手サークル
最近の情報	小判振舞処	6-8回	1,500円	122人	小判切手とその時代に特化し、トップクラスの研究成果を出し続ける切手サークル

私の発見・私の報告

5厘小判葉書の記番印の使用局

明治9年から15年にかけて発売された「5厘小判葉書」に押される消印の内、記番印は使用局が限られ、珍重されている消印です。当誌では第21号以来、使用局一覧を取りまとめています。

今回は過去のオークション雑誌図版などから7局が追加され、遂に1ページの表では収まらなくなりました。また過去に紹介した局のうち2局（ヒ3号、イヨ2号）について図版が入手できましたので、合わせてご紹介します。



淡路 / 洲本(イヨ1号)
12年 官民往復



淡路 / 福良(イヨ2号)
→摂津 / 大阪



丹羽 / 篠山(ヒ3号)
官民往復

記番印	旧国名	局名	郵便料金	図版	発見者・出典*1
イ68号	武蔵	浦和	1銭		吉田敬
イ110号	武蔵	新河岸	5厘	(部分)	ジャパNSTAMPオークション 第77回 #3065
ハ6号	下総	結城		なし	日本切手名鑑
チ9号	甲斐	韭崎		未確認	ジャパNSTAMPオークション 第91回 #351 NEW!
ル7号	三河	岡崎		なし	記号入番号消印カタログ
カ14号	伊勢	津		なし	記号入番号消印カタログ
タ1号	山城	西京		なし	記号入番号消印カタログ

記番印	旧国名	局名	郵便料金	図版	発見者・出典 *1
タ 7 号	山城	檜原	1.5 銭		吉田敬 (本誌 23 号)
タ 10 号	山城	紫竹大門	1 銭		吉田敬 (本誌 23 号)
タ 15 号	山城	富野		なし	日本切手名鑑
タ 18 号	山城	郷ノ口		なし	記号入番号消印カタログ
タ 22 号	山城	山崎		未確認	ジャパNSTAMPオークション 第 91 回 #357 NEW!
レ 1 号	大和	奈良	1 銭, 5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)、郵趣反古集 P.298 にて報告
ソ 3 号	河内	八尾		なし	記号入番号消印カタログ
子 1 2 号	摂津	尼崎	5 厘		安藤源成 (本誌 22 号)
子 3 8 号	摂津	梶原	1 銭		城野隆三 (本誌 24 号)
ラ 7 号	美濃	大井	5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)
ラ 9 号	美濃	岩村		なし	日本切手名鑑
ウ 33 号	信濃	伊那郡		未確認	MSA 第 196 回 #1010 NEW!
マ 23 号	岩代	福島		未確認	ジャパNSTAMPオークション 第 29 回 #1233 NEW!
キ 3 号	越前	武生	1 銭		山崎文雄 (本誌 23 号)
ヒ 1 号	丹波	亀岡		なし	記号入番号消印カタログ
ヒ 3 号	丹波	篠山	1.5 銭		ジャパNSTAMPオークション 第 102 回 #3458 NEW!
ヒ 5 号	丹波	福知山		未確認	MSA 第 171 回 #1669 NEW!
ヒ 14 号	丹波	上佐々木		なし	記号入番号消印カタログ
モ 1 号	丹後	宮津		なし	記号入番号消印カタログ
モ 3 号	丹後	舞鶴		なし	記号入番号消印カタログ
イハ 1 号	出雲	松江	5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)
イヘ 1 号	播磨	姫路	1 銭		吉田敬 (本誌 21 号)
イヘ 2 号	播磨	明石	5 厘	なし	郵趣反古集 P.298 にて報告
イヘ 2 2 号	播磨	北条	1 銭	(部分)	ジャパNSTAMPオークション 第 112 回 #1142
イト 1 号	美作	津山	5 厘		安藤源成 (本誌 25 号)
イチ 1 号	備前	岡山	1 銭		安藤源成 (本誌 22 号)
イリ 6 号	備中	笠岡	1 銭		安藤源成 (本誌 24 号)
イリ 7 号	備中	玉島		なし	日本切手名鑑
イル 1 号	安芸	広島		なし	記号入番号消印カタログ
イカ 1 号	紀伊	和歌山	1 銭		ジャパNSTAMPオークション 第 107 回 #777 (本誌 23 号)
イカ 8 号	紀伊	湯浅		なし	記号入番号消印カタログ
イカ 9 号	紀伊	小松原		なし	記号入番号消印カタログ
イカ 21 号	紀伊	新宮		なし	記号入番号消印カタログ
イカ 24 号	紀伊	名高		なし	記号入番号消印カタログ
イヨ 1 号	淡路	洲本	1.5 銭		ジャパNSTAMPオークション 第 86 回 #1366 NEW!
イヨ 2 号	淡路	福良	1 銭		ジャパNSTAMPオークション 第 101 回 #3387 NEW!
イソ 17 号	伊予	松山		なし	日本切手名鑑
イラ 5 号	豊前	中津		なし	PHILANIPPON91 4 社合同 #939 NEW!
イノ 1 号	肥後	熊本	1 銭		日本切手名鑑

*1 発見者名不明の場合は、出典のみ明記

私の発見・私の報告

モリコー和欧文機械印「幻の平成 2 年 10 月消印」

藤田 俊則

「モリコー製」和欧文機械印の試作機は、昭和 59 年（1984 年）3 月 25 日から昭和 60 年 3 月 31 日まで実用実験されました。

機械	郵便局
0103 号機	横浜港
0104 号機	蕨
0105 号機	麴町

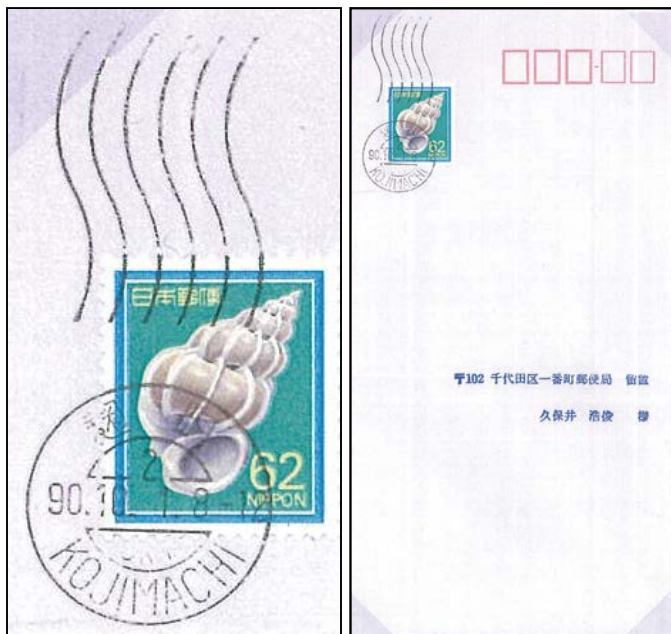
0103 号機と 0104 号機は昭和 61 年 12 月末日で撤去されましたが、麴町局の 0105 号機だけは平成 2 年 9 月 30 日まで使われたと報告されていました。（最終印は「90.9.30 18-24」）

モリコー製の機械は郵便物を横送りで日付を押印する機構の為、故障も多かったようで、平成 2 年 9 月には、ほとんど稼働していなかったと聞いています。

今回、フィラテリックな使用例ですが、麴町局の最終印と発表されていた翌日の 10 月 1 日の印を発見しましたので報告します。（「90.10.1 8-12」）

尚、同日から和欧文機械印の形状は 2 本波丸型印に変わりますが、この印では、前日までの様式（6 本波等）がそのまま踏襲されています。

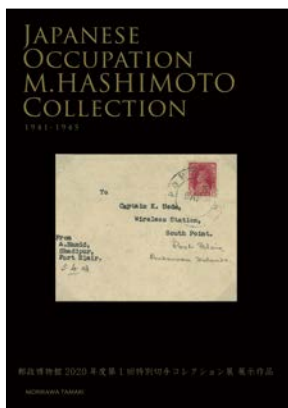
参考文献「郵便消印百科事典」（鳴美），モリコー試作機 NO6 型（清水敏之氏の資料か？）



麴町
90.10.1.8-12
KOJIMACHI

取扱書籍のご案内

「スタンペディア日本版」会員は何冊注文しても送料は一律 300 円です。
なお、会員以外に直販は行っておりません。注文締切：2021 年 1 月末



第二次世界大戦中の南方占領地の郵便の歴史 橋本道弘コレクション

2019 年になくなった南方占領地切手の大家である橋本道弘氏のコレクションの抜粋を、郵政博物館で展示するにあたり、1 ページ 4 リーフの体裁で全リーフ掲載する作品集です。

橋本氏のコレクションが展示されるのは最初で最後であり、後世でも活用できる作品集です。

書籍名：第二次世界大戦中の南方占領地の郵便の歴史
橋本道弘コレクション

監 修：守川 環

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4 判 約 159 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：2、200 円（消費税込、送料別）

発行日：2020 年 12 月 20 日



南方占領地マライ切手カタログ 1942-1945

日本切手専門カタログの南方占領地の著者であり、当誌を始めとする各雑誌で連載を執筆する守川氏による南方占領地切手カタログがシリーズとして発行されることになりました。

これまでの日本の南方占領地切手カタログは、モノクロの代表図案しか掲載されていなかった為、専門家以外には理解しづらかった課題を大量の図版で解決すると共に、製造面・使用面からの解説を入れ、現在の収集家はもちろん、これから集める方にも使いやすい一冊としました。今後、他地域も刊行予定。

書籍名：南方占領地マライ切手カタログ 1942-1945

監 修：守川 環

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A5 判 約 160 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：2、200 円（消費税込、送料別）

発行日：2020 年 4 月 1 日



Stampedia Philatelic Journal 2020

日本のフィラテリーを世界にバイリンガル・フルカラーで発信する年一回発行の雑誌で、本号で 10 巻目となります。

「富士鹿切手の製造面（吉田敏）」「ゴースティエ・フレレ社ラベルの使用例（正田幸弘）」「在横浜フランス郵便局 横浜外国人居留地発着郵便物（小林彰）」「実例で見る太平洋開戦直前～主に 1941 年における～外国郵便（岩崎朋之）」「青島局と山東鉄道沿線局の郵便史 日本租借時代：1914 年～1922 年（福田真三）」

書籍名：Stampedia Philatelic Journal 2020

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4 判 約 150 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：1、100 円（消費税込、送料別）

発行日：2020 年 11 月 10 日

マイスタンペディア、電子メールでのご注文以外は、郵便振替（P.163 に掲載）をご利用ください。

発行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

イマ
キケ

[コラム] 今更聞けないフィラテリー (11)

太平洋戦争中にどうして欧文印が使われているの？

編集部まとめ

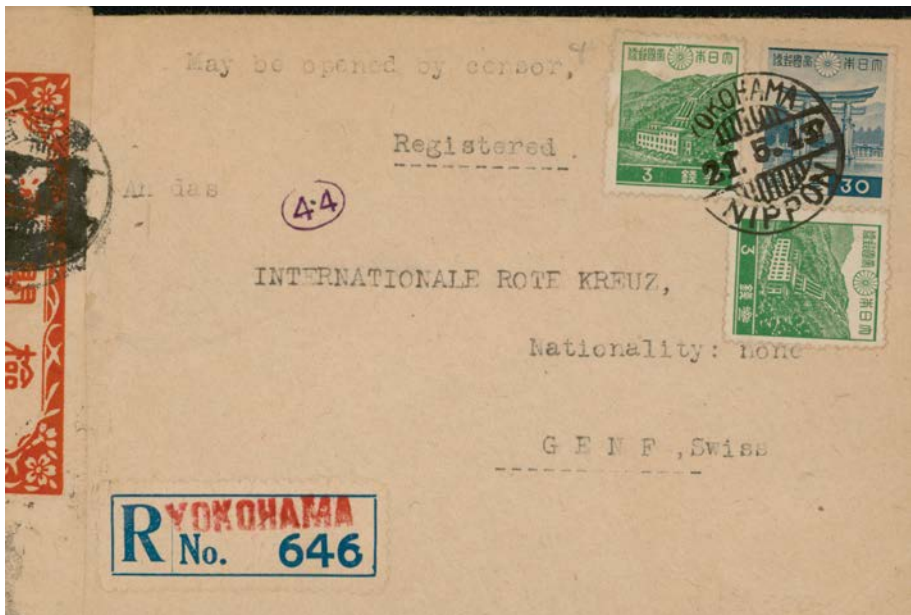
そのテーマを集めている人にとっては当たり前のことであっても・・・

「今更聞けないフィラテリー」は、「フィラテリストマガジン」における初心者コーナーです。私どもの目指す郵趣振興を考えて、伝統郵趣的なレベルを下げる事は一切せず、各分野に専門化しつつある郵趣家に、専門外の収集範囲の魅力や tips を伝える記事の掲載を幅広い分野で開始することを第 27 号より開始しましたが、おかげさまで執筆テーマには事欠かず、「あー、これもこの分野を集めていない人にとっては疑問点なんだな。」と常に新鮮な視点を感じています。

今回取り上げる件もまさにその一つで、昭和切手コレクターにとっては『どうして、そんなことに疑問を持つのか？』と感じる初歩的な話ですが、同時代の切手を収集していない人にしたら、「戦争中は外信便そもそも出せなかったんじゃないの？」という認識の人だっていらっしゃると思います。むしろ、その認識の方が一般人の認識に近いでしょう。

国際赤十字への郵便

その様な疑問をお持ちの方にまず見て頂きたい現物が下のスイス宛て書留書状です。欧文櫛型印の YOKOHAMA / NIPPON 21.5.43 (1943 年 = 昭和 18 年) が押捺されています。宛先はドイツ語で、INTERNATIONALE ROTE KREUZ (国際赤十字) と書いてあり、戦争や紛争が起きたとき



30 銭 厳島ほか、欧文櫛型印 YOKOHAMA / NIPPON → Geneve/ Switzerland 21.5.43

にも確保されている国際赤十字委員会との郵便を通じて、日本も国外との通信を行っていたことが分かりますが、この郵便物には日本語の消印よりもローマ字で構成される消印の方が望ましい為、欧文印が押捺されています。

もっとも、消印の配備という点では、一般的な需要が激減した国際郵便用の欧文消印は少なくなっており、太平洋戦争開戦後の欧文機械印や欧文ローラー印も確認されています(右図)が、その例はほとんどなく、欧文櫛型印についても配備されていない局では通常の櫛型印を使い抹消しています。



TOKIO 4/ MAR/1942

ところで、太平洋戦争における主な交戦国は英米中蘭の4カ国で、日本は必ずしも世界中と交戦したわけではありません。ソ連にしても1945年8月9日の対日参戦までは国交がありました。枢軸国であるドイツ、イタリアやドイツに降伏したフランス国はもちろんこの戦争の中立国宛ての国際郵便物は存在の可能性があります。

下のカバーはその一例で、フランス国の植民地であるインドシナのアノイ(現、ベトナム)宛ての書状です。昭和18年の使用例ですが、東京中央局の欧文櫛型印が押捺されています。日本が第二次世界大戦に参戦したのは、フランスがドイツに降伏した1940年6月の一年以上後のことから、太平洋戦争開戦時点では、日仏は交戦国ではなかった為、このような外信書状も当然存在するわけです。



TOKYO / NIPPON → Hanoi 13 2 43 (1943= 昭和 18 年)



[コラム] 今更聞けないフィラテリー (12)

明治4年12月の料金変更の基本重量は2匁?それとも4匁?

編集部まとめ、図版提供：吉田敬

明治4年12月5日の郵便規則の制定 (1872年)

明治4年3月1日(1871.4.20)に始まった日本初の郵便料金は宛先別料金でしたが、その9ヶ月後の明治4年12月5日(1872.1.14)に、距離別料金が導入されました。当初、東京・大阪間+αでしかなかった郵便路線は、この時長崎まで延伸し、明治5年7月の全国サービス開始に向けて、郵便制度は日々改善が施されていた時期のことでした。

切手も消印も面白いこの当時の郵便の中で忘れられがちな要素の一つが、同日の郵便料金改訂において書状基本料金の重量変更です。JSCAには右のように記載されています(日本普通切手専門カタログ Vol.3.P26)。基本重量の表記がカッコ入りなのはと言う意味だろうか?と思い、本文を見ると、『郵便料金は距離制となり、(中略)書状1通の重量も4匁までに改められた。』と記載されており、発見できていないだけかもしれませんが2匁については、説明で触れていません。

では以前のJSCAではどうだったのだろうか?と思い、『日専2011-12 Vol.1』を見ると、右図の様に、4匁だけが記載されており、2匁には表ですら触れていません。

2匁(4匁) 毎48文
無封は20匁迄48文、
50匁迄100文、
100匁迄148文、
以上50匁毎48文

〔東京・長崎間に延伸〕

4匁までごとに

25里以内 100文 | 200里以内 400文

50里以内 200文 | 200里を

100里以内 300文 | 超えるもの 500文

不便地増料金：1通につき100文

日本普通切手専門カタログの三巻は、カタログというよりは、郵便史・郵便印をまとめたものです。ここにおける郵便料金はそれなりに意味があると思うのですが、「2匁」というのは説明もないし、以前の日専にも掲載されていないので誤表記?と一瞬思いましたが、詳しい方から、『手彫切手専門カタログ』に掲載されているよ、と教えて頂き、次の記述を見つけることができました。

距離制改正郵便料金(明治4年12月5日～明治6年3月31日)

12月5日長崎まで郵便が開通し、重量2匁ごとに25里以内100文(中略)に決められた。

12月17日には4匁ごとに改められたがこの布告は二つ同時に配布されている(京都府の例)。

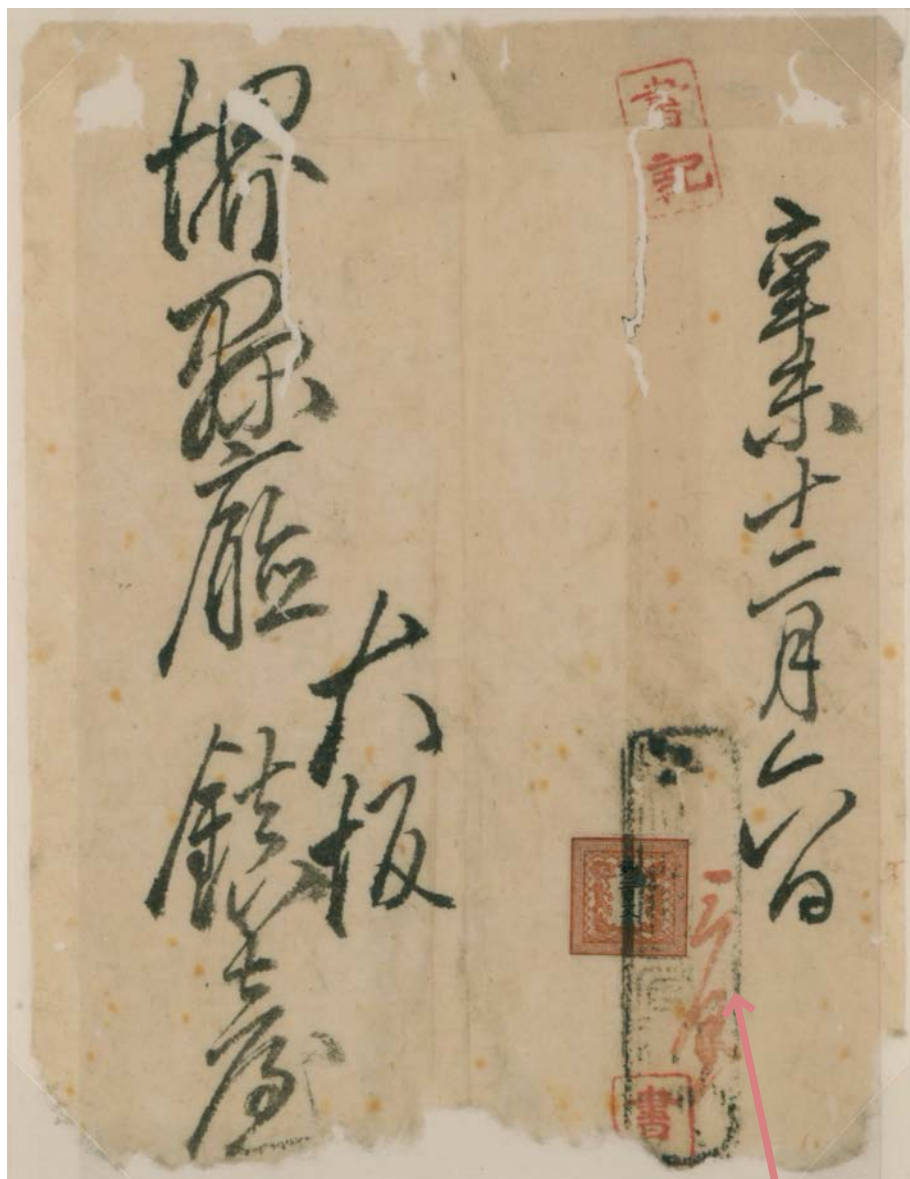
これをまとめると右表のようになります。当初の基本重量18.75gが、料金改訂時に6割カットの7.5gに変更されたものの、何らかの理由で12日後には15gにまで戻されたということです。

次ページのカバーは、この短期間の重量便使用例で、200文切手の横に「三匁」と朱書きされていることから分かる通り、大阪・堺間(約15km=約4里)の2倍重量使用例です。

基本重量2匁の期間は12日間と短いが、この間の重量便使用例は、この1通しか確認できていません。カタログにおける郵便料金の記述が曖昧な原因も、この希少性に原因がある様ですので、ここでご紹介します。

制定日	M4.3.1	M4.12.5	M4.12.17
基本重量	5匁	2匁	4匁
(g換算)	18.75g	7.5g	15g

明治4年の郵便料金における基本重量の推移
グラム換算は「約」の数値になります



25 里以内書状・重量便
大阪→堺（4 里）明治 4.12.6（1872.1.15）

三匁



[コラム] 今更聞けないフィラテリー (13) お勧めのルーペは？

編集部まとめ

切手収集で、ルーペが必要になるのはどんな時？

様々なルーペが販売されている今日、「お勧めのルーペは？」とざっくり聞かれても答えに窮してしまいますが、切手収集家がルーペを必要とする場合は大概次の3つに分類できるのではないのでしょうか？

- (1) 加齢に伴い、それまで見えていた切手の細部が見にくくなった。
- (2) 切手の細部やコンディションを確認する為に使いたい。
- (3) スクリーン線などの微細な測定を行いたい。

(1) の場合は、眼鏡に何を使うかとか、ハズキルーペを導入した方が良いのではないか？という問題ですので、本稿では触れません。ただ、一つ付言すると、加齢と共に視力が落ちる中で、以前に比べて光量が少ないとより見えにくくなる事象があります。眼鏡を変えること以上に、光量を確保することにも留意すると、切手の細部を見るにあたり、改善する点があると思います。

郵趣文具メーカー製品に価値を見出すとすると・・・

次に(2)の場合ですが、実に様々なルーペが販売されている他、スマホのカメラ機能もデジタルズームを搭載しているものが主流ですので、活用することができます(右図)。

また、一般的なパソコンの備品として、ルーペ付きカメラが多数発売されていて、安いものでは1万円を切るものもあります。これらの多くは、切手の拡大画像の撮影にも活用できます。

このように、郵趣文具メーカーが製造しているルーペでなくても切手収集への活用という点では問題がありません。この状況を反映して、最近では日本の切手商でもすっかり、ルーペは一線の商品からは姿を消しています。

しかし、国際切手展に参加すると、ドイツの郵趣文具メーカーはまだまだ頑張っていて、ルーペも幅広いラインナップで提供しています。

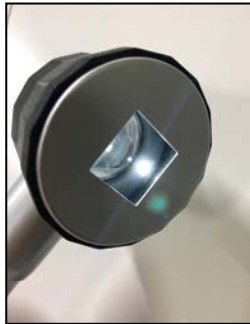
右図の写真は、その一つでスタンペディアのグループでは広く使用し



ているものですが、他のルーペに比べて優れている点が二つあります。その2点は非常に原始的なポイントですが、(1) ライトが内蔵されている。(2) 0.5 ミリ目盛りの定規がついている。という点です。

逆に言えば、この2点さえついていれば、一般メーカーの製造するルーペでも十分(2)の用途には耐えうらと思われま

す。長期的には郵趣文具メーカーは衰退の一途を辿ると思われま



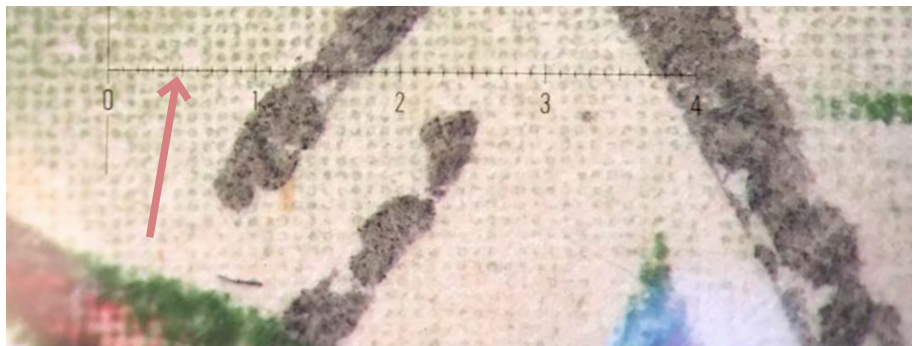
スクリーン測定に適するルーペは未だ一般メーカーのものだった

一般的なルーペの倍率は5倍前後までです。切手展に展示された作品を見るにあたってはそれで十分ですし、競争展示において、その倍率で区別できない違いは、審査員にアピールしづらいと考えられています。

しかしながら、特にグラフィア切手の製造研究においてスクリーン線数測定などをするときには、30倍のルーペが必要になると言われています。これを満たす汎用的な郵趣文具は存在せず、よく使用されているのは、PENTAX ペンタックス 単眼鏡 [8x30 6.2] クローズアップレンズという廃盤商品です。定価は1万円代ですが、製造中止から長く、中古品の入手も簡単ではありません。

この商品は、スクリーン線数測定に最適な定規付30倍単眼鏡で、どの郵趣メーカーによる単眼鏡よりも優れた民生品で、特に役立つのは、スケール(定規)が付いていることで、専門収集家、切手ディーラーに愛用されています。

下図右は、6円南天切手を見たところを写真で撮影したのですが、定規も写っているのが見えると思います。





連載 クラシック切手 (12) 英領トリニダード 1847 レディ・マクロード

吉田 敬

1847.4.16 英領トリニダード植民地 David Bryce 社が 5 セント切手 1 種を発行

クラシック切手、船切手に詳しい人なら誰でも知っているのが「レディ・マクロード」の愛称で呼ばれるこの切手で、様々な面白い特徴を持っています。

まず、なんと言ってもこの切手には額面表記はありません。切手の売価は 5 セントだったことがわかっていますが、そのような切手はレディ・マクロード以前には存在しませんので、世界初の料額表示がない切手と言うことになります。

これは、この切手のもう一つの特徴である世界初の民間発行の切手という点とも密接な関係があると思われます（民間発行の切手として有名なタクシス郵便の一番切手発行は 1852.1.1）。すなわち発行主体は英領トリニダード植民地政府ではなく、同地の企業である、David Bryce 社だったのです。1 種類しか切手を発行しない同社としては、この切手が 5 セントで販売するものであることは明白であり、かつ郵便料金も一つであるため、額面は掲載する必要がなかったのかもしれませんが。

では、一つしかない郵便料金とは何かというと、同植民地の首都であり島の北部にある「ポート・オブ・スペイン」と島の南部「サンフェルナンド」の間の書状運送でした。切手発行会社である David Bryce 社はこの航路を運行する蒸気船「レディ・マクロード号」を所有する蒸気船会社であり、船荷郵便用の切手として、この切手を発行したのでした。

ちなみに切手の発行日は、米国の一番シリーズ 2 種や英国の八角形高額切手よりも早く、英領で発行されたどの切手よりも早く、有名なモーリシャスポストオフィスよりも前のことでした。また、トピカル図案の切手としては、ジュネーブの鷲、パーゼルの鳩、セントルイスの熊の方が古いわけですが、船や乗り物を描いた切手としては最古となります。

David Bryce 社には切手を抹消する消印の概念はなかったようで、切手を無効化するには、手書き抹消もしくは切手をちぎるという方法が採用されました。以下に両方の例を示しますが、左の手書き抹消の方が見栄えは遥かに良いのですが、希少性の観点から言うと、右の「ちぎる」使用例は 2 点しか存在しない為、遥かに珍しいと言えます。

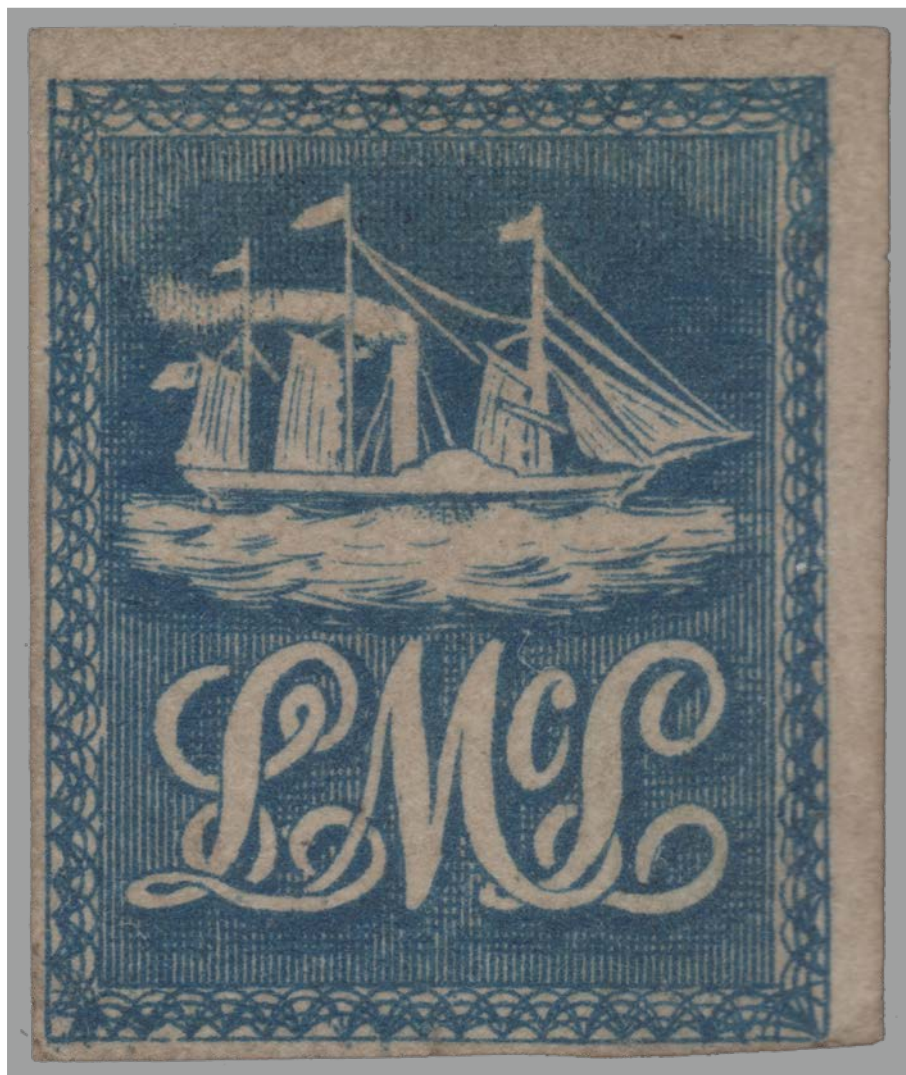


Port of Spain to San Fernando, Sep. 13rd, 1847



San Fernando to Port of Spain, Feb. 23rd, 1848

世界的にも有名なこの切手には、未使用・使用済・使用例の全てを網羅するセンサスが作成されており、本記事見開きで紹介しているマテリアルも全てそこに掲載されているものになります。最新のセンサスは「TRINIDAD, A PHILATELIC HISTORY TO 1913 (2010)」に掲載されており、それによれば、存在点数は二級品含めて 87 枚となっています。



未使用

ちなみに、マルチプルはベアすら残っていない為、マージン間隔やシート構成は一切わかっていない。ただ、一枚5セントで販売した情報と共に、100枚一括で購入した場合は4ドルだったこともわかっており、1シートは100枚構成だったのではないかと推測されている。

2020 年の日本の新切手

山崎 太郎

日本の新切手は、発行種類が増えたことにより、商用含めて一般の方が郵便を差し出す際に選択肢が増え、新たな人々に切手への関心を持たせる数少ない機会となっています。一方、既に一般的な郵趣家が完収を目指すべき対象ではなくなった為、読者の皆様の中にも、その実情を知らない方が多く居られると思います。そこで世界ゼネラルコレクターの山崎太郎さんに解説をお願いしました。(編集部)

はじめに

あとから振り返れば、2020 年（令和 2 年）は世界が激変するきっかけとなった年として記憶されることになるのでしょう。気がついたらあつという間にもう年末だと感じておられる方も多いと思います。

今年は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が世界的に流行したことで、より本当に色々なことがありましたが、そんな中でも日本切手をめぐる話題は今年も豊富でした。細かなデータを交えて振り返ってみましょう。



2020 年 5 月 中国 発行の COVID-19 関連切手

4 月に発売予定だったものを、武漢から新型コロナウイルスが広まったことを強調しすぎない意匠に変えるなどの意匠変更を経て 5 月に延期されたもの。
外国への輸出を行わなかった為、入手難。

発行枚数

筆者の集計では、2020 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで日本郵便が発行した新切手は 46 件 620 種でした。もちろん発行を予定していたものの、されなかった分は除いた数です(後述)。つまり、本当はもっと多かったのです。

昨年までとの比較をすると、やはり手元の集計で 2019 年は 552 種、2018 年は 623 種だったので、昨年減った分が今年は戻り、一昨年の水準に戻ったということになります。ちなみに昨年減ったのは、元号改元や郵便料金変更に伴い新切手発行を控える時期が生じたことが理由です。

このように、日本切手は年間 600 種前後の切手発行が続いています。多くの種類の切手を発行している国は他にもありますが、日本の場合は全ての新切手が事前のスケジュール通りに発行され、確実に郵便に使えることが保証されており、フィラテリックでない実郵便が多数存在するという、他に例を見ない世界有数の切手発行国です。数が勝負のゼネラル収集家にとって、日本に在住することは大変有利です。年間 600 種もの新切手を郵便局にて額面で購入できずし、不要な重複分は郵便で使えます！

発行年	種類
2018	623
2019	552
2020	620

日本の新切手種類の推移

切手の額面

切手の額面に注目すれば一番多いのは84円で336種、次いで63円が204種でした。

通常なら次は94円なのですが今年は70円が56種で3位、94円は18種で4位です。

これはもちろん、今年は70円切手を55種含む『国際文通週間（東海道五十三次）切手帳』が発売されたからです。あとは7、90、110、130、63+3、84+3円切手が各1種ずつ発行されています。



第一種書状基本料金以外のカバーは後になるとなかなか見つけにくい。94円は増えたとはいえ18種。作るなら年内に！

発行形態

切手の形式では、シール式切手が482種で全体の77.7%と全体の4分の3以上を占めています。

裏のり式切手は138種で22.3%です。それでも『国際文通週間（東海道五十三次）切手帳』で裏のり式切手が55種も加わったために比率が高まったほうなのです。もしこの切手帳がまるまる存在しなければシール式切手は85.3%にまで比率が上昇します。

ここ数年、シール式切手は全体の7割台を占めており、単純に種類だけ見ればもはやシール式切手が多数派です。普通切手は裏のり式であり、またシール式切手はオフィス需要が高いため、実際に使われた切手の比率はまた変わってくるでしょう。

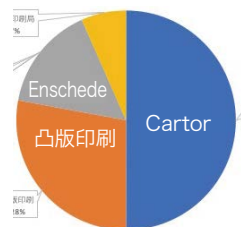


形態	種類
シール	482
裏のり	138
合計	620

発行会社

印刷会社を見てみるとカルトール社が310種で全体のちょうど半分、ダントツの1位。これに凸版印刷が173種、エンスケデ社が96種、国立印刷局が41種と続きます。ここ数年でカルトール社の比率が高まっているのが特筆される一方、今年はPhil@poste社が1件も発行しませんでした。

2年前に開催された第53回全国切手展＜JAPEX2018＞にてカルトール社のイアン・ブリガン (Ian Brigham) 社長が講演した際、同社の売上のうち3割は日本切手によるものと紹介されましたが、今年はますます日本切手の比重が上がったのではないのでしょうか。



印刷会社	種類
Cartor	310
凸版印刷	173
Joh. Enschedé	96
国立印刷局	41
合計	620

発行延期

2020 年は発行が延期された切手が複数登場した切手となりました。

5 月 26 日の『国土緑化（島根県）』や 6 月 24 日の『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会』、それに 9 月 3 日発行予定だった『第 75 回国民体育大会（鹿児島県）』の 3 件については発行されませんでした。いずれも COVID-19 によるイベントの延期が理由です。

このほか『第 14 回国連犯罪防止刑事司法会議』の切手は、予定通り 4 月 6 日に発行されていますが実際の予定は 2021 年 3 月 7 日開始に延期されています。また 4 月 21 日発行『ウポポイ（民族共生象徴空間）』についても、開業が 4 月 24 日から数回延期され、最終的に 7 月 12 日に開業しています。

切手増刷

発行が延期された切手がある一方で、増刷された特殊切手もありました。

3 月 10 日発行の『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 東京 2020 聖火リレー』は 8 月中旬に、また 4 月 15 日発行の『グリーティング（シンプル 84 円）』は 8 月上旬に追加発行されました。また 4 月 1 日発行の『グリーティング（ライフ・花）』が 10 月下旬に、5 月 20 日発行『ドラえもん』の 63 円シートが 10 月中旬、84 円シートが 10 月上旬に追加発行されています。（下図）



2020 年 5 月 26 日発行予定の『国土緑化（島根県）』は意匠が日本郵便の HP で発表されている。現物が出回ったという情報がまだない、令和の不発行切手

日本切手の海外展開

10月に増刷されたドラえもん切手が人気を博したのは日本だけではなくでした。6月18日に香港でも発売され、同郵政のサイトは発売前からアクセスが殺到。午前8時の発売受付開始から4時間で1,200セットが完売したそうです（日刊香港ポスト、2020年6月19日付）。

これはすごいことですよ、だって香港で日本切手は使えませんからね。本当にコレクション目的でしか買う理由がないわけです。ドラえもんという作品の人気の高さに改めて驚かされます。

海外への展開について日本郵便は今後、積極的に取り組む方針のようです。今年の日本切手と直接の関係はありませんが、今年起こった出来事として記載しておきたいと思います。



熱狂を伝える報道
(c)2019-2020 香港ポスト

6月17日午前に日本郵政株式会社の株主総会がザ・プリンスパークタワー東京で行われました。折しも新型コロナウイルス感染症の流行に伴い Youtube での生配信が行われたほか、受付では案内と共にサージカルマスクが1枚配布され、株主の席は隣と1メートル以上上げられるなど異例の総会となりましたが、株主の質疑応答において、不肖ながら私は切手の海外への通信販売に関する質問をさせていただきました。ご承知の通り、日本郵便の通販サイトである『郵便局のネットショップ』は現在、日本の住所にのみ通信販売を行っており、日本国外からの注文を受け付けていません。それを念頭に置いた質問でした。

「日本郵便では日本国内にのみ切手の通信販売を行っているが、外国の収集家に通信販売を行う考えはあるか？」

例えばアメリカ郵政は ebay を使って定額で世界中に販売を行い、ヨーロッパ諸国は WOPA という専用のサイトを使って販売し、自国の切手ファンを増やしている。

すでにある仕組みを利用して通販を行い、日本切手のファンを増やせば、利益増大にもつながるのではないかと？」

これに対し日本郵政は、以前より検討してきており、効率の良い方法を考えた上で、なるべく早期に実現したいと考えていると回答しました。

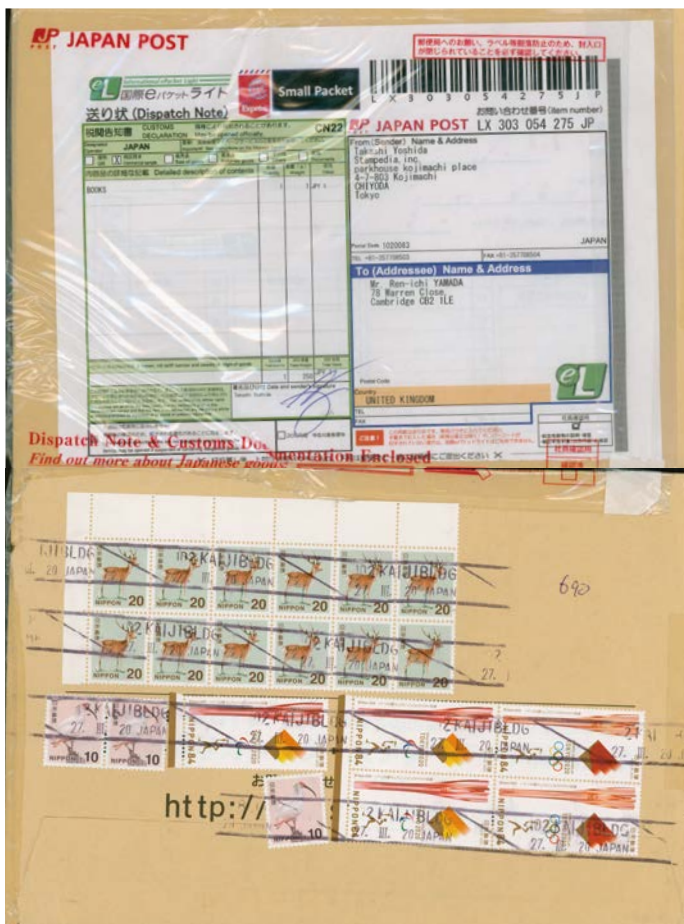
これは大変重要な回答だと思います。海外における日本切手のプロモーションの弱さは20年前以上から指摘されているところであり、近年も2009年の切手趣味週間切手や2016年の『切手帳グリーティング JAPAN』などといった海外向けと思われる商品を出してはいますが、販売に苦戦していたように思います。

しかし海外の収集家が、最近の日本切手に対する関心を全く持っていないわけではありません。私自身の体験で言えば、海外の収集家から最新の日本切手を交換してくれるようお願いされることがたまにあります。やはり交換はリアルマネーを使うのが一番、話が早いわけで、日本郵政が日本国外の住所に送ってくれば万事解決するわけです。海外への販売が本格化する時期は不明ですが、大いに期待しています。

おわりに

最後は少々脱線してしまいましたが、切手そのものだけを取り上げてみても 2020 年は色々な話題がありました。このほか新切手の初日印について感染症拡大を防止するため押印可能な時間帯が短縮されたり、郵頼がより広く受け付けられたりと、押印してもらうのに一苦労しつつも普段では作ることができない面白い郵趣品の作成を試みたという方も多いのではないのでしょうか。感染症対策は大変なことではありますが、その中でも新たな楽しみを提供してくれる郵趣はやはり素晴らしいと改めて実感しました。

大混乱の原因となった COVID-19 についてはワクチン接種が間近との報道もありますが、今後の展開は見通せません。しかし確かなことは、2021 年もまた数多くの日本切手が発行されるであろうことです。既に 10,000 種を超えた日本切手にまた新たな味わいが付け加わることを期待しています。



2020 聖火リレー切手他貼り英国宛て SAL 便小型包装物 (e パケット)
2020/3/27 差出、直後の 4/1 に「4/2 からの SAL 便引受停止」が発表され、直前の稀少な使用例

発行	名称	形態	印刷会社	額面				合計
				63	84	94	他	
1/15	おいしいにっぽんシリーズ 第1集	シール	Cartor	10	10			20
1/16	お年玉切手シート	裏のり	Cartor	1	1			2
1/23	ハッピーグリーティング	シール	Joh. Enschedé	10	10	10		30
1/28	国立公園理念 150 年・日本の海中公園 50 年	裏のり	国立印刷局		10			10
2/5	天体シリーズ 第3集	シール	凸版印刷		10			10
2/7	ふるさと切手「観光名所」	シール	Cartor		10			10
2/21	春のグリーティング	シール	Cartor	10	10			20
3/3	おもてなしの花シリーズ 第13集	シール	Cartor	5	5			10
3/10	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 東京 2020 聖火リレー	裏のり	Cartor		2			2
3/19	美術の世界シリーズ 第1集	シール	凸版印刷	10	10			20
4/1	グリーティング (ライフ・花)	シール	Cartor	5	5			10
4/6	第14回国連犯罪防止刑事司法会議 (京都コンgres) の開催	裏のり	Joh. Enschedé		6			6
4/15	グリーティング (シンプル)	シール	凸版印刷	1	1	1		3
4/20	切手趣味週間	裏のり	国立印刷局		2			2
4/21	ウポポイ (民族共生象徴空間)	裏のり	Joh. Enschedé		10			10
5/8	日本の伝統・文化シリーズ 第3集	シール	Joh. Enschedé	10	10			20
5/14	ハッピーグリーティング	シール	Cartor	10	10	2		22
5/20	ドラえもん	シール	凸版印刷	10	10			20
5/29	国宝シリーズ 第1集	シール	Cartor	10	10			20
6/1	夏のグリーティング	シール	Cartor	10	10			20
6/10	天然記念物シリーズ 第5集	シール	凸版印刷		10			10
6/16	江戸ー東京シリーズ 第1集	シール	Cartor	10	10			20
6/19	伝統色シリーズ 第4集	シール	凸版印刷	10	10			20
7/1	海のいきものシリーズ 第4集	シール	凸版印刷		10			10
7/8	世界遺産シリーズ<第13集>『百舌鳥・古市古墳群ー古代日本の墳墓群ー』	裏のり	Joh. Enschedé		10			10
7/17	史跡名勝天然記念物保護 100 年	裏のり	国立印刷局		10			10
7/22	ふみの日にちなむ郵便切手	シール	Joh. Enschedé	5	5			10
8/3	日本国際切手展 2021	シール	凸版印刷		10			10
8/18	おもてなしの花シリーズ 第14集	シール	凸版印刷	5	5			10
8/21	秋のグリーティング	シール	Cartor	10	10			20
9/1	国勢調査 100 年	裏のり	Cartor		5			5
9/15	ぼすくまと仲間たち	シール	Joh. Enschedé	5	5			10
9/18	日本のロータリー 100 周年	裏のり	国立印刷局		5			5
9/25	ハッピーグリーティング	シール	Cartor	5	2	5		12
10/5	国際植物防疫年 2020	裏のり	国立印刷局		10			10
10/9	国際文通週間にちなむ郵便切手	裏のり	Cartor				*1	5
10/9	国際文通週間 (東海道五十三次) 切手帳	裏のり	Cartor				70 円	55
10/16	美術の世界シリーズ 第2集	シール	凸版印刷	10	10			20
10/23	かもめーる特別小型切手シート	裏のり	Cartor	1	1			2
10/29	令和3年用年賀郵便切手	裏のり	国立印刷局	1	1		*2	4
11/11	おいしいにっぽんシリーズ 第2集	シール	凸版印刷	10	10			20
11/16	動物シリーズ 第3集	シール	Cartor	10	10			20
11/20	冬のグリーティング	シール	Cartor	5	10			15
11/27	絵本の世界シリーズ第4集	シール	Cartor		10			10
12/4	楽器シリーズ第3集	シール	凸版印刷	10	10			20
12/14	おもてなしの花シリーズ第15集	シール	Cartor	5	5			10
	合計			204	336	18	62	620

2020 年の日本の新切手一覧 *1 7, 70, 90, 110, 130 円 *2 63+3, 84+3 円

南方占領地のフィラテリー (15) 北ボルネオ / 正規切手

守川 環

前回は北ボルネオの暫定地方切手を紹介しましたが、引き続き正規切手について解説します。

1942年10月に発行された暫定地方加刷切手である「大日本帝国政府」一行加刷は、ブルネイ局でブルネイ切手を台に判子押捺した切手を除いて翌1943年にはその姿を消しました。それらに代わり、無加刷の昭和切手が数多く使われるようになりました。



昭和切手 8 銭単貼り パパール → API 1944.6.2 検閲, ex- 橋本

正刷切手

1943年4月29日（天長節＝天皇陛下の誕生日）にはジャワのゴルフ印刷工場で作られた正刷切手（4セントと8セントの2種）が発売されました。北ボルネオでの正刷切手の発行は他地区と異なりこの2種のみに留まった為、書留郵便などへの利用はブルネイの加刷切手などとのコンビネーションに頼らざるをえませんでした。



高額加刷切手

1944年5月11日に、2ドル、3ドル、5ドルの高額加刷切手が発売されます。発行数は、各200枚づつといわれています。

発行枚数が少ないわりに、台切手となった3種類の切手には「大日本帝国政府」一行加刷の有無や加刷色の違いなどバラエティーが多く、急場しのぎに台切手を集めたものと思われます。

通常英領地域では郵便切手が収入印紙も兼ねて使用されていますが、この地域ではすでにサラワク切手へ「収入」の加刷をした印紙が多く準備されていることから、収入印紙用としての加刷ではなく、あくまでも郵便切手として用意されたものです。

一説には、日本への電信送金用とか航空用との説がありますが、実際に使用されたものは未確認で、この3種を貼った初日カバーでの使用例が確認されているのみです。



\$3 加刷切手の台切手バラエティ (左から「加刷無し」「紫加刷」「赤加刷」) ex- 玉芙蓉



ミリ → Miri 2604.5.11 (1944), ex- 橋本

機械加刷（三行加刷）

1944年9月30日、1セントから1ドルまでの13種の北ボルネオ切手を台切手として「大日本 / 帝国郵便 / 北ボルネオ」と三行の右書き活字を機械加刷した切手が発行されました。

加刷工程はクチンにある「Chinese Press」にて行われ、100面シートを50枚ずつ2回に分けて、縦型切手は上下に、横型切手は左右に分けて製造されました。なお、4セントに加刷が上下に大きくずれた変種が確認されています。

加刷原版には版欠点が報告されており、原版が50面であったことが分かります。

加刷の版欠点の特徴	出現ポジション	
	横型切手	縦型切手
北 第一画が短い オ の横棒の右が出ていない	19,69	22,27
オ の横棒の左が欠けている	21,71	75,80
北 第一画が短い オ の横棒の右が出ていない	30,80	81,86

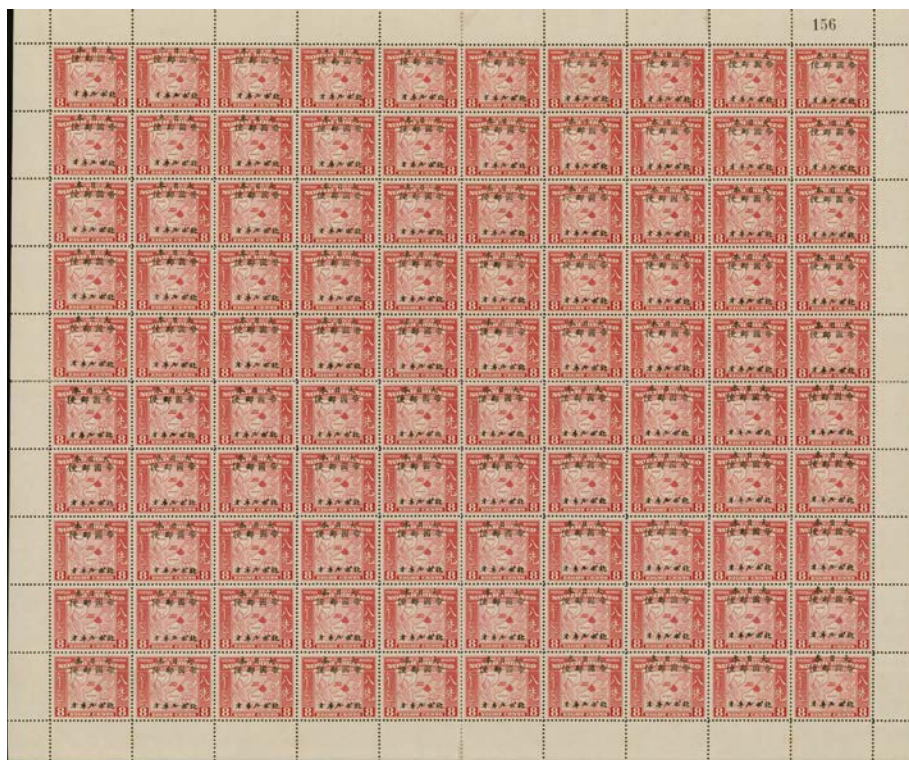
縦型切手と横型切手では、版欠点が出現するポジションが全く変わるので、両者の加刷工程の間で、版をばらして組直しをしたものと推測されます。

ところで、機械加刷の台切手には、原則として無加刷の北ボルネオ切手が用いられましたが、それに加えてごく少量ですが、暫定地方切手である『大日本帝国政府（一行）加刷』が回収されて台切手として利用されたものが確認されています。

確認されている額面は10種類にとどまり、次の通りです。（2セント、3セント、6セント、8セント、10セント、12セント、15セント、20セント、25セント、50セント）

加刷工程は必ずしもシート単位で行われず、一行加刷が途中までのものも含まれています。いずれにしても非常に貴重なものとなっています。





8 セント切手のシート（上）と Pos.19/20 の拡大図（下）

昭和切手への北ボルネオ加刷

昭和切手への北ボルネオ加刷を最初に発行したのは1944年10月2日で、その時には30銭が発行されました。前述の機械加刷（三行加刷）に30セントがなかったことが昭和切手30銭への加刷がいち早く行われた原因と推測されます。その後1銭から1円までの14種の切手に加刷されました。



30 銭切手「北ボルネオ」加刷他貼り クチン中央 2604-10-2 (1944)

無加刷の昭和切手はすでに各郵便局に配られていましたが、回収して加刷を行いました。この時期には地域内の物流が困難を極め、全額面が揃ったのは戦争末期の1945年7～8月頃です。

加刷工程は機械加刷（三行加刷）同様に、クチンの「Chinese Press」で行われましたが、加刷原版は100面と考えられており、加刷原版も1種類のみが知られています。

加刷エラーとしては、2セントに逆加刷、6セントに二重一方逆加刷、8セントに二重加刷が確認されています。いずれも1シートづつ加刷されたものと思われます。



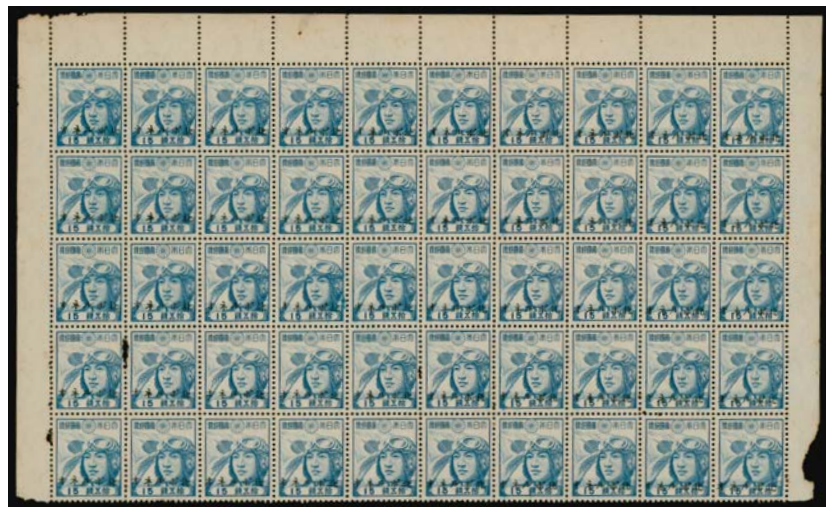
8 銭切手「北ボルネオ」二重加刷

6 銭切手「北ボルネオ」二重一方逆加刷





台切手：一次昭和 8 銭 「北ボルネオ」二重加刷シート（コピー）
1シートしか存在せずディーラーが分割販売する直前に撮影したカラーコピー



台切手：2次昭和1,15銭「北ボルネオ」加刷シート

内容証明郵便の特急取扱使用例

町屋 安男

近代郵便の三本柱は、①料金前納制 ②政府独占制 ③均一料金制であり、その三大特徴は、①低廉性 ②迅速性 ③確実性にある。それ故、郵便物はいかなる場合においても出来るだけ急速に送達しなければならない。特急取扱郵便（別配達・速達・航空）は迅速性を一義とし、一般郵便物よりも急速に送達する制度として創設された。別配達は引受と配達、速達は通送と配達、航空は通送の手続を短縮化している。

また、郵便物の確実な送達を図る為に、記録取扱の制度（書留・価格表記）が開設された。

内容証明は書留扱いに重ねて記録扱いをする“第二段の特殊取扱郵便”であり、通信省令第106号によって明治43年11月16日に創設された。

内容証明郵便とは「いつ・誰が・どんな内容の文書を誰に差出したかを謄本によって郵便局が証明する制度」であり、こちらの意思を相手方へ通知したことを第三者に立証したい場合に利用される。その際、法律上の意思表示は「通知の相手方に到達した時より其効力を生ず」と規定されている（民法第97条）。

そこで、内容文書が一字一句相違ない事を証明するだけでなく、間違いなく受取人に配達されたと言う事実を証明する為に配達証明郵便が付け加えられることになる。この様に、内容証明と配達証明とは表裏一体の関係にある証明郵便制度と云えよう。

【図1】は、内容証明の引受時刻証明付別配達郵便である。新大正毛紙切手3銭・5銭・30銭と第1次風景切手10銭2枚貼りであり、差立印は「秋田・湯沢・昭和8年7月31日・前8-12」となる。

郵便料金の内訳は、封書3銭・書留10銭と引受時刻15銭に別配達30銭を合算した58銭である。留意すべきは、内容証明料に相当する郵便切手が、大正3年12月7日から局内保管謄本に貼付消印することになっていることである（公達第608号）。

内容証明郵便では配達証明と速達の組合せ使用例が一般的であり、ここでは速達の代りに別配達が使用され、引受時刻証明が配達証明に代用されている。そこで、名宛人に注目してみると「秋田



図1 秋田・湯沢 昭和8年7月31日・前8-12

供託局湯沢出張所」の書記宛である。供託とは「金や品物を、法律で定められた所へ預けておくこと」であるから、供託局は金や品物を預かる公的機関であろう。そして、内容証明郵便物が引受時刻証明扱いにされたのは内容文書の差出時刻が権利の得喪に重大な関わりのある場合であるからと思われる。制度化された当初の引受時刻証明郵便は配達通知書を差出人へ送付することになっていたもので、事実上において配達証明を付随した郵便制度となる（～昭和 13 年 4 月 30 日迄）。

尚、引受時刻証明郵便の初めは、明治 24 年 11 月 18 日の公達第 455 号における「鉱業に関する書留郵便物の受領証書（備考欄内）に、差出人の請求に応じて受取時刻を記入すべし」と云う布達にある。また、明治 32 年 6 月 28 日の公達第 337 号によって引受時刻印の様式が布達される（同年 7 月 12 日に「郵便物受取時刻印」と称す）と共に特許に関する書留郵便にも適用され、受取時刻の要請がある場合は書留郵便物の余白にも押捺される様になった（同年 7 月 1 日施行）。引受時刻証明が郵便制度として開設（有料化）されたのは、明治 41 年 4 月 1 日である（通信省令第 7 号）。

次いで、内容証明郵便が別配達扱いにされた理由については、既に明白であろう。昭和 8 年 7 月 31 日の時点における速達郵便は、特定の大都市地域（京浜地区、京阪神地区、中京地区と北九州・下関地区）に限定された郵便サービス制度であった。当時の秋田・湯沢では、利用できる特急取扱制度が別配達しか無かった訳である。

別配達郵便とは引受局が何時でも受け付けると共に配達局に到着後は直ちに特別の配達人によって一通ずつ配達される特急取扱制度であり、明治 6 年 4 月 1 日から制度的に実施された（太政官布告第 97 号）。別配達郵便は、書留（又は価格表記）扱いにされた「第二段の特殊取扱郵便」である。今までのところ、内容証明の引受時刻証明付別配達郵便は唯一の確認例となる。

速達郵便とは「ほかの同一種類に属する郵便物で速達としないものに優先して送達する」特急取扱制度であり、逡送と配達を短縮する。証明郵便や訴訟書類郵便等の速達はレアな使用例として周知されているが、速達郵便との相性については配達証明郵便 > 内容証明郵便 > 訴訟書類郵便の順になるう。

【図 2】は、配達証明付内容証明郵便と速達の組合せ使用例である。富士鹿切手第 1 次旧版 8 銭ペアと第 1 次風景切手 6 銭が貼付され、引受印は「麹町・昭和 2 年 3 月 5 日・后 1 - 2」となる。郵便料金は、封書 3 銭・書留 10 銭に配達証明 3 銭と市内速達 6 銭を加算した 22 銭である。当時の速達郵便は、京浜地区（明治 44 年 2 月 11 日）と京阪神地区（明治 45 年 4 月 1 日）に限定された取扱地域指定時代となる。転送される普通扱いの通常郵便物は差出された当初の取扱方法で転送されるので、速達扱いである。



図2 麹町 昭和2年3月5日后1-2



封書3銭+書留10銭+配達証明3銭+市内速達6銭=22銭

【図3】は、書留・内容証明の速達郵便である。新大正毛紙切手3銭（ゲーベル）3枚と第1次風景切手10銭の混貼であり、データは「本郷・昭和4年6月24日・后5-6⇒下谷・昭和4年6月24日・5-6⇒駒込・昭和4年6月24日・后10-12」となる。料金の内訳は、封書3銭と書留10銭に市内速達6銭を加えた合計19銭である。

内容文書によると、東京帝国大学の学生課が翌25日に面談する学生を招呼する為に速達扱となった。又、内容証明郵便の取扱時に郵便日付印の時刻更埴が行われた為に、内容文書の日付印（6月24日・后4-5）と封筒の日付印（同日・后5-6）に時間差が生じている。

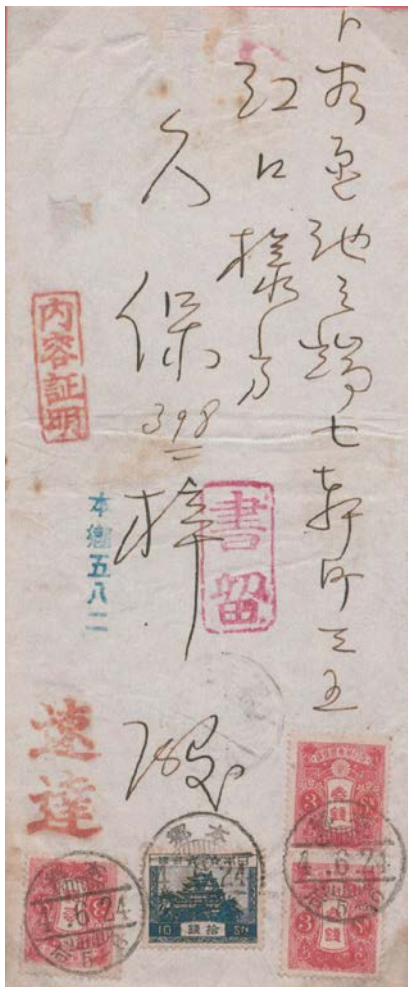


図3 本郷 昭和4年6月24日后5-6



内容文書

本郷 昭和4年6月24日后4-5

世界一周のカードとカバー

安藤 源成

1903年のライト兄弟のライトフライヤー号以降、第一次世界大戦によって急速に発展した航空機によって、郵便物も航空郵便料金が定められ、国内は基より外国にまで運ばれました。

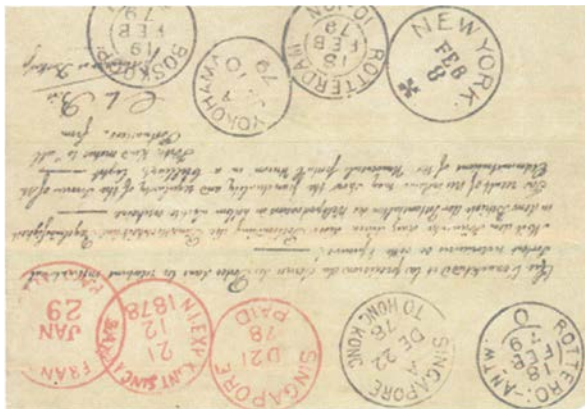
欧米では、空路が世界一周した時に郵趣家が多くはFFCを作成していますが、日本の郵趣家は日本発着の世界一周のカバーは作成していません。戦後に秋葉凱照、前田晃両氏の会がFFCを作成して会員に配布しました。

郵趣家なら世界一周カバーと言えば、先ずドイツ・ツェッペリン飛行船のツェッペリン・カバーの世界一周を思い浮かべるでしょう。

今回取り上げたのは、1978年 BOSKOOP, NEDERLAND から船便で SINGAPORE、HONG KONG、日本、U.S.A. 欧州を経て東廻りに NEDERLAND に帰還したものと、1931年 LONDON から東廻りで SIBERIA（鉄道？）経由で東京に宛てられ、TOKYO から Air mail でアメリカ廻りで LONDON に返されたものです。

BOSKOOP 帰還カード

BOSKOOP ボスクープ（オランダ語の発音：'bosko:p）は南ホランド州の町です。2014年にアルフェン・アーン・デン・レインに合併するまでは別の自治体でした。町は2012年に15,050人の人口を持ち、7.29平方 km（2.81平方マイル）の面積をカバーし、そのうち1.39平方 km（0.54平方マイル）は水です。世界最大の花里文化エリアです。



BOSKOOP 21.NOV.78 → SINGAPORE D21 78. PAID → N.I.EXY x.NT SINGAPORE 21.12.1878.
 → SINGAPORE A DE.22.78.TO HONG KONG → YOKOHAMA A.10.79. YOKOHAMA JAN.12. 1879.
 → SAN FRANCISCO JAN. 29. PAID (ALL) → NEW YORK FEB.8. → ROTTER DAM 18,FEB.79.
 → BOSKOOP 19.FEB.79. 所要日数：3 ヶ月と 8 日

LONDON → TOKYO → LONDON カバー (重量便 27.8mm×12mm)



BRITISH Stamps 1.5p(3) (英米間料金) LONDON 20.JNE/31 → LONDON REGISTERED 30.JNE.31. LONDON → TUCKAHOE N.Y. JUL.8.1931 →

U.S. Stamp 9 C (日米間料金) New York JUL.9. → THOS. COOK & SUN. LTD. MAIL JUL.29.1931.

DEPARTMENT → YOKOHAMA

Japanese Stamps 名古屋城 (青) 10 銭 (4) 富士鹿 20 銭 (日英間料金) YOKOHAMA 29.7.31.JAPAN, → CHANGCHUN 1.8.31. → Siberian Railway → MOSKVA → BERLIN 23.8.31. → LONDON

同じ年である 1931 年 7 月に英国女性パイロット、エミー・ジョンソンが機関士のジャック・ハンフリーと共にデハビランド・ジプシー・モス機ジョンソン 2 世号で 21 時間掛けてモスクワへ飛行。そこからシベリア・西アジア・中国を経由して 8 月 6 日に東京（立川飛行場）へ到着。9 日 7 時間 25 分の「日英間 12,000K 世界記録」で訪日飛行を成し遂げました。彼女が東京から母国の母親に宛てた直筆のカバーが有るので掲載します。



名古屋城（青）10 銭 TOKYO 7.8.31. JAPAN → LONDON
(裏面にハンフリー機関士のサイン)

日本は昭和 12 年 4 月 1 日に朝日新聞社の「神風」号がインドを経由して、6 万キロの亜欧飛行を達成しました。昭和 13 年にはニッポン号が世界一周飛行を成し遂げましたが、記念切手の発行は無く、小型記念印が使用されただけでした。その代わりに、朝日・毎日新聞社が多くの記念絵葉書を発行しているので下記に掲載します。何れも郵便物の積載はされて居ない様です。FFC も見た事ありません。このような場合、欧米では多くの FFC が作成されるのですが。「ニッポン号」「神風号」については園山清助氏の著書「日本航空郵便物語」が詳しいので、ご参照ください。



神風号

東京倫敦間亜欧記録大飛行記念 絵葉書
東京朝日新聞社 発行 S12.4.1



飛行路線と、飯沼操縦士、塚越機関士



世界一周大飛行記念繪葉書
東京日日新聞社 発行



世界一周大飛行記念繪葉書
東京日日新聞社、大阪毎日新聞社 発行



世界一周大飛行工程圖 大阪毎日新聞社 発行

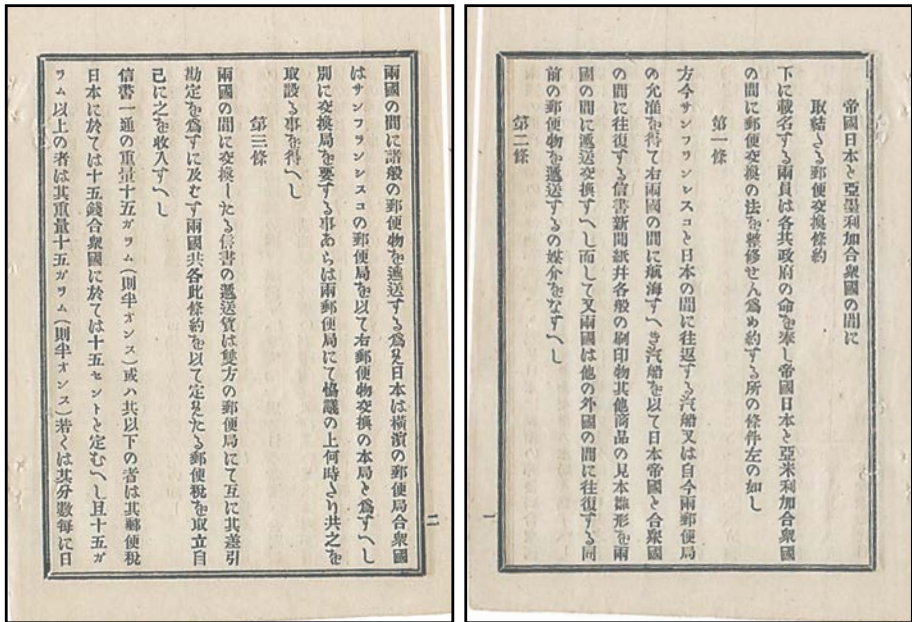
「郵便交換條約」と「外国郵便税表」

安藤 源成

安藤さんより資料の提供がありました。これらの資料は本号の付録2としてマイスタンペディア で提供しますので、ダウンロードしてご利用ください。[編集部]

フィラテリストマガジンが届き、記事を拝見する中で、山本勉氏による UPU 加盟の記事を読ませていただきました。そして、手元に『郵便交換條約』の告示原本があるのを思い出し、探したところ見つかりました。

ただ文語体で内容が正確にはわかりません。解読にも時間がかかりそうですので、当方の資料を画像として提供させていただき、皆様の研究材料にご活用いただければと思い、提供させていただきます。



また別の書類になりますが、明治8年郵便規則の関連資料である「外国郵便税表」も提供させていただきます。（次ページ）

明治8年郵便規則は複製された資料が存在するのはご承知の方も多いと思いますが、そこには掲載されていない資料ですので、関心ある方も多いのではないかと思います。

[illegible]

戦前の欧文櫛型 JAPAN 印（6）

SHIMONOSEKI 関連局

杉山 幸比古

はじめに

これから述べる下関関連局の印影は14にもおよび複雑に入り組んでいる。話が複雑になる原因は、異なる郵便局で時期を変えて、同じ「SHIMONOSEKI」という欧文印を使用した事がその最大のものである。すなわち同じ綴りの『SHIMONOSEKI』という印が、時期によって異なる郵便局で使用されているという事である。

ただ、基本的には下関にあった二つの郵便局にかざられた問題であるので、まずは局ごとに経時的に見ていく事とする。二つの局は時期によって様々な名称で呼ばれているが、基本「東局」と「西局」と考えると分かりやすい。

図1に東局と西局、そして現在の下関局の位置を大まかに示す。図からも明らかなように両局は極めて近い距離にあり（約1km弱）、これまでにのべた神戸局と三宮局の関係に非常によく似ている事がわかる。東局は下関市南部町に、西局は下関市西細江町にあった。



図1 東局と西局の位置関係

歴史的には東局が古く、当初赤間関郵便取扱所として発足し、年号2字印「AKAMAGASEKI」を保有していた。その後、西の細江郵便局も開設され、1905年（明治38）6月12日にはおなじ二等局である下関東局、下関西局としてスタートした。この辺りから本論の欧文櫛型 JAPAN 印との関連が始まる。その後、1913年には東局が「下関局」（一等）、西局はその「細江分室」となったが、1921年にはその立場が逆転し、東は「下関東局」（二等）、西は「下関局」（一等）となった。

この変更の原因は、すべて鉄道の開通とその結果としての駅の設置にあると岡藤氏は述べている。（※1）本論の欧文印に関連する時期の二つの郵便局の名称と使用欧文印を表にまとめた。この表は岡藤氏の貴重な原表（※1）とそれを改変した天野氏の表（※2）に基づく。

	西局（細江町）		東局（南部町）	
1905.6.12(M38)~	二等局	SHIMONOSEKI-NISHI (下関西)	二等局	SHIMONOSEKI- HIGASHI (下関東)
1913.6.13(T2)~	分室	SHIMONOSEKI 2 (下関郵便局細江分室)	一等局	SHIMONOSEKI (下関)
1915.4.1(T4)~	二等局	SHIMONOSEKI-HOSOE (下関細江)		
1921.9.14(T10)~	一等局	SHIMONOSEKI (下関)	二等局	SHIMONOSEKI- HIGASHI (下関東)

図1を見ていただければお分かりのように、西局は東局よりも鉄道の駅に近く、また両局共に海に面してはいるが、西局はより大きな港に面しており、関釜間連絡船も西局付近の港から発着していたという利便性にも恵まれていた。立場が逆転していったのも当然であろう。

この辺りは神戸と三宮の関係とは少し異なる点で、三宮は港に近くまた外人のアクセスには優れてはいたが、神戸局は鉄道線路（駅）に圧倒的に近く、神戸局優位は崩れる事がなかった。

また重要な点は、マテリアルから見ていくと、一貫して外国郵便交換局であったのは西局のようであり、東が一等局で西がその分室であった時も、二等局になった細江局の時代でもどうやら西（細江）が外国郵便交換局であったようだ。こういった点も興味深いですが、資料的な検討が今後なされれば、それによっては事実とは異なるかもしれない。それではこれから、2局を順に詳しく見ていく事とする。

20. (A) 東局 (南部町)

20A-1) SHIMONOSEKI-HIGASHI 印 前期 (ゴム印) (1905.6.12~1913.6.12)

1905年(明治38)6月12日、下関東と改称された。二文献(鳴美本:山崎編「郵便消印百科事典」(株)鳴美、2007、ハンドブック:日本郵趣協会「日本郵便印ハンドブック2008」、2007)にはこの時代のデータは掲載されていない。

天野氏の文献に菊1銭5厘紫への記念押印1909.8.25がある。(※2) どうやらこの時期には欧文印を保有するものの、実際の郵便物には使用しなかったようである。

20A-2) SHIMONOSEKI 印 (1913.6.13~1921.9.13)

前述したように1913年6月から東局は一等局の「下関」局となった。それに伴い欧文印の表示も変化したものと考えられる。

a. 金属印 (Jセリフ付きバランス型) (図2)

既に述べたように、このJセリフ付きバランス型タイプは下関、下関2、帝国ホテル、神戸小野柄、七条の5局で確認されているものである。鳴美本には最古データ1913.6.1があるが、6月13日に局名改称であり、このデータは納得できない。ここではハンドブックの6月21日を採用させていただく。最新は1914.4.29(※2)である。



図2 バランス型金属印「J」のセリフ付き

b. ゴム印 (図3、4)

最古データは1914.12.12 (*2)、最新は図4の1917.10.25となる。データをみていると、当初金属印でスタートし、1914年後半からゴム印となったようにみえる。すべて黒印である。

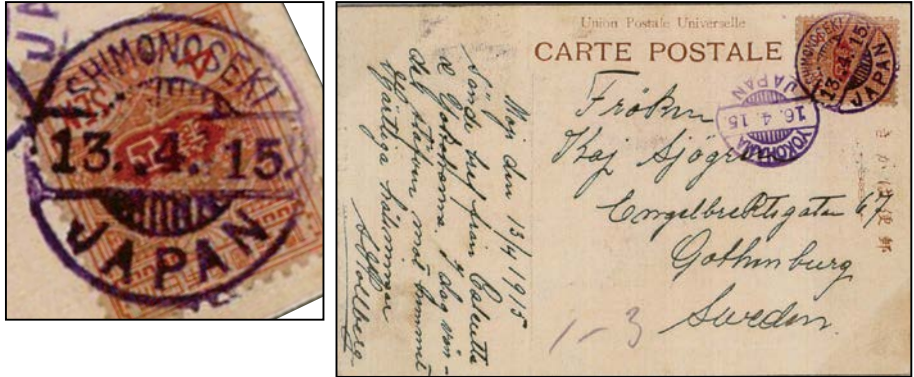


図3 ゴム印 1915年(大正4)4月13日



図4 ゴム印 1917年(大正6)10月25日

20A-3) 後期 SHIMONOSEKI-HIGASHI 印 (図5) (ゴム印) (1921.9.14~)

1921年9月より、東局は一等局から二等局へ格下げとなり、名称も再び下関東局となった。この際、ゴム印が再登場している。最古1922.7.4(*2)、最新はハンドブックの1924.7.24となる。



図5 SHIMONOSEKI-HIGASHI 後期印
1923年(大正12)10月27日

東局(南部町)	材質	最古	最新
HIGASHI 前期	ゴム	1909.8.25	
SHIMONOSEKI	金属	1913.6.21 **	1914.4.29
	ゴム	1914.12.12	1917.10.25
HIGASHI 後期	ゴム	1922.7.4	1924.7.24

各局の最古/最新日付における備考は、* 鳴美本 ** ハンドブック

20.(B) 西局（細江町）

東は割合と単純であるが、西局は極めて複雑であり、トータル10もの印影を数える。

20B-1) SHIMONOSEKI-NISHI 印（ゴム印）（1905.6.12~1913.6.12）（図6、7）

最古データは1911.12.11（※3）、最新はハンドブックの1913.6.12となる。ここで図6を見ていただくと、抹消印が下関東局の和文印であり、中継がこのNISHI印である。この葉書からわかる事は、当時東局はHIGASHI印を保有していたにもかかわらず、これを抹消印としては使用せず、葉書は東から西へ送られ、西局の欧文中継印を押されてドイツへと旅立った。すなわち下関東局は外国郵便交換局ではなく、西局が当時は交換局であったという事を示していると思われる。



図6 NISHI ゴム印 1912年（明治45）6月19日。下関東抹消でNISHI中継



図7 NISHI ゴム印 1913年（大正2）4月24日

20B-2) SHIMONOSEKI 2 印 (1913.6.13~1915.3.31)

1913年6月、西局は東へ吸収され、下関郵便局細江分室として開設された。この変化に対応した印がこの「2」印と考えられる。片山氏の文献(※4)に分室欧文印は「親局+2」表示とある。当初、金属印(Jセリフ付きバランス型)でスタートし、途中からゴム印も並行して用いられたようだ。

a. 金属印 (Jセリフ付きバランス型) (図8、9)

図8、9は黒印だが紫の到着印も存在する。(図10) 最古データは鳴美本の1913.6、最新は前述の片山氏文献の1914.6.4(※4)となる。

なお、天野氏によれば1915.1.4のカバー(※5)は中継印であり、抹消印はSHIMONOSEKIとの事である。(※2) 従って、この時期もどうやら外国郵便交換局は西局であったようだ。



図8 到着印 1913年(大正2)7月3日。「J」セリフ付き



図9 抹消印 1913年(大正2)9月27日。「J」セリフ付き



図10
「2」金属印、紫。
1914年(大正3)
1月
封筒裏面拡大図



b. ゴム印 (図11)

図11は紫印であるが、他に黒印もあったとされる。(※2) 最古データ 1913.11.20 (※2) で最新は図11の 1915.3.24 である。



図11 ゴム印 1915年(大正4)3月24日。最新データ更新

[ad]

全国切手展 (競争切手展) 出品締切は 12/17 (火) です

会期: 2021年4月10日(土)~13日(火) [4日間]

会場: 郵政博物館(東京都墨田区・東京スカイツリータウン内)

規模: 100 フレーム

主催: (特非) 郵趣振興協会 / (公財) 通信文化協会

協賛: スタンペディアプロジェクト

後援: カルトールセキュリティプリンティング社、
切手市場、(一社) 全日本郵趣連合、
(公財) 日本郵趣協会、株式会社鳴美



<http://kitte.com/stampex2021>



無料登録・無料入札の流れ

Philasearch で検索!

- ① www.philasearch.com/jpを開く
- ② 最新オークションからロットを選択し、入札用紙に追加する
- ③ 個人情報登録後、担当会社に入札を送ってから入札完了!

世界の切手オークションが お手軽に

170社以上
参加中

以下の東アジア専門オークション等をご紹介します



Schuyler
Rumsey
Philatelic
Auctions



interasia
auctions



おすすめ!

毎週の新着品を
メールで楽しもう!

当ホームページにて、検索条件を保存すると、
新着品が届いた場合は通知を受け取る事が可能!



www.philasearch.com/jp

※ フィラサーチは、販売代理として日本語対応のウェブサイト及びサポート窓口を無料で提供します。各販売の担当オークション会社により手数料などが発生する場合があります。ご入札送付の際、入札規定をご確認ください。

※ 担当オークション会社へのご連絡、お問い合わせにつきましては、英語のみの対応となります。日本語対応のお問い合わせ・ご意見・ご質問・ご要望などは、service@philasearch.com までご連絡ください。

20B-3) SHIMONOSEKI-HOSOE (A 欄 HOSOE) (1915.4.1~)

1915年（大正4）4月1日、細江分室は廃止され、新たに二等局の下関細江郵便局として発足した。これに対応した欧文印と考えられる。

a. ゴム印（図12）

2文献では金属ゴムの区別、A 欄、D 欄の区別がないため有用なデータは得られなかった。筆者の調査では以下の4データが採取できた。

日付	出典	備考
1915.6.1	(※2)	最古データ
1915.8.6	(図12)	
1916.4.8		
1916.5.16	(※6)	最新データ

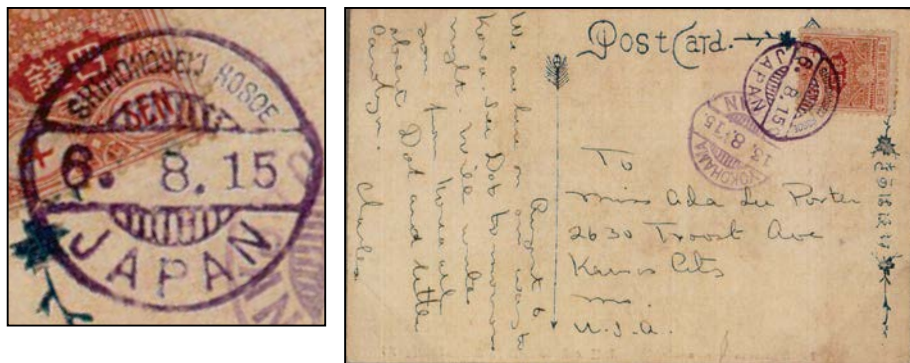


図12 A 欄 HOSOE のゴム印。1915年（大正4）8月6日

b. 金属印 (収縮型) (図13、14、15)

ゴム印と同様、極めてデータの少ない稀印である。

収縮型で長い局名をA欄に無理やり入れた為、鮮明な印でも局名が読みにくい状況となっている。前期のゴム印の方がまだ判読可能のようである。短期間でD欄 HOSOE 入りに変更になったのも納得が行くところである。この金属印はハンドブックのデータも含め以下の5データを採取できた。

集めたデータを見る限りでは、ゴム印と金属印の使用時期はかぶっていない。ゴム印から金属印に切り替わったのだろうか。

日付	出典	備考
1919.5.25	(図14)	最古データ
1919.5.31	(※7)	
1919.10.3		
1919.12.30		
1920.4.6	(図15)	最新データ

図14 A欄 HOSOE の金属印。
1919年(大正8)5月25日。
最古データ更新



図13 A欄 HOSOE の金属印。
1919年(大正8)12月30日



図15 1920年(大正9)4月6日。
最新データ



20B-4) SHIMONOSEKI/HOSOE (D 欄 HOSOE)

A 欄にとて文字が入りきらないという点から、D 欄に HOSOE が入った印に変わったと考えられる。

a. 金属印 (J セリフなし特殊バランス型) (図 16)

まず金属印でスタートしたようであるが、この印はバランス型でありながら C 欄の JAPAN の「J」にセリフがない特殊型となっている。最古データ 1920.7.9 (*2)、最新 1924.10.7 (ハンドブック) である。前記の金属印データと合わせ、A 欄印から D 欄印への切り替えは 1920 年 4 月～7 月のどこか、ということになる。

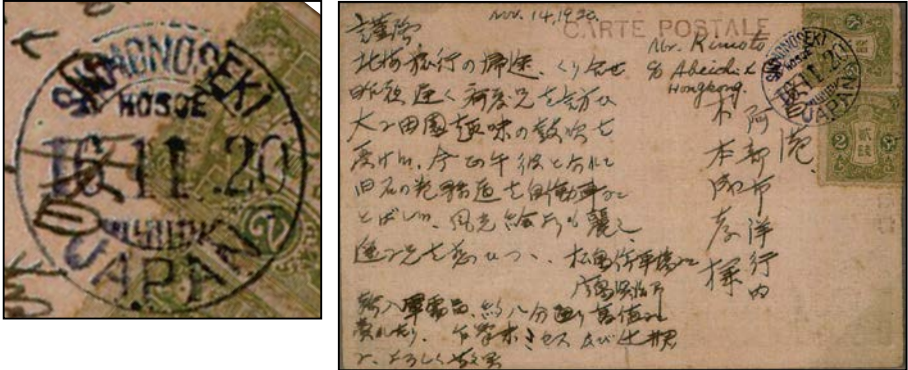


図 16 D 欄 HOSOE の金属印。1920 年 (大正 9) 11 月 16 日

b. ゴム印 (図 17)

最古データは図 17 の 1924.3.16 であり、最新は 1924.10.7 (*8) である。途中からゴム印が加わり、併用されたようである。

ここで問題になるのが 1924 年の例である。すなわち、1921 年 9 月 14 日に東局は「下関」から「下関東」に戻り (二等局に降格)、西局は「下関細江」から「下関」(一等) へと改称されている。とすると、西局では「下関」に改称後も「SHIMONOSEKI/HOSOE」を使用していたことになる。

この点については既に文献 (*2) 及び (*8) で触れている。新しく下関局となった西で、以前の細江局の欧文印が 3 年近くも使用されていたという不思議な事象であるが詳細は不明である。



図 17 D 欄 HOSOE のゴム印。1924 年 (大正 13) 3 月 16 日

20B-5) SHIMONOSEKI

1921.9.14 から使われていても良いはずであるが、前述したように HOSOE 印もしばらく使われていたようである。

a. 金属印 (収縮型) (図18)

典型的な収縮型の金属印であり、最古データは 1923.1.18(図18)、最新 1933.1.10 (ハンドブック) となる。前述の D 欄 HOSOE 印とともに、中国のジャンク切手貼りにパクボー印として押されたものも多く目にする。

おそらく、この時期の西局ではなんらかの理由で「SHIMONOSEKI」表示の新印の作成が遅れたために、以前の細江局時代の HOSOE 表示のゴム印を動員してしのいでいた、そして郵便物の量も多いので、新印到着後も元の HOSOE 印を併用していたのかもしれない。この辺は推測の域を出ないが、存在するマテリアルを見る限りはそうように考えざるを得ない。

「SHIMONOSEKI」表示の金属印はこのように異なった2局で同じ綴りの印が用いられたわけであるが、一方は「J」セリフ付きバランス型、他方は「収縮型」と同じ金属印でもタイプが全く異なるため、年号を見なくとも東西どちらの局で用いられたかは、すぐに分かる。



図18 収縮型金属印 (西局の SHIMONOSEKI)。1923年 (大正12) 1月18日、最古データ更新

b. ゴム印 (図19)

この後期の SHIMONOSEKI ゴム印もデータが極めて乏しい印である。天野氏による、1927.6.19, 1927.10.6, 図19の 1927.9.9 の3点を確認したにとどまる。

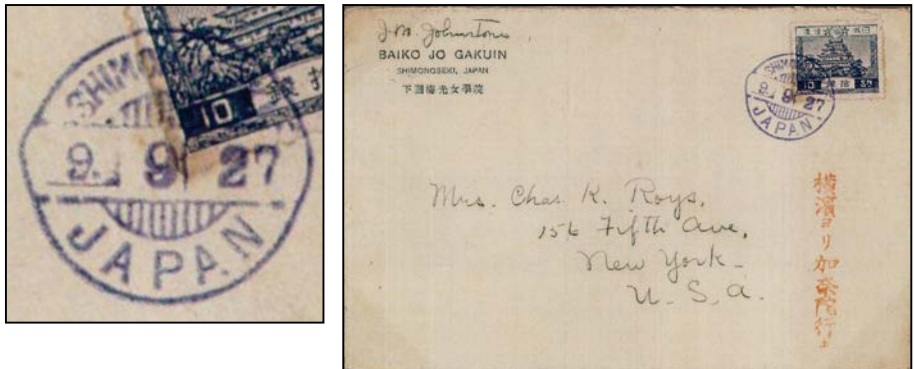


図19 西局 SHIMONOSEKI ゴム印。1927年 (昭和2) 9月9日

20B-6) SHIMONOSEKI-NISHI の「NISHI」 削り印 (ゴム印) (図20)

最後に様々な謎を秘めている印について述べて下関を締めくくることとした。

この印については最近まで日本では全く言及されてこなかったものであるが、米国では既知られており、ISJP 誌に触れられている。(※9)

ここでは注記として、SHIMONOSEKI の後の空きスペースの広さから見て、「HIGASHI」ではなく「NISHI」を削った (shaved) ものだろうとされている。



図20 NISHI 削りゴム印のシェーマ

この印は日本では2018年12月のジャパNSTAMP・フロアーオークションに初めて、それも2通同時に登場し驚かされた。(※10) データは1913.7.- (中継印) と1913.9.13 (到着印) である。2通ともやや不鮮明な印であったが、驚くような高値で落札されている。

この印での問題点は、削られた元の印はなんだったのか、という点と東西どちらの局で使われたのかという2点である。元の印についてはISJP 誌で述べられているようにスペースの広さから見て、確かに「NISHI」を削ったもののようである。使用局については、使用形態が外国郵便交換局としての使用のようであり、当時のマテリアルの状況から西局が交換局であったようなので、西局(1913年7月～9月は下関細江郵便局)とおもわれる。ただ、そうだとするとこの時期は東局が「SHIMONOSEKI」局を名乗っており、紛らわしいことになる。

使用時期の1915年7月～9月を考えると、西局が分室から細江局に昇格したばかりで、新しい印が間に合わず、とりあえず既存のNISHI 印を削って使用したのだろうか。しかしなぜ、KOB2のように直前使用の「2」印を削らなかったのか、という疑問も残る。西局から古い印を東へ回し、東局で「NISHI」を削って使ったという考え方もできなくはない。(ただし、使用形態が合わないが) いずれにせよ、この印についてはさらに調査研究が必要かと思われる。

西局 (細江町)	材質	最古	最新
NISHI	ゴム	1911.12.11	1913.6.12**
SHIMONOSEKI2	金属	1913.6.-*	1914.6.4
	ゴム	1913.11.20	1915.3.24
A 欄 HOSOE	金属	1919.5.25	1920.4.6
	ゴム	1915.6.1	1916.5.10
D 欄 HOSOE	金属	1920.7.9	1924.10.7**
	ゴム	1924.3.16	1924.10.7
SHIMONOSEKI	金属	1923.1.18	1933.1.10**
	ゴム	1927.6.19	1927.10.6
「NISHI」 削り	ゴム	1913.7.-	1913.9.13

<引用文献>

- (※1) 岡藤政人。“下関”表示の2つの郵便局。郵趣 38(12):1128-1129,1984.
- (※2) 天野安治。SHIMONOSEKI 東と西-2つの局の欧文櫛型印—郵趣研究46号:2-5,2002.
- (※3) ジャパンスタンプ・オークション第105回(2018.12月) ロット4459
- (※4) 片山七三雄。日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915。pp122, スタンペディア、2020
- (※5) 岡藤政人。SHIMONOSEKI と SHIMONOSEKI2 蒐郵 23(10)、1998
- (※6) ジャパンスタンプ・オークション第22回フロアー(2000.12月) ロット58
- (※7) タカハシ・オークション496号(2008.1月) ロット449
- (※8) 宇佐見晋一郎。下関細江局の欧文櫛型印に1924年使用のデータを確認。フィラテリスト 17(1):32,1985.
- (※9) Swenson,C.A.L.,2.Missent to Shimonoseki Hosoe.Japanese PHILATERY 65(1):43-45,2010.
- (※10) ジャパンスタンプ・オークション196号(第105回フロアー)(2018.12月) ロット4460、4915

前号(28号)掲載の当方記事中、「小樽の金属印」および「三宮『S』鏡字」に対して、岐阜県の小寺雅弘様より最古ないし最新データを更新するマテリアルのご報告を頂戴しましたので、以下に掲載します。小寺様、更新情報のご提供ありがとうございました。



OTARU 1906.5.6



OTARU 1906.2.3
(ジャパン 102 回 1983)



SANNOMIYA KOBE 「S」鏡字印 1906.1.6 (最古) 1906.6.14 (最新)

戦後の欧文櫛型印（6）

C欄 JAPAN・中間グループ（下）

神宝 浩

今回は、1949年秋の国名表示切替えから1951年11月の欧文印の全国的配備までの期間中に使用が始まったC欄JAPAN印のグループ（右表③の「C欄 JAPAN・中間グループ」）のうち、前回取り上げなかった印、すなわち、C欄NIPPONの時期を経ることなく、最初からC欄JAPANで登場した印をご紹介します。

①	C欄 NIPPON グループ
②	C欄 JAPAN・先行グループ
③	C欄 JAPAN・中間グループ
④	C欄 JAPAN・後発グループ
⑤	事務用印流用グループ

AMF TOKYO

AMF TOKYOは、1950年(昭25)7月6日に東京の羽田空港に開局した東京中央局の「羽田飛行場分室」の欧文印で、AMFは「Air Mail Facility」の略です。

この分室局は、開局翌年の1951年8月23日限りで一旦閉鎖され、次の年の1952年4月10日に、分室局から格上げされて、東京中央局の「羽田分局」となり、欧文印も「TOKYO AMF」の三日月印に変わりました。

したがって、欧文櫛型印 AMF TOKYO の使用期間は、基本的に1950年7月～1951年8月と考えられます（ただし、1952年に羽田分局になってからの使用例もある模様）。



【図1】AMF TOKYO 1951.7.12



【図2】AMF TOKYO 1950.12.19

AMF TOKYOには金属印とゴム印がありますが、金属印の方が希少です。図1はその金属印で、米国宛の私製航空書簡に使われたものです。私製航空書簡というのもあまり見かけない郵便物で、図1のエンタイアは、消印、郵便の種類とも貴重な逸品といえるでしょう。

図2はゴム印の方で、平等院24円ときじ航空103円を貼ったイギリス宛の航空書状に使われた例です。AMF TOKYOのゴム印は、図にみられるように、若干上下につぶれた楕円形をしているのが特徴です。

IMPERIAL HOTEL PO

IMPERIAL HOTEL POは、東京の「帝国ホテル内」局の欧文印ですが、わが国の欧文印としては、「帝国ホテル」の英文表記をそのまま局名の表示に使っているところが変わっています。末尾のPOはPost Officeの略称と思われます。

帝国ホテル内局の欧文楕型印は、戦前にも使われた時期がありますが、戦後は他に例を見ないほど多くの種類の欧文楕型印が使われたのがこの局の特徴です。帝国ホテル内局で戦後使われた欧文楕型印としては、次の5種類が知られています。

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ①D欄がTOKYOの金属印 | IMPERIAL HOTEL POとして戦後最初に登場した印 |
| ②D欄が楕型の金属印 | ①の後継印でD欄がTOKYOから楕型に変化したもの |
| ③D欄がTOKYOの大型ゴム印 | 独自のスタイルの大型印 |
| ④D欄がTOKYOの中型ゴム印 | 最近確認された中型印 |
| ⑤D欄がTOKYOの小型金属印 | 独自のスタイルの小型印（ゴム印説もある） |

これら各印の使用開始時期は同じではなく、「日本郵便印ハンドブック」（日本郵趣協会、2007.9）によれば、それぞれの最古データは、①が1949年5月、②が1952年3月、③が1951年1月、⑤が1952年4月、とされています。また④の印は、ハンドブックには未掲載ですが、今のところ1950年12月が最古データです。

このように、これらの印は、個別にみると時期的には必ずしも「C欄JAPAN・中間グループ」に当てはまらないものもありますが、これらの印を一体的にとらえて実態的に見た場合、位置づけとしては「中間グループ」とするのが適当であろうと考え、本稿では「中間グループ」にまとめて取り上げることとしました。

図3は、①のD欄がTOKYOとなっている金属印の使用例で、能面50円と産業図案3種を貼り合わせた米国宛航空書状にこの印が押されたものです。



【図3】IMPERIAL HOTEL PO 1951.5.16

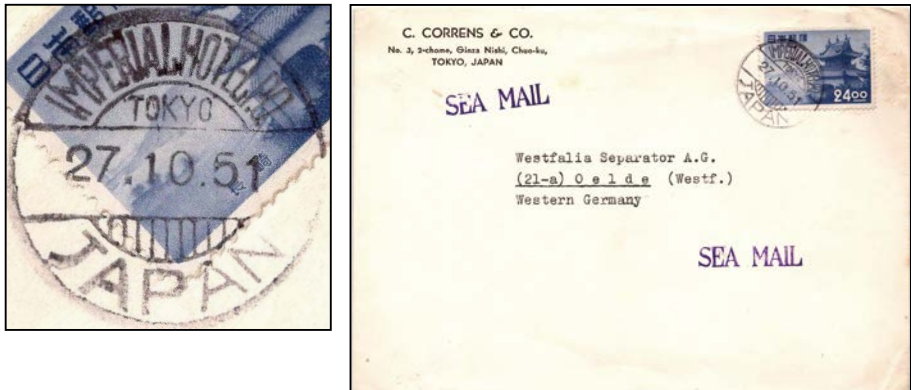
図4は、②のD欄が楕型の金属印で、ゼロ付観音10円8枚貼の米国宛航空書状への使用例です。この印は①のD欄がT O K Y Oから楕型に変わったもので、いわば①の後継印ですが、D欄だけでなくC欄のJ A P A Nの「J」の字も、①のセリフ付きからセリフ無しに変わりました。

このカバーの日付は1952年2月19日で、上記ハンドブックの最古データ(1952.3.1)を更新するものです。この点からすると、①から②への切り替えの時期は、1952年2月頃と言えます。



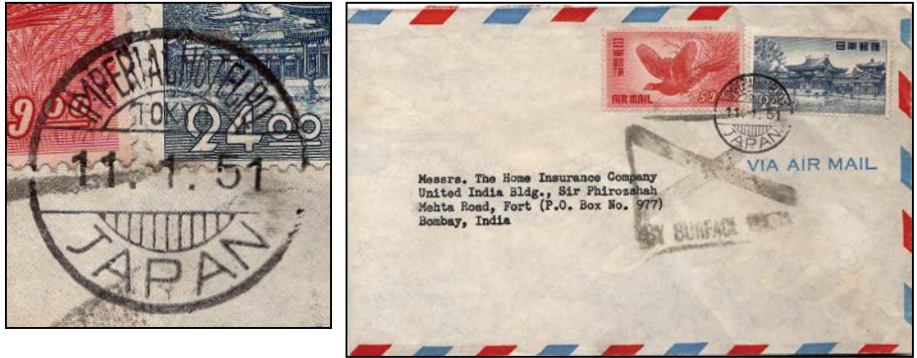
【図4】IMPERIAL HOTEL PO 1952.2.19

帝国ホテル内局では、金属印と並んで、ゴム印も使用しました。図5は、観光地百選の長崎24円を貼った西ドイツ宛平面路便書状に③のゴム印が押されたものです。この印は、直径が27mm(通常の印は24mm)と他にあまり例をみない大型印で、一方B欄の日付の数字は小さく、独特の印影をしています。使用時期は1951年に集中しているようです。



【図5】IMPERIAL HOTEL PO 1951.10.27

図6は、同じくゴム印ですが、直径が23.5～24mmとほぼ標準サイズの中型印（上記の④）で、筆者が最近確認したものです（本誌第28号p20の「私の発見・私の報告」参照）。この印は、「IMPERIAL HOTEL」の「L」の字の最後が上向きのカギ状になっている点が③の印と共通しています。使用されているのはインド宛航空書状で（印色は紫）、当時インドは航空便の第3地帯に区分され、航空書状料金は米国などと同じ83円（＝書状24円＋航空59円）でした。



【図6】IMPERIAL HOTEL PO 1951.1.11

図7は、⑤の印の使用例で、米国宛航空4倍重量書状（80円×4＝320円）に押されたものです。この印は、③の大型印とは対照的に、直径が23mmの小型印で、かなり遅くまで使われ、1957年の使用例も確認されています。

この印の材質については、ゴム印とする説もありますが、A欄の局名やE欄の櫛型などを含めて全体に印影がシャープで、ゴム印にありがちな外周部のつぶれもみられないことから、金属印の可能性が高いように思われます。ただB欄の日付の数字はゴム印的な印象があり、金属印にゴムの数字活字を組み合わせた“ハイブリッド印”であった可能性も考えられます。いずれにしても、まだ調査の余地の残されている興味深い印といえるでしょう。



【図7】IMPERIAL HOTEL PO 1952.4.23

TOKIO/CT, TOKYO/CT

東京中央局では、欧文櫛型印として一般にD欄が櫛型の印を使用していましたが、これとは別に、D欄に「CT」の文字の入った金属印が使われたケースがあります。このD欄文字入りの印には、A欄の局名表示が「TOKIO」のものと「TOKYO」のものがありますが、TOKYO表示の方はあまり見かけないようです。使用局は東京中央局ですが、印影が通常のD欄櫛型とは異なるので、本稿ではD欄櫛型の印とは区別してここに別個に取り上げることとしました。

D欄の文字は、実際の印影では不鮮明なことも多く、OTのようにも見えることから前記ハンドブックのように「OT」とする説も一部にあります。今のところ「CT」とする見方が有力で、CTはCentral Telegraph（中央電信局）の略称と思われます。

この印の実体は、まだはっきりしてしないところもありますが、本来は電信業務に使用される印が、郵便業務と電信業務の分離（1949年6月）後に、東京中央局において例外的に郵便業務に使われたのではないかと考えられます。

使用時期については、前記ハンドブックではA欄TOKIOの印について、最古データを1950年1月24日、最新データを1951年1月1日としています。実際の使用例は、1950年11～12月頃が多いようです。TOKIO印もTOKYO印もC欄はJAPANなので、この印は登場時期からして本稿のグループ区分では「中間グループ」に位置づけられます。

図8はA欄TOKIO印の使用例で、103円のきじ航空2枚を貼ったフランス宛の航空書状（航空2倍重量便）です。一方図9は、A欄TOKYO印の方の使用例で、59円のきじ航空を貼った米国宛航空書状です。



【図8】TOKIO/CT 1950.12.17

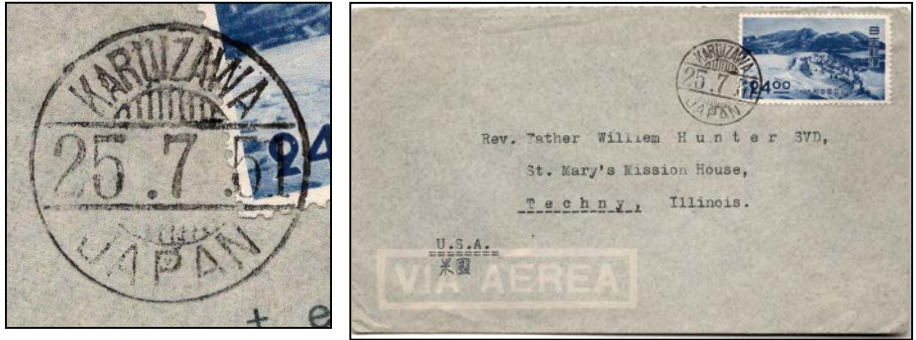


【図9】TOKYO/CT 1950.11.15

KARUIZAWA

軽井沢は首都圏から比較的近い保養地で外国人の滞在なども多いことから、軽井沢局では戦前も欧文印を使用した時期がありました。戦後は、1951年中頃に欧文印の使用を開始したとみられ、金属の欧文櫛型印KARUIZAWAが使われました。ちなみに、前記ハンドブックによれば、最古データは1951年6月8日となっています。

図10は、国立公園・十和田24円を貼った米国宛船便書状に金属印のKARUIZAWAが押されたもので、この印としては比較的早い時期の使用例です。



【図10】KARUIZAWA 1951.7.25

[ad]

全国切手展（競争切手展）出品締切は12/17（火）です

会期：2021年4月10日（土）～13日（火）[4日間]

会場：郵政博物館（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：100 フレーム

主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、
切手市場、（一社）全日本郵趣連合、
（公財）日本郵趣協会、株式会社鳴美



<http://kitte.com/stampex2021>

日本最古の外信配達証明便と各国の配達証明制度

山本 勉

本記事は本年（2020 年）11 月 8 日に開催されたジャパンスタンプオークションに出品されたマテリアルに関する落札者による寄稿です。オークションディーラーのジャパンスタンプ商会からも記事が発表されています(P.146-148)ので合わせてご覧ください。[編集部]

(1) 用語について

国内便における表現は「配達証明(書)」ですが、国際便については次のように少し変遷があります(「證」=「証」とみなす)。

年	国際便における表現
明治 10(1877) 年	書留信書(ノ)受取證
明治 16(1883) 年	(書留郵便物ノ)受取證書
明治 25(1892) 年	(書留郵便物ノ)到達證
昭和 46(1971) 年	(書留郵便物の)受取通知

「受取証(書)」→「到達証」→「受取通知」と変化しており、現在は「受取通知」です。しかし、煩わしいので、ここでは、内国便・国際便に関係なく原則として「配達証明(書)」の表現を使います。なお、条文の引用ではカタカナをひらがなに直したり、句読点の追記などを行なっています。

(2) 日本の文献の記載

日本の配達証明制度は、国内便では明治 25 (1892) 年 5 月 16 日に開始され、片山七三雄さんがお持ちの、約一月後の明治 25 年 6 月 18 日のカバーが、現在確認されている最古のものであるとされています。では、外国宛の配達証明制度はいつ始まり、最古データはいつのものでしょうか？

天野安治著「エンタイアを読む」(1985 年改訂新版)では、p.150 で次のように書かれています。

「次は到達証明です。国内郵便の配達証明にあたるものですが、書留郵便物を対象に 1892 年(明治 25 年)7 月 1 日から施行され、その料金は 5 銭でした。…」

私が知る最近の文献としては、全日本郵趣 2010 年 6 月号に行徳国宏さんが連載した「配達証明郵便(4)」があります。その p.181 には次のように書かれています。

「配達証明郵便の外国宛取扱開始 万国郵便連合条約が締結され、明治 25 年 7 月 1 日から施行されることになった(ウィーン条約)。創設時に適用されなかった配達証明郵便が、外国郵便に『到達証明郵便』として使用されることになった。…」

しかし、2010 年刊の山崎好は編「日本郵便料金大系」では、明治 10(1877) 年 6 月 20 日～明治 30(1897) 年 9 月 30 日のところに「書留信書受取証」として「4 銭」と書かれています(pp.65～71)。p.69 は「4 銭」ではなく「4 銭(5 銭)」が、pp.70-71 も「4 銭」ではなく「5 銭」が正しいのですが、この本ではきちんと UPU 加盟に応じて配達証明制度があったことを示しています。

(3) ある外国文献の記載

このように、「日本郵便料金大系」では「明治 10(1877) 年から」と書かれているのですが、前二者では「明治 25(1892) 年」が開始年となっています。そんなおり、たまたま、世界の配達証明便を概説した外国文献を読みました(本の題名は(7)をご覧ください)。日本の項には次のように書かれています。

「日本における外国便の配達証明業務は、1877(明治 10) 年 6 月 20 日の改正外国郵便料金表で始まった。これは UPU に加盟したことによるものである。…」

さらにその本には、

「1884 年 12 月 31 日に神戸からカナダにあてた書留書状が、私を知る最も初期の国際配達証明便である。鳥切手が貼られた合計 25 銭料金の内訳は 10 銭が書状の倍重量料金(5 銭×2)、10 銭が書留料金、5 銭が配達証明料金である。枠付「R」印の下に(重なつて)「Return Receipt」の印が押されている」

という説明とともに、Japanese Philately 誌 Vol.64/2 (April 2009), p.96 に掲載されていた白黒写真が転載されていました。

(4) 法規分類大全の記載(末尾(11)に資料として抜粋コピーを添付しています)

このように具体的に書いてあるので、法規分類大全で確認したところ、確かに明治 10 年 6 月 19 日付け布告第 46 号(外国郵便税表の改正)の、万国郵便連約国名の一覧表に続く注釈の一番最後には次のような一文があります。

「『書留信書受取證』 信書受取人より差出人へ送る書留信書受取證を望むものは、書留手数料の外、更に 4 銭を払わしむ。」

その後の郵便規則(明治 11 年 §104、12 年 §108、13 年 §106、14 年 §104)を見ても、明治 13(1880) 年規則から 4 銭が 5 銭になったことを除けば同じ内容です。そして明治 16(1883) 年の郵便条例第 219 条でも

「郵便連約国に差立る書留郵便物は、受取人の受取證書返送を望むを得。之を望むときは郵便税、書留手数料の外、増手数料を前納すべし。」

とあり、その金額については条例の郵便心得第 185 条で

「一箇に付金 5 銭の増手数料を前納すべし。」

となっています。

このように「日本郵便料金大系」で書かれているとおり、1892 年以前から明らかに制度としては存在しています。しかし、天野さんも行徳さんも「1892 年(明治 25 年) 7 月 1 日から」と書いています。もしも、制度としては存在しても、取扱いを保留していたのであれば、その旨、一言くらい言及があっても…、と思った次第です。あとで詳述しますが、実は、この「1892 年(明治 25 年) 7 月 1 日」という日付は世界の配達証明制度にとっては大変重要な日付なのです。つまり、この日から郵便物上に「A.R.」の表記が義務付けられたのです。これが誤解の原因かもしれません。

(5) 「最古の」外信配達証明便との出会い

前記の外国文献の記述を頭の片隅に置きながら、今回の JAPEX 2020 に出品されている、行徳さんの作品「配達証明・到達証明郵便」を見ることも楽しみの一つに加えて上京しました。タイトルリーフにももう工夫あれば、などと思いながら拝見。全般的には全日本郵趣誌に書かれていることを具体化したもの、という印象を受けました。特に、内部で処理されて外には出てこない通

信事務用封筒などは入手にくいものの一つだろうな、などと独り言を言いながら拝見（ちなみにこの通信事務用封筒には、おそらくライブツィヒ局で手書きしたと思われる「Abs. Herr Albert Friedemann」（差出人アルベルト・フリーデマン氏）と付記されていますが、この人はドイツ植民地の分野で活躍され3巻からなる研究書を残した非常に有名な郵趣家です）。しかし、外国便の配達証明扱いの開始は、やはり「1892年（明治25年）7月1日」と書かれています。

それはそうと、私は荷物になるため、なるべくオークション誌はもらわないことにしています。ですが、今回は何気なく Japan スタンプのオークション誌を受け取ってしまいました。せっかくいただいたのだから、少し拝見しましょうか、とバラバラとページをめくりました。すると、何やら見たことのあるようなカバーが…。1884年、神戸からカナダへ、鳥切手貼り…。ムムム。説明文では3倍重量便と書かれていますが、まぎれもなく前述の「最古カバー」！こんな偶然が！専門のポーランドとは全く関係の無い文献をたまたま読み、普段受け取らないオークション誌を受け取り、たまたま開いて見た。そしてこのカバーを目にした。まさに「郵趣の神様のお導き」ではないか!??という訳で、手元に置くことになった次第。

何人かに国際配達証明便について尋ねたところ、「国際便の配達証明には必ず『A.R.』の表示があるはず」という答えしか返ってきません。なるほど、これで分かった。1892年（明治25年）7月1日前はそのような規定がなく、表示については引受国の自由裁量であったことを知らないのだ。だから、それより前の配達証明便について認識されていないのだ、と納得しました。であれば、このカバーを入手した機会に配達証明便について世界的な流れを含めて紹介しておくことも無意味ではなさそうだ、というわけでこの記事を書いています。

(6)「最古の」外信配達証明便について

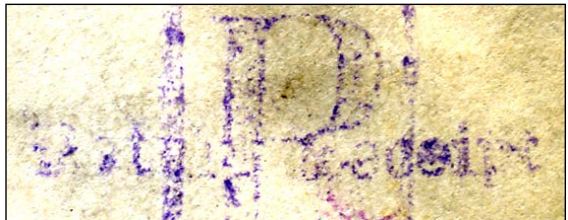
次ページで問題のカバーを提示します。貼られた切手は、手彫の鳥15銭「ハ」、旧小判4銭、U小判1銭と同5銭の合計25銭。内訳は右の通りです。配達証明料金が書状の基本料金と同じ5銭ですので、よほど注意しなければ気付かないでしょう。

10 銭	=	カナダ宛書状料金5銭×2倍重量
10 銭	=	書留料金
5 銭	=	配達証明料金
25 銭	=	合 計

なお、2番目として確認されているのは1890年2月7日、東京→ドイツのもので、公的な表示はなく、差出人によって「Return Register Receipt / requested」と書かれたカバーだそうです。

引受・配達の流れは図の下にまとめました。まず引受の際、切手は神戸の白抜イニシャル印「K」で抹消され、証示印として八角形書留印（比較的初期使用）が使われています。次に横浜の中継印として小型書留印タイプ1が押されています。文献（西野本、鳴美本）では最初期として「1885年3月」と書かれていますが、このカバーのものは「1885年1月4日」。さらに、文献の図版では年月日表示が「日・月・年」ですが、このカバーに押されているものはアメリカ式、すなわち「月・日・年」の順になっています。その後、封筒の上に「Per American Mail」とあるように、アメリカを経由して最終目的地であるカナダのハリファックスに届けられています。

非常に薄いですが書留印章「R」の下に、重なって「Return Receipt」（受け取りの返送＝配達証明書の返送）の印が押されています。外国文献では神戸局の公的な印と書かれていますが、私としては、この一点だけで判断するのはどうかと思います。





現在確認されている「最古の」外信配達証明便…1884(明治17)年12月31日

- 1884年12月31日、神戸引受(抹消印:白抜イニシャル印「K」、証示印:八角形書留印)
- 1885年1月4日、横浜中継(小型書留印タイプ1)
- 1885年1月17日、San Francisco(アメリカ)中継
- 1885年1月26日、Boston(アメリカ)中継
- 1885年1月27日、St. John(カナダ/New Brunswick)中継
- 1885年1月28日、Halifax(カナダ/Nova Scotia)到着
- 1885年1月29日、手書きで「replied January 29th/85」(返事済み)

(参考) Japanese Philately 誌、Vol.62/1(2007年4月) pp.20-21、同誌 Vol.64/2(2009年4月) pp.96-97に掲載されている由。

封筒の裏面には、紙片が糊付けされた跡があります。神戸局ではここに配達証明書を貼って差し立てたという、状況証拠となるでしょう。上から文字が書かれているので、紙片が貼られたのはそれより前であることに間違いありません。下に画像処理したものを提示します。矢印のところに紙片の一部が残っていますが、見えますでしょうか？



書留料金(10 銭)+ 配達証明料金(5 銭)=15 銭に該当する鳥切手を、普通の郵便料金分の切手とは離して左下に貼っていますが、これにもルールがあるようです。全日本郵趣誌 2010 年 6 月号 p.181 の行徳さんの記事中に引用された明治 25(1892) 年 6 月 25 日付けの公達第 262 号中に、

「…到達証を請求するときは、外国郵便税表に基づき手数料を徴収し、その郵便切手となるべく他の切手と区別して郵便物に貼付せしめ…」

とあります。

問題のカバーが発せられた明治 17(1884) 年当時の通達・規則類には接していませんが、考え方は変わりがないと思われます。フランス、イタリアなど多くの国でその料金分の切手を配達証明書に貼ったり、郵便物本体に貼る場合でも、中国、ギリシャ、キューバの初期のように分けて貼る国が多いことから考えてもそれが自然だと考えられるからです。

ついでに言えば、当時、あて先のカナダでは書留料金支払いに特化された書留切手が使われていましたが、「書留切手は名宛を妨げないように左上隅に貼ること」と切手発行当時に決められていました(1875 年 10 月の Official Postal Guide の第 5 項)。例外があるものの、左上がふさがっている場合は右上、そこが駄目なら左下、という例が多いようです。問題のカバーは左上、右上ともにふさがっていますので、左下に貼ったと考えればカナダのルールにも合致します。

[ad]

全国切手展(競争切手展) 出品締切は 12/17(火) です

会期:2021 年 4 月 10 日(土)~13 日(火) [4 日間]

会場: 郵政博物館(東京都墨田区・東京スカイツリータウン内)

規模:100 フレーム

主催:(特非) 郵趣振興協会 / (公財) 通信文化協会

協賛: スタンペディアプロジェクト

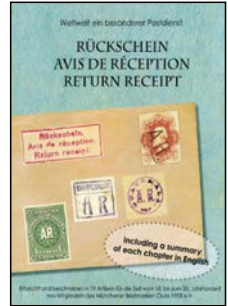
後援: カルトールセキュリティブリンティング社、
切手市場、(一社) 全日本郵便連合、
(公財) 日本郵趣協会、株式会社鳴美



<http://kitte.com/stampex2021>

(7) 万国郵便連合 (UPU) における配達証明便の取扱いの変遷

ここで、一般的な話に移ります。参照した文献は「Weltweit ein besonderer Postdienst / Rückschein, Avis de Réception, Return Receipt」(全世界の特殊郵便業務の一つ / 配達証明)。発刊年は見当たりませんが、最近の本です。何人かの専門家が手分けして書いたもので、日本の部は日本人よりも詳しいと言われるドイツ人 Florian Eichhorn (フロリアン・アイヒホルン、通称「アイホン」) 氏が担当しています。配達証明はオーストリアではすでに 1789 年には始められており、1850 年のドイツオーストリア郵便連合時代には当たり前のものとなっていました。このように切手以前からある制度ですが、ここでは、だいたい切手時代から、おおむね 1940 年代までを中心に述べることにします。



まず、UPU(万国郵便連合)における配達証明業務には、当初から 2 つの原則があります。

- ① 全ての種類の通常郵便物は書留で発送することが出来、それに対する配達証明の要望は国際郵便において常に認められること(※自国にその制度がなくても、返信はしなければならない)。
- ② 配達証明料金は常に差出人が前納しなければならない。

この二つです。以下、取扱いの変遷を見ていきます。

第 1 回 UPU 大会議 (1875/ 明治 8 年 7 月 1 日発効 / ベルン)

第 5 条に「書留料金と配達証明料金は差出国の国内料金よりも高額であってはならない」(現代語で要約)とあります。しかし、両方の料金ともに一貫性・統一性はなく、国によって非常に大きく異なります。加盟国の中にはアメリカのように配達証明料金が不明の国もあるし、イギリスのように配達証明制度そのものが存在しない国もあります。また、配達証明付き書留郵便物の手続きに関して、外見や様式の取扱い方法などの詳細は規定されていません。ですから、各国がそれぞれの国のやり方で処理しました。

第 2 回 UPU 大会議 (1879/ 明治 12 年 4 月 1 日発効 / パリ)

・配達証明料金が最高額 25ctms と定められました(第 6 条)。これは連合国全て(アメリカ、カナダ全て)書状料金に相当します。これを受けて明治 13(1880)年規則では 4 銭から 5 銭に変更されたのでしょう。もちろん、前回同様に国内料金よりも高額であってはなりません。

・配達証明書は差出局で用意し郵便物に添付する、と規定されました。郵便物と配達証明書を別々に送付する国もあれば、名宛局で配達証明書を作成する国もあるなど、誤解や配達証明書の紛失が生じたためです。

第 3 回 UPU 大会議 (1886/ 明治 19 年 4 月 1 日発効 / リスボン)

・配達証明書を確実に返送するために、配達証明書は書留で返送することに統一されました。それまではバラバラだったのです。

第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効 / ウィーン)

第 2 回大会議で「配達証明書は差出局で用意し郵便物に添付する」と規定されましたが、配達証明書を名宛人にどのように郵送するかまでは規定しておりません。差出局任せでした。そしてそれが国によってバラバラでした。配達証明書用紙を折りたたんで郵便物のフラップの隙間に差し込んだり、別の封筒に入れたり、帯封にしたり、などなど。このようにバラバラでは配達局では分かり

にくく、見落とす恐れがあります。そこで、第4回大会議では、配達証明書の様式を定め、差出局ではなく、名宛国（配達局）において作成することにしました。これに伴い、配達証明料金の納付は郵便物上で行なわれることに統一されました。差出局で配達証明書に前もって料金分の切手を貼ることができなくなったからです。

配達証明書を名宛局で作成することになったので、その旨明示する必要が高まりました。従来であれば、その表示が不明瞭であっても、配達証明書が添付されていたら、そうと分かったのですが、添付されていなければ単なる書留便と区別できない場合があるからです（10）を参照）。このため、「Avis de réception」あるいはその略語「A.R.」/「AR」を郵便物上に表示することが義務付けられました。表示方法までは規定がなく、印章を押す国、ラベルを作成した国、ドイツやオーストリアのように手書きの国、コロンビア、パナマ、モンテネグロのように専用の切手を発行した国もあります。

配達証明書の様式が定められたことにより、この時点からすべてのUPU加盟国に配達証明業務が義務付けられました。今までこの業務を扱わなかった加盟国もこれを機会に制度を導入することになりました。「AR」の表示が初めて義務付けられたことも重要ですが、第4回の期間（1892年7月1日から1898年12月31日まで）は、世界の配達証明郵便史にとって非常に特殊な時期です。この間だけ、配達証明書を配達局が作成したからです。

第5回UPU大会議（1899/明治32年1月1日発効 / ワシントン）

ウィーン大会議で決定された配達証明書の表示や扱いは思ったほどうまく運びませんでした。「AR」を表示することはしばしば忘れられ、配達局で作成する配達証明書はお互いの国の間で煩わしい文書の交換となりました。いつも問題になるのは、配達局で作成した配達証明書を郵便物本体とどのように一体化して戸別配達するかです。そして名宛人の署名を求める際に、今度はその二つを分離しなくてはなりませんが、証明書を損傷することなく、かつ容易に分離できなくてはなりません。オーストリアでは両者を紐で十文字に括るように規定されていますが、そのような規定の無い国では様々な方策が取られました。例えば、糊で一部をくっ付ける、糸で縫いつける、指の幅くらいに折り畳み、封筒のフラップの隙間に差し込む、などなど。いずれにしても配達局員にとっては余計な手間が増えたことになります。

そこで、ウィーン大会議以前の方式に戻しました。すなわち、配達証明書の作成は再び差出局で行なうことになったのです。「AR」等と表示することや配達証明書の様式はウィーン大会議のまま変更はありません。そのため、多くの国が配達証明料金分の切手を再び配達証明書様式に貼付する方式に戻しました。フランスでは1950年代までこの方式が続いています。

また、大きな変更として、この大会議から、差出後の配達証明も可能となりました。これを受け、明治31（1898）年12月22日付け通信省告示第333号では次のように書かれています。

「明治32年1月1日以降外国宛書留郵便物差出の際到達証を請求せずしてその後に至り踪跡の取調を請求し若は到達証の交付を請求せんとする者は該郵便物の種別、包入品、名宛人氏名住所、差出年月日及書留番号等成るべく踪跡取調に要する詳細の事項を具し郵便物一箇に付手数料金5銭を納め該郵便物を差出したる郵便局へ願出づべし」（※内国便は1910年から）

第6回UPU大会議（1907/明治40年10月1日発効 / ローマ）

受取人の署名を得た配達証明書は、直接差出人に返送するのではなく、配達局が通信事務用封筒に入れて一旦差出局に送ります。そして差出局が配達証明書を別の通信事務用封筒に入れて差出人に送るとするのが一般的です。その際、原簿を見なければ差出人の住所が分かりませんし、名前だけではなく住所もあるほうが間違いなく照合できます。そこで、この大会議から、配達証明書様式に差出人の氏名だけではなく、住所も完全に記載するようになりました。返送された配達証明書を差出局が間違いなく迅速に処理できるようにするためです。また、この大会議から、配達局から差出局への配達証明書の返送を書留ではなく普通便で行なうようになりました。

第7回 UPU 大会議 (1922/ 大正 11 年 1 月 1 日発効 / マドリッド)

配達証明書の様式をハガキと同じ規格とし、受取完了後はそのハガキを直接差出人に普通便で郵送することとしました。おかげで、通信事務でのやりとりや、照合、別の封筒への入れ替えといった作業が省略できることになりました。以降、第9回 UPU 大会議 (1930/ 昭和 5 年 7 月 1 日発効 / ロンドン) でハガキの色が鮮赤色になった以外は大きな変更はありません。

以上が大きな流れです。繰り返しますが、第4回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) で「AR」の表示が義務付けられるまでは、表示方法は各国に任されていました。極端な場合には「配達証明」に相当する文言を郵便物上に書く必要もないのです。ですから、それ以前の書留力バーで重量便として分類しているものの中に配達証明便がまぎれ込んでいるかもしれません。手彫切手の時代でも可能性はありますが、隠れている可能性が高いのはやはり小判、新小判の時代ではないでしょうか。「AR」の表示があれば誰でも気付きますからそれまでの期間、すなわち 1892(明治 25) 年 6 月 30 日までの、特に「重量便」として整理しているものを、今一度点検してみてください。きっとあるはずです。Good Luck !

(8) 各国の配達証明 (書) の表示

各国の話に入る前に、それぞれの国では「配達証明 (書)」をどのように表記するのかを一覧にしました。同一言語圏では、ほぼ同じような表現になっています。

表現	国名の例	略語	表現	国名の例	略語
Acknowledgement Due	英国、大英帝国	A.D.	Mottagningsbevis	スウェーデン	
Acknowledgment of Delivery	英国、大英帝国		Navratný list	オーストリア (チェコ語)	
Acuso de Recibo	メキシコ、ベネズエラ		Povratnica	セルビア	
Advice of Delivery	英国、大英帝国		Recepise de Înapoeri	ルーマニア	
Avis de Réception	UPU での共通表現 (フランス語)	AR, AR	Récépisse a Renvoyer	ブルガリア、ルーマニア	
Aviso de Recepção	ポルトガル		Recepis Zwrotny	オーストリア (ポーランド語)	
Aviso de Recibo	コロンビア		Recibo di Ritorno	アルゼンチン	
Avviso di Ricevimento	イタリア		Retour Recepisa	ルーマニア	
Avviso di Ricevuta	スイス		Retour - Recepisse	ドイツ、オーストリア	R.R.
Bericht van Ontvag	オランダ		Returned Acknowledgment of Delivery	英国	
Certificato con Retorno	アルゼンチン		Return Receipt	アメリカ、他	
Con Retorno	アルゼンチン		Rewersem Powrotnym	ポーランド	
Dodaci Listek	オーストリア (チェコ語)		Ricevuta di Ritorno	イタリア、イタリア領	R.R.
Double Registered	中国、アジア	R.R.	Rückschein	ドイツ、オーストリア	R.S.
Dowód Doręczenia	オーストリア (ポーランド語)		Térty - Vevény	ハンガリー	
Erga Recepisse	ドイツ、オーストリア (ラテン語)	E.R.	Za Zwrotnym Potwierdzeniem Odbioru	ポーランド	
gegen Retour Recepisse	バイエルン、ドイツ、オーストリア		Zpáteční listek	オーストリア (チェコ語)	
mit Retour Recepisse	バイエルン、ドイツ、オーストリア		收信回執	中国	回執
Modtagelsesbevis	デンマーク		雙掛號 (双掛号)	中国	雙掛、雙
Mottagelsesbevis	ノルウェー				

各国の「配達証明 (書)」に相当する表現例 (アルファベット順)

(9) 各国の配達証明制度から (国内便・国際便に関係なく、さまざまな国の話題です)

・配達証明切手を発行した国

まずは、「配達証明切手」を発行した国のものを紹介します。ヨーロッパではモンテネグロ (別掲) だけですが、中南米のいくつかの国で専用の切手が発行されています。スコットカタログの記号は「H」です。コロンビアは 1865 年と、例外的に早い発行ですが、その他はチリ (1894 年)、エルサルバドル (1897 年)、パナマ (1898 年) のように発行されています。これは第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) で、配達証明書の作成が配達局の仕事になった関係でしょう。中南米諸国では、それまでは配達証明書にその料金分の切手を貼っていました。しかし、1892 年 7 月 1 日からは郵便物本体に貼らざるを得なくなり、また、「AR」の表示が義務付けられましたので、その両方を解決する方法として専用の切手が発行されたと思われます。

第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効) で、以前のように配達証明書を差出局で作成するようになりましたが、中南米諸国では、郵便物本体にその料金分の切手を貼る取扱いを続けました。なお、一部の国のように、配達証明料金分の切手を分離するようなこともなく、他の料金と合算して切手を貼ってもかまいません。下は配達証明切手を発行した国のうち、パナマの例です。この例では切手が料金分うまく分けられています。



1928 年 10 月 23 日、Colon / パナマ → Elmira, NY / アメリカにて。
配達証明専用の切手 (A.R. 加刷 / 矢印で示した切手) が使われた配達証明付き書留便。

2c = 書状料金

5c = 書留料金

2½c = 配達証明料金

9½c = 合計

・オーストリア

オーストリアはおそらく配達証明制度を取り入れた最初の国ではないかと思います。1789年1月1日の料金規則で初めて6 Kreuzer の書留料金の他に、「Abgabsrecepisse」(引き渡しの受け取り=配達の確認)として3 Kreuzer の料金が請求されるべきである、と書かれています。厳密に言えば、今日の配達証明書ではなく、局で保管するものです。しかし、3 Kreuzer の別料金を請求していることから考えて今日の配達証明書の機能を備えていたと考えられているのです。

Aufgabs - Recepisse (今日の用語: Einlieferungsschein)	郵便物受領証(引受証)。※差出人から郵便物を受け取った際、郵便物を預かったという証拠として引受局が差出人に交付するもの。
Abgabs - Recepisse	郵便物交付証。※配達した際に受取人からサインをもらう書類で、これは配達局で保管されるもの。
Rückschein	返送される証明書→配達証明書。※受取人がサインをし、最終的に差出人に送付される「郵便物を受け取ったという証明書」。

オーストリアでは1850年6月1日に最初の切手が発行されましたが、書留料金や配達証明料金も切手で納付することができました。ただし、郵便料金分の切手は郵便物の名宛面に、書留料金は郵便物の裏面に、配達証明料金は配達証明書に貼ることになっていました。配達証明書に貼られた切手は、最初はペン消しされましたが、1850年7月27日からは普通の日付印で抹消するように変更されました。また、1865年12月31日までは、差出局で抹消し、さらに配達局でも抹消するという、同じ切手を二度抹消する手間をかけていました。もちろん例外もありますが、これはオーストリアのみの制度でしょう。

第4回UPU大会議(1892/明治25年7月1日発効)の影響で、配達証明料金分の切手を郵便物本体に貼るようになりました。これについては「配達証明料金用の切手は他の切手とは別にして貼り、『Rückschein』(配達証明)と上書きしなければならない」という規定があります。つまり、配達証明料金分の切手の上に『Rückschein』と書く、ということです。この規定がいつまで続いたのかは知りませんが、少なくとも1910年代でもその例があります。なお、オーストリアでは、その後、原則として配達証明書に料金分の切手を貼ることはなくなりました。

・バイエルン

ドイツで最初に切手を発行したバイエルンは1849年11月1日の切手発行時には、書留料金や配達証明料金に切手は使えませんでした。1874年4月1日以降ようやく切手使えるようになりましたが、郵便物本体に貼るのか、証明書に貼るのかについては規定がありません。書留料金は郵便物に貼り、配達証明料金は配達証明書に貼る場合が多いようです(遅くとも1889年以降は郵便物上に貼付するようになっていきます)。

なぜ現金払いでなければならなかったのか。それには歴史的な理由があります。国家の使用人への報酬は慣習として現物支給であり、郵便による副収入(報酬取り分)が大きな割合を占めていました。書状郵便物の場合、私書箱料金、書留郵便物引受証明料金、回状料金、配達証明料金、局留料金、馬の借り上げ料金、早馬料金です。したがって、郵便局長はこれらの料金を国の郵政と決済することはありません。徐々に固定給に切り替えられていき、書留料金と配達証明料金の現物支給が廃止されてはじめて、これらの料金を郵便切手で納付することができるようになったのです。ロシアのように当初、切手が使えなかった国には同様の理由があるのでしょうか。

・北ドイツ郵便連合/ドイツ帝国

配達証明料金分の切手は配達証明書に貼付します。郵便物本体には「Gegen Retour Recepisse」、「Recepisse zurück」、「Recepisse retour」、「Rückschein」、「gegen Rückschein」などさまざまな表現があります。しかし、第4回UPU大会議(1892/明治25年7月1日発効)の影響により、これ以降、配達証明料金分の切手も原則として郵便物本体に貼ることになりました。

・デンマーク

デンマークにおける内国便の配達証明は 1851 年 4 月 1 日発効の郵便法で導入されました。差出人がその返送にかかる書状料金を前払いしなくてはならないこと、現金払いも可能ですが (1868 年 4 月 1 日以降は不可)、切手でその料金を支払う場合は返送される配達証明書に貼付すること、になっていました。少なくとも 1927 年中頃まではこのように取り扱われました。国際便の配達証明は 1851 年 4 月 15 日発効のデンマークとメックレンブルク・シュヴェリーン間の郵便条約で初めて導入されました。切手時代には内国便同様、配達証明書にその料金分の切手を貼りましたが、第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) で、配達証明書を配達局で作成することになったため郵便物本体に貼るようになりました。カバーを見ると、第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効) で差出局作成に戻されてからも郵便物自体に貼ることを続けているようです。

・スイス

国内便ですでに 1810 年に配達証明郵便制度が導入されましたが、国際便についてはドイツ・オーストリア郵便連合との条約の関係で、1852 年に導入されました。その料金は切手で支払うことが明記され、通常は配達証明書に貼付されました。この時期、配達証明書は郵便物の中に封入されて送られ、名宛人が開封し、署名したものを配達員が持ち帰るという方法が取られていました。

1877 年 7 月 1 日から国際便の配達証明には「gegen Rückschein」又は「Retour - Récipissé」の表示が義務付けられました。第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) の規定のため、郵便切手を配達証明書に貼ることができなくなりましたので、郵便物本体に料金分の切手を貼ることになりました。さらに、同日から、「Rückschein」等の文字に色鉛筆でアンダーラインを引くことが引受局の義務となりました (徹底はしていませんが)。郵便物に料金分の切手を貼ることは、第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効) で配達証明書が差出局作成に戻されてからも、郵便物自体に貼る方式が続けられています。

・イタリア

イタリアではかなり前から配達証明制度がありましたが、大変複雑です。切手時代に入っても配達証明料金は、市内、市外、外国、公用の区別があり、金額が異なっていたのです。配達証明料金分の切手は配達証明書に貼付していましたが、第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) を機会に、郵便物上に貼るようになりました。しかし、それは国際便だけの話で、国内便では相変わらず、差出局で配達証明書を作成し、それにその料金分の切手を貼っていました。第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効) で元の手続きに戻ると、早速、国際便でもその料金分の切手を配達証明書に貼る方式に戻りました。

・ルーマニア

ルーマニアでの国内での配達証明制度の開始は、ワラキア公国で 1841 年、モルドバ公国で 1852 年とされていますが、詳しいことは分かりません。1862 年 5 月 1 日に統一ルーマニアの郵便が開始されましたが、配達証明料金はその料金分の切手を配達証明書に貼ることになっています。国際便では 1869 年からオーストリア・ハンガリーとの間で始まりました。他の国と同じく、第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) の影響で、そのときから郵便物本体に配達料金分の切手を貼ることになりました。規定があるのかどうか分かりませんが、カバーを見るとルーマニアでも配達証明料金分の切手を別にして、その切手だけ四角い「A.R.」の印で抹消されています。

・モンテネグロ

ヨーロッパで唯一「配達証明切手」を発行した国です(1895年～)。郵便量の少なさから考えて必要性については疑問が残ります。国内の配達証明がいつ始まったのかははっきりしませんが、料金欄に配達証明料として 10 Neukreuzer と書かれている 1884 年 9 月の書留郵便物の郵便物受領証(引受証)が存在します。外国あてのものでは 1891 年 7 月の配達証明書が最初期のものです。配達証明料金分の切手は配達証明書に貼付していましたが、第 4 回 UPU 大会議(1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効)の後には郵便物本体に貼るようになります。そのときの規定は次の通りです。

「…これまで引受郵便局で配達証明書に必要な郵便切手を貼付していたが、これからは郵便物の右側に、常に他の切手とは別にして貼付しなければならない。この切手上には『Avis de reception』と明記し、赤または青の鉛筆で下線を引く必要がある。…なお、配達証明書の交付に際して、郵便物受領証(引受証)の返還を求め、これを廃棄しなければならない。」

この規定では、最終的に配達証明書を得るには、郵便物を差し出したときにもらった郵便物の受領証(引受証)を返さねばならないことも明記されています。配達証明料金を支払っただけではダメなのです。さて、郵便物上に他の料金分とは別にして郵便切手を貼らねばならなくなりましたので、便利のように配達証明料金専用の切手が発行されました。1899 年からは再び差出局で配達証明書を作成することになり、その料金分の切手はどちらに貼ってもよいようになりました。

・フランス

配達証明業務がフランスで始まったのは近隣諸国と比べて遅く 1859 年 7 月 6 日のことです。他の国と異なる点がいくつかあります。

①配達証明書は、書留郵便物のみではなく、全ての郵便物に添付できます(普通便にも可能)。

②名宛人が受け取りを証明するのではなく、郵便局員(郵政側)がその配達を証明します。このような国は珍しく、日本もその一つ。ただし、国際便は日本でも署名で受け取り証明をします。

③(内国便に関して)配達証明書は直接差出人に配達されます。他の国では、まず配達局が差出局に配達証明書を返し、差出局が差出人にそれを郵送する。あるいは差出局が差出人に通知を出し、それから差出人が郵便局へ出向いて受け取るなどしなければならませんでした。(UPU の世界で配達証明書を直接差出人に返送するようになるのは、第 7 回 UPU 大会議のときから。)



1949 年、フランスの配達証明書(表面)

料金分の 15f 切手は日付印ではなく「AR」の印で抹消されています。

④ 1892 年 7 月 1 日前では、郵便物そのものに配達証明便であることを何ら表示しませんでした。たいていの国では何らかの表示をしたのです。しかし、フランスでは配達証明料金分の切手が貼付された配達証明書が添付されているだけですから、分離された後の郵便物を見ても配達証明便だったかどうか判断できません。

第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) の結果を受けて、フランスでも、郵便物上に配達証明便であることを表示することになりました。手書きで「Avis de Réception」と書いてもよいのですが、全局に 8 角形の「AR」印を配布し、これを押すことになりました。また、郵便物上に普通料金と書留料金に加えて配達証明料金の郵便切手を貼ることにしました。フランスの場合は料金に応じて切手を分ける必要はなく、合算して貼ることが可能でした。

しかし、第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効) で配達証明書が差出局作成に戻ると、切手も再び配達証明書に貼ることに。郵便物上に貼ることになったのは 1954 年 4 月からです。

N° 514
H. T. 4-47

POSTES - TÉLÉGRAPHES - TÉLÉPHONES

AVIS DE RÉCEPTION OU DE PAIEMENT

(A remplir par le bureau d'origine)

Envoi recommandé (Lettre).
enregistrée au bureau de :

le 24/6/49 sous le n° 36885
expédiée par WYS MULLER & Co. Paris (1er),
et adressée à M. Paul Moussier

Rue St Quentin La Poterne
Ville St Quentin La Poterne
Département Gard

Signature de l'agent
du bureau destinataire :

Bureau expéditeur de l'avis
Bureau destinataire

Modèle autorisé par l'Administration des P.T.T.

1949 年、フランスの配達証明書 (裏面)

1949 年 6 月 20 日、Paris 局引受 → 6 月 23 日、St. Quentin あて → Paris。

6 月 21 日に配達したことを配達局である St. Quentin 局が 6 月 23 日の日付印で証明しています。

受取人の署名はありません。

・アメリカ

アメリカの内国便の配達証明業務は 1863 年 7 月 1 日に始まりました。しかし、他国に例を見ない変わった制度です。それは書留手続きに義務付けられたものでした。つまり、書留にすれば、自動的に配達証明が付いているのです。したがって、特に配達証明を希望する旨を書く必要がありません。この業務は当初、20c と相当に高額で、現金で支払う必要がありました。郵便物自体には書留である旨の表示があるだけで、金額は表示されていません。20c の料金を郵便物上に切手貼付するよう義務付けられたのは 1867 年 6 月 1 日です。書類形式の配達証明書はいちいち封筒に入れて郵送するという手間がかかりますので、1879 年からは差出人に直接返送するカード式の配達証明書が導入されました。これはドイツよりも 30 年早く、第 7 回大会議 (1922 年発効) でようやく採用されることになった UPU より 43 年も早いのです。なお、1875 年の UPU の規定はアメリカの内国配達証明制度には何ら影響を与えませんでした。

切手時代の内国配達証明業務は大きく 3 つの時期に分けられます。

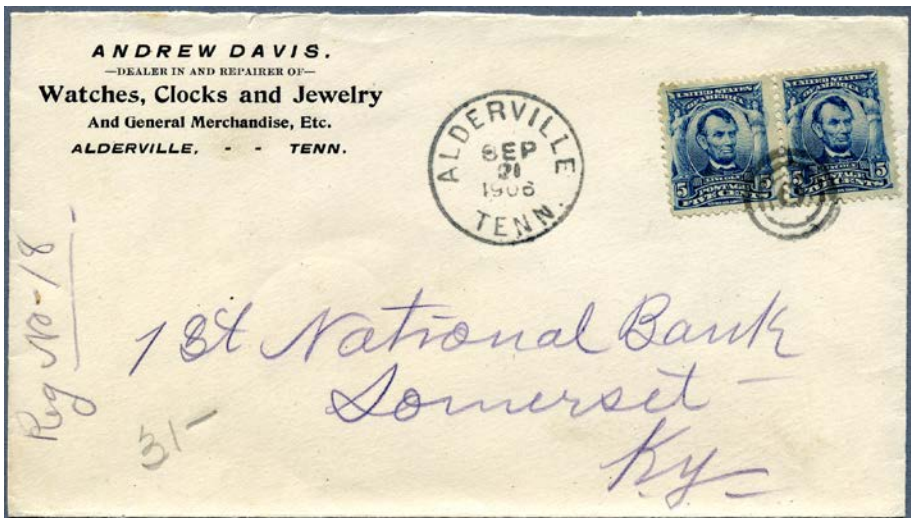
第 1 期	(1910 年 1 月 1 日まで)…「配達証明」という独立した業務はなく、「書留」にすれば自動的に配達証明が付いていた時期。
第 2 期	(1910 年 1 月 1 日～1925 年 4 月 14 日まで)…やはり「配達証明」という独立した業務はありません。「書留」で差し立てても自動的に配達証明書は得られません。郵便物上に「Return receipt demanded」等と表示した場合だけ配達証明書が送られてきます。料金に区別はなく、いずれの場合も同額です。
第 3 期	(1925 年 4 月 15 日～)…「配達証明」という独立の項目ができました。ようやく、他国同様、書留料金とは別立てで配達証明料金が必要となりました。

1909 年 11 月 1 日に書留料金が 8c から 10c に値上げされましたが、この手数料のために、1911 年 12 月 1 日に青い 10c の「書留」切手が発行されました。しかし、書留料金は通常切手でも納付できるため、この「書留」切手は成功しませんでした。

国際便の配達証明は北ドイツ郵便連合との間で 1868 年には始まっていました。国内便とは異なり、外国郵政の注意を喚起するために「Return receipt requested」等の表記をする必要がありました。これは配達証明料金も納付済みであることを明示するためです。国内便とは異なり、「Registered」だけでは配達証明扱いされなかったのです。

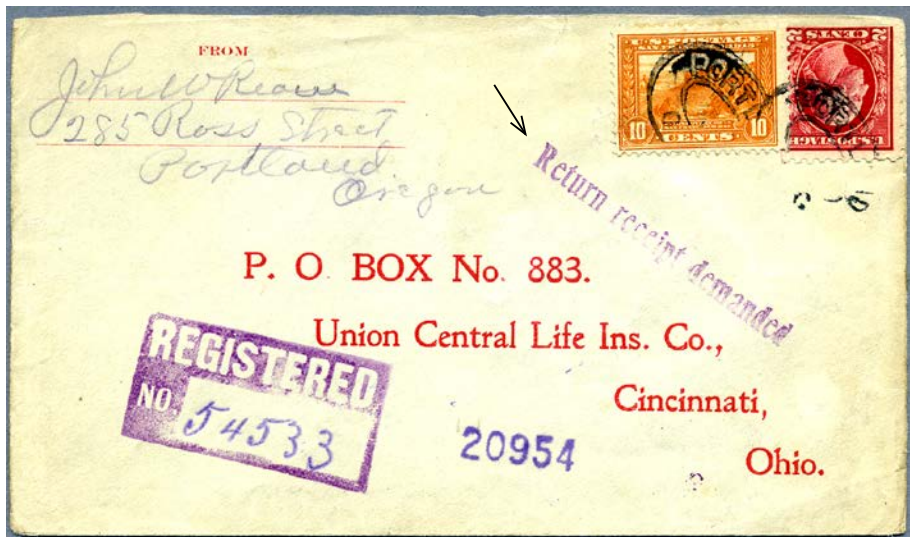
アメリカは当初から配達証明料金分の切手を郵便物本体に貼付していましたので、第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) の決定で大した変更はありませんでした。ただ、「AR」の表示をしなければならなくなっただけです。ほとんどは大きな「AR」を楕円形の枠で囲っている印ですが、単に「Return Receipt requested」などと書かれているだけのものもよくあります。

国内便の配達証明書は早くからカード化されましたが、国際便の場合は他国と足並みをそろえて第 7 回 UPU 大会議 (1922/ 大正 11 年 1 月 1 日発効) までは書類形式でした。また、1925 年 4 月 15 日から、国内便とともに国際便も、「書留」と「配達証明」は別項目となりました。



1906 年 9 月 21 日、Alderville, TN → Somerset, KY あて内国 (配達証明付き) 書留便。このカバーは第 1 期のものなので、8c の書留料金には、何も書かなくても配達証明のサービスが付随しています。

2c	= 書状料金
8c	= 書留料金
10c	= 合計



1915 年 4 月 22 日、Portland, OR → Cincinnati, OH あて内国配達証明付き書留便。このカバーは第 2 期のものなので、「Return receipt demanded」などと書けば、特別な料金 (= 配達証明料金) を支払うことなく、配達証明書が得られます。もし、何も書かなければ配達証明書が得られない普通の意味の書留便となります。なお、日付印は裏面に押されています。

2c	= 書状料金
10c	= 書留料金
12c	= 合計

(参考)

二つのカバーを比較すると、前ページのカバーでは表面に日付印が押されていますが、上のカバーでは表面に日付印は押されていません。実はこれには理由があります。

1910 年 11 月 25 日の書留に関する通達で、ファーストクラスの書留郵便物には表面に日付印を押してはならず、裏面のフラップのところに割り印のように 2 回押印することとなったのです。

Detailed Instructions, Washington, Nov. 25. 1910

5. Before dispatch, the impression of the postmarking stamp must be placed *twice on the back* of each letter and other sealed article, as nearly as practicable at the crossings of the upper and lower flaps. First-class matter should not be postmarked on the face. All other matter should be postmarked as heretofore.

この変更は裏面の封の状態を確認させるためです。これまでたびたび、キチンと封がされているか、開封されているような痕跡がないか、などを確認するよう指示が出されていました。しかし、あまり守られなかったもので、いやでも裏面を見るように、日付印を裏面に押すこととしたのです。これ以降、アメリカではファーストクラスの書留郵便物の表面に日付印を押さなくなりました。価格表記郵便物の扱いに通じるところがあります。

・カナダ

UPU への加盟日は 1878 年 7 月 1 日ですが、それに伴う外国郵便料金の変更は 1 ヶ月後の 8 月 1 日です。日本同様、少しずれるのです。しかし、他の大英帝国同様、このときには配達証明制度はありません。カナダで配達証明制度が導入されたのは第 2 回 UPU 大会議 (1879/ 明治 12 年 4 月 1 日発効) の影響です。内国便・外国便ともに 1879 年 4 月 1 日から始まりました。1879 年 3 月 24 日付け回状第 3 項では次のように書かれています。

「All classes of matter may be registered and the sender may entitle himself to an acknowledgment of delivery to the party addressed by the payment of a fee of five cents in addition to the registration fee.」

(全種別のものは書留とすることができ、書留料金に加えて 5¢ の料金を支払うことにより、差出人はあて先への配達の確認を得ることができる。)

初期のカバーは見つかっておらず、5¢ 切手が貼られた 1883 年 12 月 29 日付けの国際使用配達証明書の国内使用が唯一のものだそうで、国内使用の最古配達証明書の使用例は 1903 年 5 月 22 日のものだそうです。切手が貼られた最古カバーは、国際便では 1896 年 6 月 23 日に Halifax から Cedar Rapids(アメリカ)へ宛てた 13¢ 貼りのカバー(書状 3¢ + 書留 5¢ + 配証 5¢)、国内便では 1899 年 1 月 10 日に Hamilton から Woodstock に宛てた 12¢ 貼りカバー(書状 2¢ + 書留 5¢ + 配証 5¢)のようです。なお、他国同様、第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効)の影響で配達証明料金分の切手を、配達証明書ではなく郵便物本体に貼るようになりました。第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効)で元に戻りましたので、カナダでは 1900 年 1 月から再び配達証明書に貼る方式になりました。余談ですが、カナダでは 1907 年 9 月 18 日付けで書留便に関して面白い指示が出ています。書留番号を表面左上隅に書き、後から付け加えられる番号と区別するために丸で囲む、となっています。いつまで続いたのか分かりませんが、ユニークな手続きです。

・中国 (1897 年～ 1949 年)

中国における国の配達証明業務は新国家の郵便法の発効とともに始まりました。国内便は 1897 年 2 月 2 日(光緒 23 年 1 月 1 日)、外国便は 1897 年 2 月 20 日(光緒 23 年 1 月 19 日)です。配達証明料金は、日本同様、常に全額前納で必ず郵便物そのものの上に切手が貼られます。決して配達証明書上には貼られません。通常の書留便をしばしば「単掛號」(略称「単號」、「單」)と呼ぶのに対して、配達証明は一般には「雙掛號」(略称「雙掛」、「雙」)と呼びます。ただし、この用語は正式な文書では使われず、郵政は「收信回執」(略称「回執」)を正式な用語として推奨しているそうです。

切手や消印の扱いについては、すでに海関時代の 1894 年に決められていたことが、1897 年の清国郵政にも引き継がれ、1897 年 11 月 27 日付け郵便回状第 2 号付録で次のように書かれています。

「第 21 条 書留料金分の郵便切手は、郵便料金分の切手と分離して貼付する必要がある。もし、配達証明便であれば、その料金相当分の郵便切手は前二者と分離して貼付しなくてはならない。郵便料金分の切手の抹消は、完全に明瞭な日付印を押すことによって行う。(書留)料金分の切手の抹消は「R」印または「Registered」印(2 ヶ国語表示の印)で行ない、配達証明料金分の切手の抹消は「R.R.」印で行なう。」

同じ回状の第 45 条から 49 条で、「R.R.」印と「A.R.」印の扱いの違いについて書かれています。「R.R.」(< Recipient's Receipt / 受取人の受領。直後に < Return Receipt / 受領通知・配達証明に変更)は、差出人が、受取人の署名した配達証明書を希望する場合に使用されます。配達証明書の用紙を郵便物に添付して配達され、受取人の署名を得て返送される、というものです。従って、第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効) 時期の 1897 年では、国内便のみ可能でした。一方、「A.R.」印 (< Acknowledgment of Receipt / 受取の確認)は、受取人本人が署名せず、配達局で作成された証明書に、郵便物を宛先に交付したことを配達局長が証明するのみのものでした。これは国際便で行なわれました。簡単に言えば、「R.R.」は内国便、「A.R.」は国際便です。しかし、第 5 回 UPU 大会議 (1899/ 明治 32 年 1 月 1 日発効)で、配達証明書の作成を再び差出局が行なうようになって、この区別が無意味となり、混同して使われるようになりました。

・普通郵便物の配達証明 (ポーランド)

配達証明は書留に上乗せたものというイメージがありますが、いくつかの国では普通便にも配達証明付きが可能でした。あえて戦後ポーランドの例を紹介します (もちろん戦前もあります)。

「受取証明の返却付き」の意



1998 年 7 月 25 日、Sucha Beskidzka → Wadowice あて。
裁判所執行官からの普通書状の配達証明便。

65gr	=	市外書状料金
90gr	=	配達証明料金
155gr	=	合 計

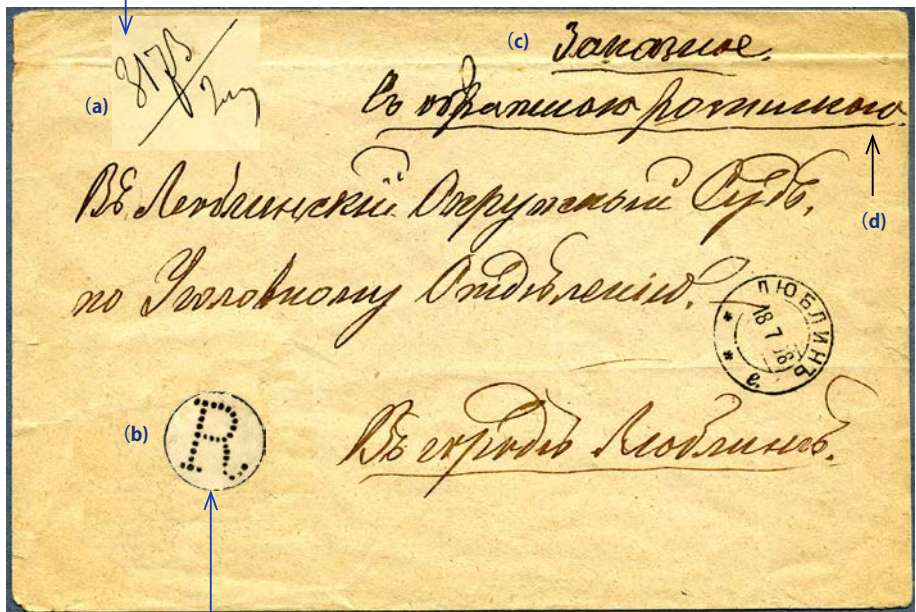
(10) もしもロシアから 1892(明治 25) 年 7 月 1 日前に配達証明便が送られてきたら

これまでたびたび第 4 回 UPU 大会議 (1892/ 明治 25 年 7 月 1 日発効 / ウィーン) までは、「AR」の表示が義務付けられていないと申し上げました。そこで、もし、その当時、ロシアから日本に配達証明便がやってきたら、どのような表情をしていたかを、1908 年の内国便を使って、画像合成で再現してみました。

ロシアでは配達証明料金分の切手は配達証明書に貼ります。郵便物上には普通料金と書留料金分の切手だけを貼り、配達証明料金分の切手は貼りません。また、しばしば切手を裏面に貼ることもあります。(c) は「Заказное」と書かれており、これは「書留」の意です。問題は (d) で、「Съ обратною роспискою」と書かれており、「折り返しの書き物付きで」のような意味です。つまり「配達証明書付き」の意です。封筒上を見て普通の書留便か、配達証明便かの区別はこの記載 (=d) だけが頼りです。

配達証明書が添付されていたら、(d) が読めなくてもそうと分かります。しかし、第 4 回 UPU 大会議の決定で配達証明書を配達局で作成することになりました。もし、従来どおりでしたら、下のようなカバーだけが送られて来ることになるのです。日本ではほとんど誰も (d) が読めないでしょうから配達証明便とは気がつかないと思います (書状目録が添付されてくるので交換局で対応できないことはありませんが...)。第 4 回大会議で「AR」の記載を義務付けた理由が、具体的にお分かりいただけたかと思います。以上、お遊びでした。

(a): 上に書留番号「3173」、下に重量「2 Л」(2 ロート)



(b)1875 年以降、国際書留便を示す印。書留ラベルは 1900 年に本格導入。

(11) 資料

⑥明治 16 年	⑤明治 14 年	④明治 13 年	③明治 12 年	②明治 11 年
↓ 第二百八十五條 郵便聯約國に差立る書留郵便物に於て受取人の受取證書返送を望むときハ郵便稅書留手數料の外一箇に付金五錢の増手數料を前納すへ	↓ 第二百二十九條 郵便稅書留手數料ノ外増手數料ヲ前納スヘシ 第二百二十條 郵便稅書留手數料及増手數料ハ日本國郵便切手ヲ其郵便物ニ貼付シタルヲ以テ之ヲ納メタルモノトス	↓ 第二百十八條 書留郵便物ハ郵便稅書留手數料トモ前納ニ限ルヘシ 第二百十九條 郵便聯約國ニ差立ル書留郵便物ハ受取人ノ受取證書返送ヲ望ムヲ得之ヲ望ムトキハ郵便稅書留手數料ノ外増手數料ヲ前納スヘシ 第二百二十條 郵便稅書留手數料及増手數料ハ日本國郵便切手ヲ其郵便物ニ貼付シタルヲ以テ之ヲ納メタルモノトス	↓ 第二百十八條 書留郵便物ハ郵便稅書留手數料トモ前納ニ限ルヘシ 第二百十九條 郵便聯約國ニ差立ル書留郵便物ハ受取人ノ受取證書返送ヲ望ムヲ得之ヲ望ムトキハ郵便稅書留手數料ノ外増手數料ヲ前納スヘシ 第二百二十條 郵便稅書留手數料及増手數料ハ日本國郵便切手ヲ其郵便物ニ貼付シタルヲ以テ之ヲ納メタルモノトス	↓ 第二百十八條 書留郵便物ハ郵便稅書留手數料トモ前納ニ限ルヘシ 第二百十九條 郵便聯約國ニ差立ル書留郵便物ハ受取人ノ受取證書返送ヲ望ムヲ得之ヲ望ムトキハ郵便稅書留手數料ノ外増手數料ヲ前納スヘシ 第二百二十條 郵便稅書留手數料及増手數料ハ日本國郵便切手ヲ其郵便物ニ貼付シタルヲ以テ之ヲ納メタルモノトス

② 明治 11(1878) 年郵便規則

③ 明治 12(1879) 年郵便規則

④ 明治 13(1880) 年郵便規則

⑤ 明治 14(1881) 年郵便規則

⑥ 明治 16(1883) 年郵便條例・同郵便心得

(法規分類大全第 2 卷 p.362)

(法規分類大全第 2 卷 p.426)

(法規分類大全第 2 卷 p.490)

(法規分類大全第 2 卷 p.551)

(法規分類大全第 3 卷 pp.20, 82)

萬國郵便聯合條約相成候ニ付テハ同條約ノ條款ニ遵ヒ本月二十日ヨリ外國郵便稅別表ノ通改正候條此旨布告候事
(別表)

萬國郵便聯約國名

[illegible]

十八必ス前拂三限リ且其前拂ハ國境迄ニ止マルヲ示ス

美ハ前拂ニ限ルヲ示ス

品目ノ定限
 アリシテラレタラシキ動物(モノ)
 郵便書
 郵便書受取
 諸國各ニハ商品ノ見本二百五十グラム即チ八オンス四分ノ三其他ノ物品ハ信書ノ限一千グラム即チ二ポンド三オンスヲ限トス
 アリシテラレタラシキ郵便書ハ此表中西ノ郵便書稅ノ外通付三錢ヲ加シ其他ノ郵便物ハアリシテラレタラシキ郵便書稅ヲ拂フニ及ス
 上海及華約各國ニハ進出外國用邊書發付相成定當分之中内用邊書二圓額ノ郵便切手ヲ貼附スルハ妨ケナシトス
 信書ヲ取入ヨリ郵便書受取取付望ムモノハ郵便手数料ノ外更に四錢ヲ拂フニ及ス
 差出人ノ送ル

95

江戸時代の国際郵便（1）

文久3年・スイス

吉田 敬

江戸時代初期の鎖国政策からの開国は、学校教育で学習する重要な歴史であり、文系であるか否かを問わず、ほとんどの方が学んできたことと思います。日米和親条約（1854年）と日米修好通商条約（1858年）を経て、外国の領事館が日本に設置されるようになり、本国との通信の為に領事館の職員を通じていわゆる『領事館郵便』が開始されました。これらの郵便物は必然的に国際郵便となるわけで、日本の近代郵便は、江戸時代の国際郵便から始まったことがわかります。

本連載では、王政復古の重大令が発せられた1868年1月3日までは江戸時代と定義し、その間に日本と海外を結んだ郵便物を紹介します。第1回は文久3年（1863年）にスイスから横浜にあてられた折り畳み書状（folded letter）です。

差出地のザンクトガランはチューリッヒ州に隣接するスイスの州の州都で、精密機械工業が盛んですが、この書状が差し出された1863年4月24日には日本とスイスの間に国交はありません。

同市を含むスイス各都市の時計メーカーは、極東マーケットの開拓の為に日本との国交樹立を願い、スイス時計組合会長であるエメ・アンペールを特使及び全権公使とした使節団を日本に派遣します。その成果は1864年2月6日の日瑞修好通商条約の締結に繋がりますが、本書状はそれ以前の使用例であり、現在確認されている日本・スイス間の最古の郵便物です。

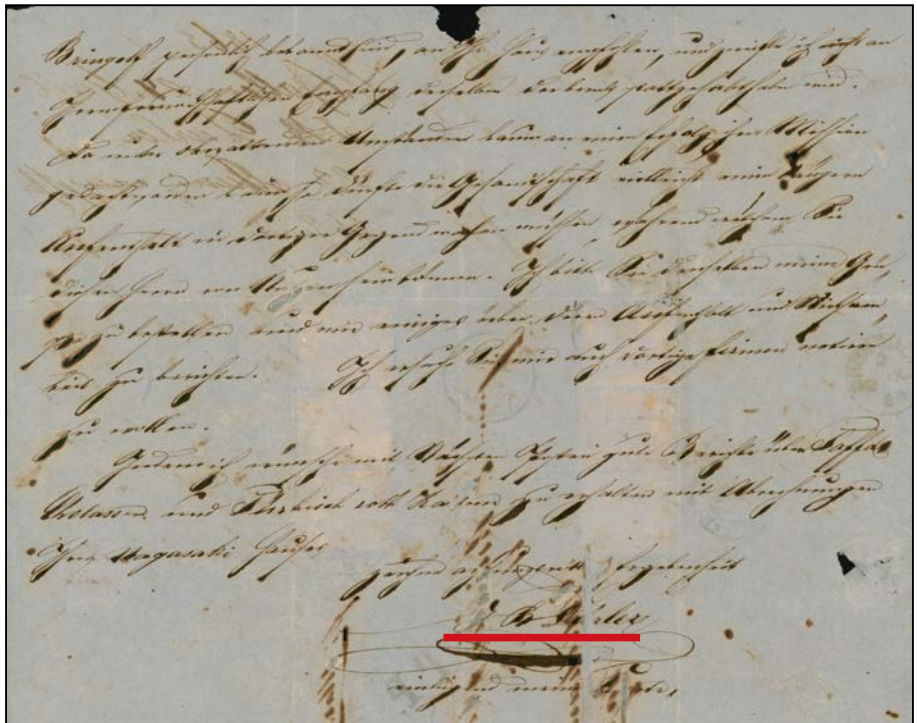


ST.GALLEN 1863/4/24 → St. Gallen-Zurich, 4/25 → Basel-St.Louis, 4/25 → Marseille, 4/27
→ Hong Kong, 6/9 → Yokohama, 1 Fr. 80 c

郵便送ルルートは消印を見れば簡単に辿ることができますので、前ページのカバー画像の下に記載しました。フランスの郵便網を使って運ばれたことがわかり、横浜には6月ないし7月には到着していると思われますが、到着印は押捺されていません。在横浜フランス郵便局は1865年7月1日以降に開設され日付印類が配備されたことが知られていますが、このカバーの到着した時代は領事館郵便の時代であり、日付印類も配備されていなかったことが知られています。

宛先のクニフラー商会は、横浜開港後に真っ先に開業した有名な商社です。このカバーは折り畳み書状で薄一枚紙の外側に住所が、内側に文面が書かれていて、互いに干渉している為見づらい点があります。内側を展開した一部を下図に示しますが、差出人は、ザンクトガランのJ B Durler氏と読めますが、それ以外の文面はまだ解読に着手していません。しかしながら本書状はフィラテリーの観点からだけでなく、日瑞国交史の観点からも一級の資料だと考えていますので、どこかで時間を取り解読に挑戦して何か得るものがあればと願っていますし、そうすれば、差出人の素性も明らかになると期待しています。エンタニア収集がデフォルトな葉書と異なり、内容文が付属しないことが多い書状は実はエンタニア収集が難しい対象です。しかしながらクラシックの折り畳み書状は、この点でエンタニアであると言えますので、その点からも楽しめると思います。

ところで、文久3年の日本とはどんな状況だったのでしょうか？徳川家茂、孝徳天皇の時代で、尊王攘夷運動がまだ力を得ていた時代で、前年に生麦事件（薩摩藩士による英国人殺傷）が、この年には下関事件（長州藩による外国商船砲撃）が起きました。また、それを背景として、8月には尊王攘夷派の公家や長州藩を朝廷から排除する政変が起っていました。このカバーはその同時代に、日本に対して欧州から送られた書状であり、日米修好通商条約以後の日本は本当に鎖国でなくなったのだな、ということを理解させる資料だと思います。



カバー内側の文面の書かれている部分、赤線部分に差出人めいが確認できる

琉球の航空郵便 (3)

多数貼

木戸 裕介

航空切手の多数貼についてご紹介します。存在するものは主に外信の重量便です。もちろん適正単貼よりも少ないのです。航空料金自体が内国料金と比して高額のため、中々、内国用途での多数貼はないでしょう。みつけたら教えてください！

実例をどんどんお見せします。図1は、天女航空 13 円の 3 枚貼。3 倍重量の日本宛航空便です。またなかなかみない多数貼です！ 13 円は日本宛ですが、航空料金の中でも最低額のため、米国宛などで、多数貼したケースもあります。図2は田型が貼ってあります。トーマスマエキ差出（真栄城勇）で、フィラテリックだけど迫力があっていいです。



図 1



図 2

18 円は難関ですが、フィリピン宛の 3 倍重量書留があります。越来の書留キラー印、というの
もおつでしょう。(図 3)もうひとつは米国宛の適応多数貼です。18 円 ×5 枚で 90 円。さすがはフィ
ラテリックエージェンシー。米国宛 2 倍重量書留料金にぴったりです。2 種類のシェードが貼って
あり、製造面も語れます。(図 4)



図 3



図 4

30 円も 2 通を紹介。30 円を 2 枚貼ると 60 円。B 円最後の第五地帯の料金となります。イタリア宛で、宛先もいいです。消印がタイしていないのがマズイですが、裏面に到着印がローマ 1955.8.1 なので、まず大丈夫でしょう。(図 5)

アメリカ宛 35 円の 2 倍重量として、先程の 30 円 2 枚と、10 円弁財天堂を貼ると 70 円になるのです。差出は琉球銀行です。アメリカ宛ですが、同系色で見ない貼り合わせ。だいじにしています。(図 6)



図 5

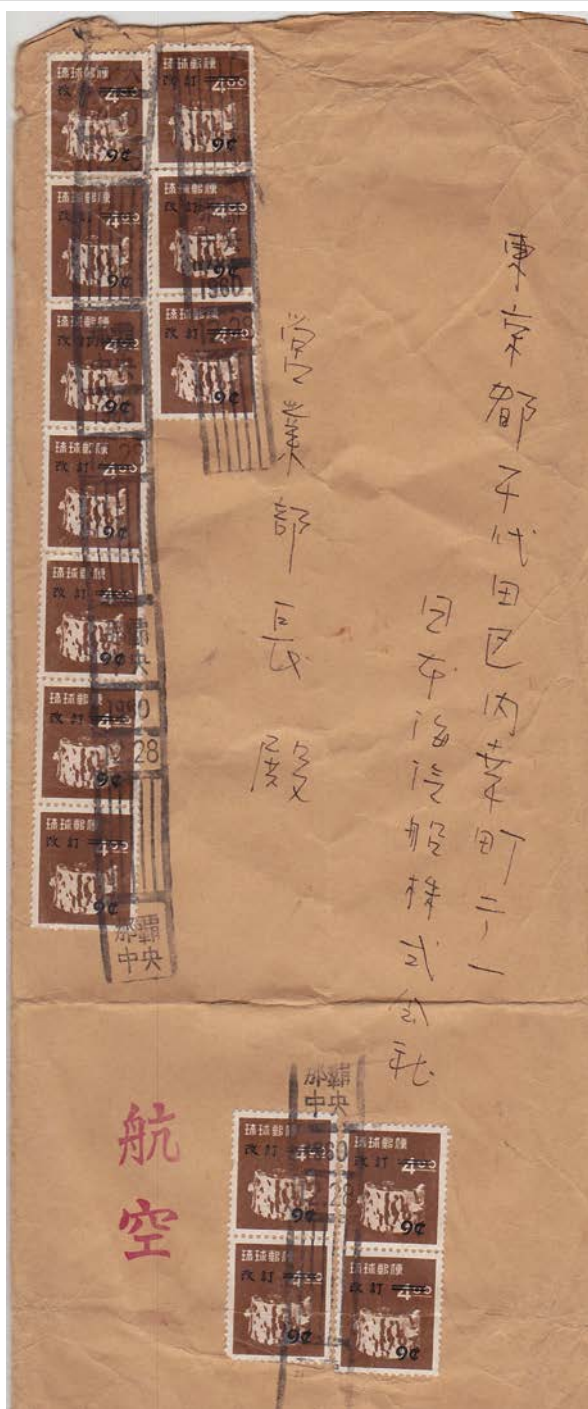


図 6

さて、天女航空までは2枚貼とかも紹介しましたが、あとは、のちの時代の劇的なものをいくつか。

改訂 9c 工芸の日本宛 14 倍重量。日本海汽船エンタはこの時期は日本宛が複数あります。

これまでは同じ宛先で5枚貼をもっていました、これが出てきてからは速攻で入れ替えました。いままでみてきたなかでは、間違いなく最大多数貼です。(図7)



9c は使い勝手がいいのか、こんなものもあります。米国宛 27c を 2 倍の、54c 貼。9c を 6 枚貼るとぴったりです。(図 8)



図 8

多数貼は、あまり紹介できるエンタが少ないので、ここまでです。ご覧の通りで、ハトは 3 枚以上貼ったものを所持してません。天女 40 円 50 円もありません。全ての伝統をやるうえで多数貼は大事にしたいのですが、マテリアルが出てこなく、、、地道にコツコツとやっていきたいと思います。次回からは額面ずつの使用例を紹介します。

[ad]

全国切手展（競争切手展）出品締切は 12/17（火）です

会期：2021 年 4 月 10 日（土）～13 日（火）[4 日間]

会場：郵政博物館（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：100 フレーム

主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会

協賛：スタンプペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、
切手市場、（一社）全日本郵趣連合、
（公財）日本郵趣協会、株式会社鳴美



<http://kitte.com/stampex2021>

和欧文機械印トピックス（第63回）

第2期の「郵便番号はハッキリと」

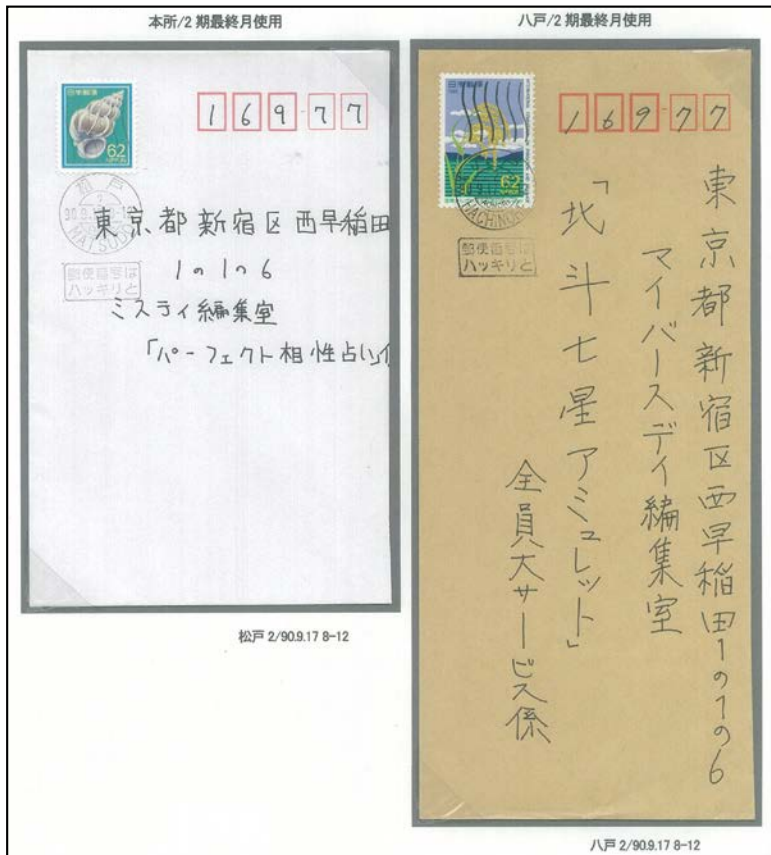
水谷 行秀

3番目の標語である「郵便番号はハッキリと」は1971年12月に登場し、以後この標語にほぼ統一されたくらいの感がある。1980年10月1日より標語無しが正式に登場して以降は順次標語無しに置き換えられていった。

しかし、1985年を超えてもかなりの局では未だ「郵便番号はハッキリと」を使い続けていた。流石に平成に入ると残りは少なくなった。そして1990年9月30日を持って2期印は終了となるが、最後まで使い続けていたのが判明している局は6局ある。それらは座間、松戸、千葉中央、川崎中央、尼崎北、そして八戸である。

参考文献1によると本所では7月まで「ハッキリと」が使われていたが、その後標語無しに移行したとある。私の手元には8月10日の「ハッキリと」があるので、その後標語無しに変わったとしたら本所の標語無しは短期間の出現となる。記録として最終期の「ハッキリと」を1局でもいいので入手しておきたい。

参考文献：1. すたんぷふれんど8号（高崎真一氏）



和欧文機械印トピックス（第64回）

第2期印の終了と切手との組み合わせ

水谷 行秀

第2期の和欧文機械印は1990（平成2）年9月末をもって終了し、翌10月1日より丸形の3期に移行した。ここで問題となるのが、その直前に発行された切手との組み合わせである。2期終了の1ヶ月以内となる9月には下記の記念・特殊切手等が発売となった。

9月3日	ふるさと切手福岡県第45回国民体育大会
9月7日	国際識字年
9月25日	ふるさと切手京都府 舞子と祇園
9月25日	ふるさと切手和歌山県 熊野古道
9月27日	馬と文化シリーズ第3集2種 加茂競馬文様小袖と駄馬（けってい）
9月27日	国際防災の日10年

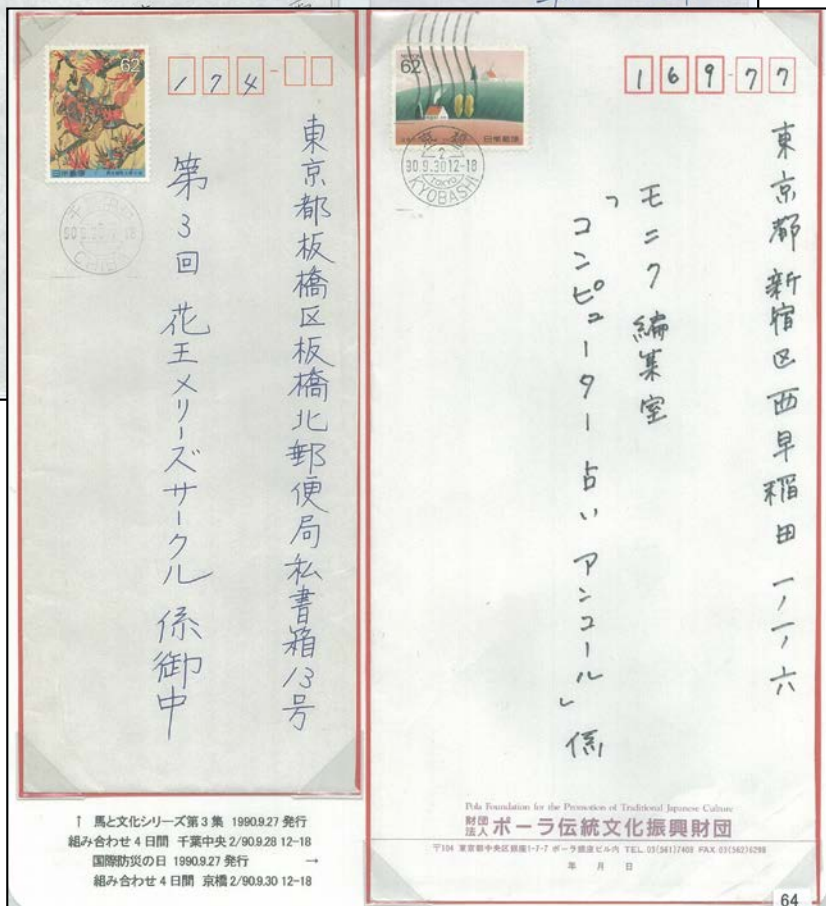
以上7種類（図①）も発行されているが、20日以上組み合わせのある45回国体と国際識字年はそれほど難しいものではない。

問題となるのは、そのあとに発行された4件5種である。ふるさとの京都と和歌山は6日間。馬と文化第3集の2種と国際防災の日に至っては僅かに4日間の組み合わせとなる（図②）。

記念・特殊切手故に直ぐに使われることはそれなりにあったと思われる。実際に集めてみると簡単ではないものの超希少という程でもないくらいの実感がある。既に2期の終了から30年程が経つが、未だ掘り出しも可能ではないだろうか。



図①



和欧文機械印 最新使用54局一覧

鈴木 盛雄

1968年（昭和43年）に使用が開始された和欧文機械印は、昭和・平成・令和の3層にわたる半世紀の歴史を越えて現在もまだ一部の郵便局で使用されています。筆者はこの間、郵便局窓口への訪問、ポスト投函、郵頼などを通じて、同消印の収集を行い、その魅力に見せられてきましたが、今回編集部のご依頼で、最新使用局を報告させていただきます。

使用局について

本年7月以降の筆者による収集をまとめたところ、56の郵便局で使用が確認され、その一覧は下表の通りです。しかしながら、この直後の2020/9/13に美浜郵便局で、また2020/10/10に松江中央局で、それぞれ和欧文機械印は撤去されたことがわかりましたので、最新使用局はそれら2局を除く54郵便局ということになります。

都道府県	郵便局名	〒
宮城県	仙台中央	980
東京都	神田	101
	日本橋	103
	晴海	104
	東京・上野	110
	浅草	111
	小石川	112
	本郷	113
	王子	114
	荒川	116
	足立西	123
	葛飾	124
	本所	130
	江戸川	132
	小岩	133
	新東京	137
	品川	140
	荏原	142
	大森	143

都道府県	郵便局名	〒
東京都	蒲田	144
	千鳥	146
	渋谷	150
	目黒	152
	世田谷	154
	東京・千歳	156
	成城	157
	玉川	158
	牛込	162
	新宿	163
	豊島	170
	板橋北	174
	石神井	177
	日野	181
	武蔵府中	183
	立川	190
	町田	194
	多摩	200
	武蔵村山	208

都道府県	郵便局名	〒
千葉県	千葉中央	260
	美浜	261
愛知県	千種	464
	愛知・瑞穂	467
大阪府	大阪南	542
島根県	松江中央	690
岡山県	岡山中央	700
広島県	広島	731
	広島西	733
福岡県	筑紫	811
	新福岡	811
長崎県	長崎中央	850
	大村	856
熊本県	熊本北	861
	熊本東	862
大分県	大分東	870
宮崎県	宮崎中央	880
鹿児島県	鹿児島東	892

2020年7月以降の使用が確認された和欧文機械印一覧（56局）

* 〒は、郵便番号の上3桁

新規使用局について

一部の地域区分局で和欧文機械印の使用を新規に開始しました。機器の寿命を考えると、いつなくなってもおかしくない気がしますが、今のところは、使用中のようです。

郵便局名	機械設置日	使用開始日
広島	2019/9/16	2019/9/17



切手コレクション紹介

JAPEX2020 銀銅賞 付録1に全リーフ掲載 (5F)

風景入通信日付印

石田 徹

来年 2021 年、風景入通信日付印（以下、風景印）は 1931 年の使用開始から 90 周年を迎えます。この展示は、他の特印と違い予め終期を予定せず使い続けられるといった特徴を持つ風景印をマルコフィリーの観点から構成しています。

構成

構成は拙著「風景入通信日付印概説」（本誌 22 号）により、5 フレームからなります。

1. 風景印の歴史・本土 戦前の使用開始から、日中戦争の激化に伴う不急事務の整理とゴム節約のために使用中止、そして戦後の復活、仕様の統一とそれに伴う変形印の消滅、新たな規定の改正による変形印の復活、そして風景印の告示廃止まで、各規定を見ながら展開します。p2-31
2. 風景印の歴史・外地 朝鮮、台湾、樺太、南洋、関東州、満洲、野戦局といった外地での風景印の使用状況を概観します。p17-32
3. 風景印の特色 風景印の納品から、表示改正、局名改称、図案改正、印額の磨滅とそれらに伴う印影バラエティの分析、そして色変り印に触れます。p33-52
4. 特殊な風景印 季節局、特設局、米国統治下の沖縄、風景印では唯一の移動郵便局印である船内局を紹介します。p53-80

課題

風景印の使用開始時には既に収集方法としては官白による収集が定着していましたので、マテリアルが官白中心となり、フィラテリックで無い実郵便が少ない状況があります。できるだけ実郵便を採り上げると共に、官白の見せ方も単調にならない工夫が必要です。

そこで、特に希少では無い官白についてはカットスクエアで展示しています。米国などではエンペロープのカットスクエアはありますが、葉書についてはカットは認められない状況にあります。

しかし、ここでは、葉書の展示では無く、消印の展示である事と、カットの対象は実郵便でない最近の官白です。カットによるマテリアルの価値は失われますが、リーフに複数印を並べ比較検証する事ができ、むしろコレクションの意義は高められると考えています。

作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

Scenic Cancellations

風景印の歴史 (本土)

戦前風景印の使用中止 Discontinue use since 1940

随時使用中止 (昭和 15 年 7 月 4 日以降)



大山寺 昭和 15 年 7 月 28 日



大聖寺 昭和 15 年 10 月 26 日

使用中止 (昭和 15 年 11 月 15 日)



土崎 昭和 15 年 11 月 18 日

日中戦争の激化に伴う不急事務の整理とゴム節約のため、風景印は昭和 15 年 7 月 4 日以降随時中止となり (逓信省告示第 184 号)、さらに昭和 15 年 11 月 15 日限りで使用中止となった (逓信省告示昭和 15 年第 1834 号)。ただし、国民精神の高揚に役立つなど時局がら特に意義深いもの 95 局 (85 図案) に限り、業務上支障がければ摩滅するまで 使用が認められた。

逓信省告示第千八百三十四号

昭和六年七月逓信省告示第千四百号ニ依ル図案文字ヲ挿入セル通信日付印中使用ニ期間ナキモノハ随時之ガ使用ヲ中止スルコト

アルベシ

切手コレクション紹介

外国切手研究会第31回オンライン例会 紹介作品 付録1に全リーフ掲載(1F)

英連邦占領軍の切手

吉田 敬

BCOF(ビーコフ)の愛称で知られるオーストラリア切手を台切手とする7枚の切手は、日本にとっては、「被占領地切手」です。未使用単片は市場に出回っており、セットで1万円前後で購入できますが、マルチプルやフィラトリックでない使用例となると、なかなか難しくなります。

伝統郵趣レギュラーフレーム作品の構成を企画したこともあります。現在はそれは断念し、日競争展示用に、郵便史側面も入れた退屈しない作品を作りたいと考えています。

近々、作品改修を予定しているので、改修前の姿を公開したいと思います。

戦後、広島県を中心とする中国地方で使用された 英連邦占領軍の切手

本展示の目的 本コレクションは英連邦占領軍の切手の伝統郵趣コレクションである。

英連邦占領軍および、その軍事郵便

1945年9月2日の対連合国の降伏文書調印の後、1946年2月13日より英連邦軍が中国・西国地方の占領を実際の業務を担当した。これに伴い野戦郵便局が設置され、英連邦の切手を貼った軍事郵便物の引き受けが開始された。

加刷切手発行の背景

軍の物資には、闇市に持ち込み有利な取引ができるものが多く、兵士の中には不正に流出させるものが絶えなかった。国際送金が難しいので、換金には軍の郵便切手を買って本国で額面割れで処分する方法がとられた。

この不正を止めるため、軍は軍事郵便局で販売する切手に「英連邦海外派遣軍」を意味する B.C.O.F. の加刷を施すことを決定し 1946年10月11日に発売した。

しかし郵政当局との合意の成立前に加刷切手の発売が開始されたため、翌々日の13日には発売中止となり、1947年5月8日の再発売までに半年以上を要した。

展示プラン

無加刷切手の軍事郵便使用例および加刷ブルー等をプロローグで示した上で、7種類の切手の製造面および使用面を1乃至2リーフずつ展示した。



英連邦海外派遣軍の占領地を示す日本地図



3日で販売中止となった、当初発行分3種の内、2種を貼った初日カバー AAPO.215 局 (呉)

作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

1 ペニー

加刷のトライアル（細字）



加刷色：赤



加刷色：黒

左マージン付き4枚ブロック（右側ペーン）



加刷色：赤

正規発行



左マージン付き4枚ブロック（右側ペーン）



左マージン付き4枚ブロック（右側ペーン）



左マージン付き4枚ブロック（左側ペーン）

P.71 ペニー切手

郵趣振興協会 活動報告

2020 年 9 月 1 日～ 2020 年 12 月 3 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

郵博 特別切手コレクション展 (2021 年度) の開催スケジュールが決定

COVID-19 の流行状況を鑑みて、公募を中止し、過去展示を行った団体にご案内し選定手続を進めて参りました 2021 年度「郵博 特別切手コレクション展」につきまして、共催者（郵政博物館および郵趣振興協会）において開催スケジュールを決定いたしました。

日程	展覧会名称	副題・説明等	展示団体
5/8-16	ふるさと 郷土の郵便の歴史 展	全国各地、特定の地域や特定の郵便局に限定して集める“ふるさと の郵便史”	NPO 法人郵趣振興協会
6/12-20	第 4 回南方占領地 のフィラテリー展	太平洋戦争中に日本が東南アジア 等の占領地域で発行した珍しい切 手を一挙に展示	南方占領地切手研究会
12/28- 翌 1/11	富士鹿切手展	1922 年 1 月 1 日に発行され 100 周年を迎える富士鹿切手の コレクションを一挙紹介	NPO 法人郵趣振興協会
2022/2/5-6	第 4 回いずみ展	わが国郵趣グループのトップ・ラ ンナーの実力がここに明かされる	いずみ切手研究会

郵政博物館の開館日・開場時間の短縮に伴う、

郵博 特別切手コレクション展 (2020 年度) の開催内容の変更

郵政博物館は、COVID-19 流行に伴う臨時閉館からの再開に伴い、当面の間、平日のみ時間を短縮して営業することが決まっていたましたが、本年の郵博特別切手コレクション展の開催期間中の短縮解除が決まらなかった為、以下の展覧会について、開催内容を変更もしくは中止することとしました。

第 3 回南方占領地のフィラテリー展

旧) 12/12-13 (土日) 10:30-17:30

新) 12/14-15 (月火) 11:00-16:00 (初日 13 時開場)

第 4 回いずみ展 (2021/2/6-7 開催予定) → 中止

オンライン郵趣例会振興プロジェクトからのご報告

当協会では、2020年4月より斎 享 理事をプロジェクトリーダーにして、オンライン郵趣例会の活用を促す活動を行っていますが、本活動報告期間中には、以下の活動を実施しました。

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会	6回
外国切手研究会	13回
昭和切手研究会	3回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回

(2) WEB セミナーの主催 (右図)

「出品者による作品解説」(2020年11月29日)

(3) オンライン郵趣例会開催団体の集客支援方法の提供

当協会ホームページにおける、例会報告コーナーの提供

外国切手研究会	13回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回



当協会では、12月以降も、技術面およびマーケティング面で様々な取り組みを行うことで、オンライン郵趣例会の振興を図っていきたいと考えております。

WEB セミナーアンケート結果 (抜粋)

11/29の「出品者による作品解説」聴講者21名よりアンケートに協力いただきました。

Q「本日の5名の講演は、よく見聞きできましたか？」

→ 20名が「画面・音声共によく視聴できた」と回答。(95%)

Q「今後の講演会のテーマとして希望するもの」

→ 「競争切手展ルール」8名(42%)

「リーフ作りの技術的側面」6名(32%)

「英文リーフの作り方」7名(37%)

「特定の収集テーマに関する専門家の解説」14名(74%)

Q「特定の集取テーマに関する専門家の解説」の具体例として挙げられたもの

→ 「製造面勉強会」「日本の特殊切手(戦前～1960年代)」「外国の普通切手(1930～50年代)」「伝統郵趣(日本)のオリジナルな研究を含む作品」「伝統郵趣(外国)のクラシック作品」「手彫」「小判」「印刷技術」「南方占領地」「英国」「植物」「検閲印」「日本関連ステーションナリ」「郵便史」ほか

各種事業の進捗について

当協会は「2020 年度事業計画書」において、5つの事業を計画しております。

それらは「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリック PR 事業」「次世代育成事業」の5つです。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

郵博 特別切手コレクション展（2021 年度）の開催について、郵政博物館と合意（12/3）
 郵博 特別切手コレクション展（2020 年度）等の展覧会の準備
 スタンペックスジャパン2021実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）の活動継続

フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jp における供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社に委託しています）

リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

フィラテリック PR 事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（9-11 月で 34 件。対前四半期 +61 %）
 オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

次世代育成事業

スタンプクラブ「月刊切手ニュース」への協力

総務ほか

スタンブショウ = ヒロシマ 2021 実行委員会からの後援依頼を承認（11/27）
 WEB セミナー改善会を開催（12/1）
 東京都庁に 2019 年度事業報告書追加資料を提出（10/30）
 日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）

国内競争切手展 受賞結果抜粋

JAPEX2020

開催日：2020/11/6（金）～11/8（日） 会場：都立産業貿易センター（浅草）

部門	作品名称	出品者	結果
チャンピオン	田沢旧大正毛紙切手	丹羽 昭夫	91 大金賞
	第1次国立公園切手	池田 駿介	85 金賞
伝統収集	Great Britain One Penny Black 1840 — 1841	安藤 裕	88 金賞
	新昭和切手	飯澤 達男	85 金賞
	和紙桜青一銭	高橋 卓雄	83 大金銀賞
	二次昭和	吉田 敬	83 大金銀賞
	菊切手 1899 — 1910	加藤 茂樹	82 大金銀賞
	Romania King Ferdinand Issues 1920~1926	寺本 尚史	82 大金銀賞
	Souvenir Sheets of commemorative & special stamps 1946-52 issued after the World War II	馬淵正比呂	81 大金銀賞
	South Korea 1945-47	木戸 裕介	77 金銀賞
	英国 1840-1854	長濱哲比古	76 金銀賞
	新昭和切手	遠藤 浩二	70 大銀賞
	TRAVANCORE - COCHIN	石井 説雄	68 銀賞
	新小判切手 1888年～1892年	村上 信和	65 銀賞
	二元秋田犬（第2次動植物国宝図案）	市村 良二	63 銀銅賞
	ドイツの普通切手 名所シリーズ 1987-2004	田中 勝善	62 銀銅賞
	北斎の富士1円	濱谷 彰彦	60 銀銅賞
	50円：弥勒菩薩像	石野 逸雄	58 銅賞
	昆虫シリーズ	須谷 伸宏	56 銅賞
郵便史	日本の近代郵便の歴史	吉田 敬	86 金賞
	郵便の効率化と機械化	水谷 行秀	86 金賞
	手押標語印	矢嶋 基之	83 大金銀賞
	Mails between Japan and U.S.A from Pre-UPU period to 1941	小宮山 賢	81 大金銀賞
	訴訟書類の郵便史 1873~1948	岡本 哲	81 大金銀賞
	配達証明・到達証明郵便	行徳 国宏	80 大金銀賞
	都道府県別の龍切手主体の手彫切手カバー	手嶋 康	80 大金銀賞
	日治時代の台湾	岩崎 善太	78 金銀賞
	リトアニア書留郵便史 1989-1996	荒木 寛隆	78 金銀賞
	埼玉県鉄道郵便日付印	上遠野義久	78 金銀賞
	戦前櫛型欧文印	久米要三郎	77 金銀賞
	郵便制度の充実・発展期:1899～1913年	饗場 利明	76 金銀賞
	外信印刷物郵便 1877～1941	森田美佐子	75 金銀賞

部門	作品名称	出品者	結果
郵便史 (つづき)	震災郵便史	遠藤 浩二	75 金銀賞
	Chula Sakarat-Early Cancellations of SIAM	柏木 光一	74 大銀賞
	大清国家郵政郵便史 1897 - 1912	藤本 博嗣	73 大銀賞
	丹波国・丹後国の記番印	稲元源太郎	72 大銀賞
	日本の選挙郵便	佐藤 巖	69 銀賞
	二重丸時代の京都	岡本 博之	68 銀賞
	上田現市内局の初期からの郵便印	松井 善信	65 銀賞
	風景入通信日付印	石田 徹	64 銀銅賞
	郵便料金7ヵ月の使用例～昭和46年7月1日から昭和47年1月31日～	町屋 安男	63 銀銅賞
ステーションリー	楠公はがき	加瀬 嘉文	89 金賞
	日本 ポスタル・ステーションリー 1898 - 1908	古家 美和	83 大金銀賞
	日本の記念特殊葉書 1936-1962	須谷 伸宏	83 大金銀賞
	The Postal Stationery of Burma under the Japanese Occupation Period	守川 環	75 金銀賞
エアロ	グラーフ・ツェッペリン号(南アメリカ飛行)で運ばれた航空郵便	立川 賢一	82 大金銀賞
テーマティック	バラのきた道＝その生い立ちと人々のかかわり＝	山田 精一	84 大金銀賞
	宇宙開発の進化	中尾 謹三	79 金銀賞
	オスマン帝国の没落とトルコ近代化―ケマル・アタテュルクの活躍を中心に―	斎藤 良昭	77 金銀賞
	かえる - 生物多様性の観点から -	長島 裕信	75 金銀賞
	「黒い森」から「黒い海」へ ―切手をめぐるドナウ川の船旅―	谷 覺	70 大銀賞
	モノレールの世界―日本はモノレール王国	三浦 正悦	70 大銀賞
	朝鮮近代史 1863～1910	大津 太孝	67 銀賞
	満洲と満鉄	小林 莞爾	66 銀賞
	数学の世界	嶋根 浩	63 銀銅賞
	日本の歴史Ⅱ「奈良から平安時代」	高塚 純一	59 銅賞
ワンフレーム	私の「日本の鳥」切手総図鑑	中尾 英雄	56 銅賞
	手彫時代の津軽渡海と北海航路	佐々木義郎	87 金賞
	横浜ロンドン線船内郵便局(1937-1940)	小坂 彰宏	83 大金銀賞
	北清事変の軍事郵便	志水 正明	78 金銀賞
	国内急速郵便：1945 - 52	馬淵正比呂	75 金銀賞
	八王子の消印	長野 行洋	72 大銀賞
	太平洋戦争終戦前後の台湾と日本間の郵便	濱村 一雄	70 大銀賞
	美濃国2箇所黒野郵便局	若園 泰三	70 大銀賞
	モリコー試作卓上押印機及び活字	山田 克興	69 銀賞
	ロータリーの重点分野	浜名 賢一	69 銀賞
	「速達料金八銭徴収」「時間外配達」及び「窓口」表示の速達郵便	行徳 国宏	68 銀賞
	ツェッペリン飛行船航空切手と使用例(ドイツと南米以外の諸国：1930～1933)	立川 賢一	68 銀賞
	D 欄☆	栗 篤吉	66 銀賞
	青島・日本局 郵便印	柳川 英幸	66 銀賞
	平成から令和へ(主たる皇室行事を中心に)	柴田 公子	63 銀銅賞

部門	作品名称	出品者	結果
ワンフレーム (つづき)	帝国議事堂竣工記念	木下 朋英	62 銀銅賞
	黒 1 銭	近辻 喜一	61 銀銅賞
	戦前の年賀切手 (1935 - 1937)	宇佐見比呂志	61 銀銅賞
	国際文通週間 東海道五十三次シリーズ	永吉 秀夫	58 銅賞
	高山植物シリーズ	須谷 伸宏	56 銅賞
	国体切手・葉書の変遷	高木 均	54 佳作
オープン	棟方志功の世界	池澤 克就	84 大金銀賞
	オペラ座の怪人	加藤 和宏	81 大金銀賞
	明治維新	延原 敬	81 大金銀賞
	東北の鉄道建設による発展	斎 享	78 金銀賞
	相撲の歴史	須谷 伸宏	77 金銀賞
	野菜とくだもの (日本の歴史に沿って)	柴田 公子	69 銀賞
	袖が語れば	今井 節子	61 銀銅賞
	国勢調査 (センサス)100 年の軌跡	井上龍太郎	60 銀銅賞
その他	横浜外国人居留地発着書簡	小林 彰	70 大銀賞
ユース	国旗の図柄で知る世界	立川 晴菜	84 金銀賞
	オリンピック 東京 1964 から 2020	千葉 郁実	67 銀銅賞

部門	作品名称	出品者	結果
文献	JPS 植物切手研究会 50 周年記念誌	JPS 植物切手研究会	80 大金銀賞
	丸一型日付印のワ便 (付録) 便号欄をめぐるトピックス	永富 功	78 金銀賞
	JPS ポーランド郵趣研究会会報「ポーランド郵趣」	JPS ポーランド郵趣研究会	78 金銀賞
	いずみ切手研究会会報	いずみ切手研究会	78 金銀賞
	明治時代の鮎山局	永富 功	76 金銀賞
	Railway Stamps 2019 年合本	JPS 鉄道郵趣研究会	76 金銀賞
	Railway Stamps 2019 年合本 CD	JPS 鉄道郵趣研究会	76 金銀賞
	Plants on Stamps of The World 植物切手 2011-2018	石田 徹	76 金銀賞
	宇宙郵趣会コスモス会報「コスモス」	宇宙郵趣会コスモス	75 金銀賞
	全日本切手展史 第 70 回全日本切手展 2020 記録	小藤田 紘	74 大銀賞
	全国郵便局消印蒐集叢書第 27 巻「北海道全郵便局索引」	小島 純二	74 大銀賞
	JPS 航空郵趣研究会会報「つばさ」(148 ~ 152)2019 年度	JPS 航空郵趣研究会	72 大銀賞
	郵趣ひらの	平野支部	70 大銀賞
	現代切手	山崎 太郎	67 銀賞
	七尾発の郵便印	相馬 靖生	65 銀賞
	エンタィア集 雪月花風信Ⅲ	内野 高明	59 銅賞

JAPEX2020 参観記

長野 行洋

去る11月6日(金)～8日(日)、恒例の浅草、都立産業会館で開催された。コロナ禍の中、万全の感染対策を実施された関係者一同に心より感謝いたします。今年の企画は「新昭和切手75年」と「台湾切手展」。いずれも、ベテラン専門家が佳作を披露、見応えの展示であった。特別出品は「ペーターベン生誕250周年記念切手展」、貴重な資料展示と9作品であった。以下敬称略にて失礼をいたします。

チャンピオンクラス

「田沢旧大正毛紙切手」(東京・丹羽昭夫) 大金賞、グランプリ。今年は無加刷6フレーム、支那加刷2フレーム。更なるオリジナルスタディの発表と、ダブルリーフにふさわしいカバー等、毎回見所を追加する努力と執念には頭が下がる。

「第一次国立公園切手」(東京・池田駿介) 金賞。出版されたモノグラフの内容を作品で具現。製造面でのスタディと使用例のカバーのバランスが小気味良い。

日本及び関連地域部門

手彫から現行、新しい記念切手まで11作品。

「和紙桜青一銭」(静岡・高橋卓雄) 大金銀賞。50年以上前の青一病の伝統は脈々と後輩にも。版別リーフで淋しいリーフもあるが、丹念に18版リコンストラクション、あと4番切手1枚でリーチとは残念。

「新小判切手1888年～1892年」(岡山・村上信和) 銀賞。各額面、未・済を基本に忠実に展開、エンタィアを配し、ベテラン丁寧な作品作り。3銭仮名もほん等の目玉も。残念ながら、目打11等誤記が響いたか? 辛目の評価。未ブロック、エンタィアの選択で、二階級特進の内容だけに惜しい。

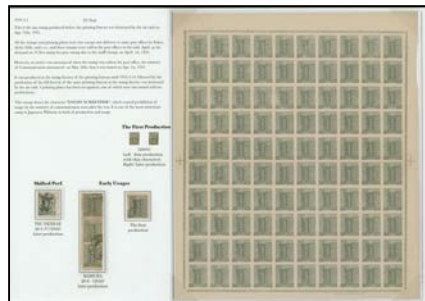
「菊切手1899-1910」(長野・加藤茂樹) 大金銀賞。以前拝見した時と比べ、見違える作品への充実ぶり。切手帳、字入りを含め、エンタィアも厳選。菊の陰のレジェンドコレクターが一言、コレクションを引き継ぐ(売れる)後輩の出現は嬉しいと。

「二次昭和」(東京・吉田敬) 大金銀賞。氏の作品と一目で判る。シート、大ブロック多様な構成に目が行きがちも、時代的に難しいカバーも見映えのする物にこだわり。勅額10銭のシートとしゃれた使用例が埋もれてしまうほど。



「第一次国立公園切手」(池田駿介)

* 画像提供: 郵趣振興協会



「二次昭和」(吉田敬)

外国部門

冒頭に、英国最初の切手 2 作品、全国展ならではの。

「Great Britain One Penny Black 1840-1841」(神奈川・安藤裕) 金賞、住野正顕賞の特別賞。これまでの集大成として、スタディ含め所要のアイテムを網羅とのこと。

「英国 1840 - 1854」(兵庫・長濱哲比古) 金銀賞。マルレディ封筒はじめ、ペーニーブラック、ペンスブルー、レッドペニーと華やかに展開。ベテランが改善した作品を展示していただけることに敬意を表したい。

「TRAVANCORE-COCHIN」(神奈川・石井説雄) 銀賞。土候国の中でも、連合国としての切手発行が 2 年弱とは寡聞にして、加刷の分類、複雑な対象をまとめられている。

「Romania King Ferdinand Issues 1920 ~ 1926」(和歌山・寺本尚史) 大金銀賞。全日本郵趣連合の特別賞の受賞。郵趣 10 月号・郵趣家の書斎で御自身の思いをご披露された内容を競争展作品に具現化。外国切手の収集ながら、先輩の日本語記事をベースにとの発想はユニーク、参観者にも判りやすいのでは。

「South Korea 1945-47」(東京・木戸裕介) 金銀賞。国際展はともかく、本命コレクションの競争展の出品はジュニア以来久々。先輩よりの引継ぎ含め、全世界で数人のコレクター。若手だけに益々の充実が期待される。

「ドイツの普通切手 名所シリーズ 1987-2004」(愛知・田中勝善) 銀銅賞。欧州の現行切手は、ドイツの事故防止シリーズはじめ、実に計画的に統一され美しい。作品の構成の仕上がりにつながる。日本は残念ながら、動植物国宝以来、平成切手も含めゴチャゴチャのイメージがぬぐえない。



「Romania King Ferdinand Issues 1920-1926」(寺本尚史)

郵便史 (ポスタルヒストリー)

「Mails between Japan and U.S.A. from Pre-UPU Period to 1941」(東京・小宮山賢) 大金銀賞。一番交流も多い米国との郵便物に絞った本格的郵便史。特殊扱いの充実ぶりが見事。タイトルのラストが 1941 年なのが象徴的。

「外信印刷物郵便 1877 ~ 1941」(岡山・森田美佐子) 金銀賞。過去にも、このテーマでの佳作は多かったが、旧小判 4 銭 1 枚貼りはじめ、どの時代も選りすぐりの作品。失礼ながら、女性の方だけに、どなたかの隠れ蓑。九ノ一ではとは会場雀のささやき。

「郵便制度の充実・発展期:1899 ~ 1913 年」(神奈川・饗場利明) 金銀賞。時期を区切った中での郵便史は面白い視点。特に、郵便経路についての展示は興味深く拝見した。



「外信印刷物郵便 1877-1941」(森田美佐子)

郵便印郵便 (マルコフィリー)

「都道府県別の龍切手主体の手彫切手カバー」(東京・手嶋康) 大金銀賞。今回、この作品を見たといの参観者が関心を寄せた作品。青森以下十県のみ、龍切手カバーがなく、桜切手カバーで代用とのすさまじい作品。

「丹波国・丹後国の記番印」(京都・稲元源太郎) 大銀賞。京都も広いエリア。難しい地区に絞った対象。やはり1リーフ1アイテムは淋しいが、マテリアルに限りがあり、仕方がない。

「二重丸印時代の京都」(京都・岡本博之) 銀賞。小判はがきなら安価に集まるとの作品づくりに好意。誰しも、自分の地元のこだわりが実現できるのが郵趣。

「手押標語印」(千葉・矢嶋基之) 大金銀賞、切手博物館賞の特別賞。1枚持つもの難しい手押し標語印を、実通力カバーを目指し、よくここまでと揃えた驚くべき作品。国内は、ほぼ全揃いの上、難しい朝鮮のアイテムまでと、奥の深さに敬服した。

「風景入通信日付印」(奈良・石田徹) 銀銅賞。これまでテーマティックのアイテムとして展示されていた風景印を正面からの分類に挑んだ意欲作。戦前や特殊扱いの珍品も多数含み見応え。その貴重なアイテムをカットしてリーフを整理された勇氣、筆者には真似できない。

「上田現市内局の初期からの郵便印」(長野・松井善信) 銀賞。不統一印から二重丸印までよく揃っているが、リーフに1通1枚ではやはり淋しい。タイトルもズバリでよかったのでは。

「埼玉県の鉄道郵便日付印」(埼玉・上遠野義久) 金銀賞。交通の要衝であり、多数の停車場印にはじまり、丸一、櫛時刻入、右書き、左書きと時代をバランスよくまとめられた佳作。

「戦前櫛型欧文印」(福岡・久米要三郎) 金銀賞。タイプ違い揃えにこだわり、新発見も含まれている御様子。菊以前のマテリアルが無かったのがやや残念。

「Chula Sakarat- Early Cancellations of SIAM」(東京・柏木光一) 大銀賞。SIAM最初の切手の消印の旧暦の曜日表示に着目したユニークな作品。全く着想の思いがつかないマルコフィリーにびっくり。



「手押標語印」(矢嶋基之)



「風景入通信日付印」(石田徹)

ステーションナリー

作品の展示がない年もあるが、今年の JAPEX の特徴を一言で表すと「はがき」。数は多くないが秀作が並んだ。

「日本ポスタル・ステーションナリー 1898 - 1908」(東京・古家美和) 大金銀賞。同時代の普通はがき・切手付き封筒・外信はがきだけでなく、事務用はがき等特殊なはがきを含め、未使用、みほん、使用済と基本に忠実に揃えている。多彩の切手加貼マテリアルも多く、単調にならないように工夫されていた。

「日本の記念特殊葉書 1936 - 1962」(大阪・須谷伸宏) 大金銀賞。冒頭のアーカイブスをはじめ、製造面、使用例をバランスよく、このテーマでは最高峰。時代を区切ったのも成功している。

「楠公はがき」(千葉・加瀬嘉文) 金賞。グランプリの特別賞の受賞。1 フレーム二段の原板をはじめとするアーカイブスに、会場雀は騒然。ただそれだけでなく、長い収集歴で積み上げたコレクションがあったからこそ。葉書のきれいさに作者の厳しい審美眼が。貴重な外地のマテリアルも目を魅いた。

「The Postal Stationery of Burma under the Japanese Occupation Period」(東京・守川環) 金銀賞。南方で唯一存在のアーカイブスが見物。学生の頃から 60 年余、南方一節の大ベテラン。

航空郵便

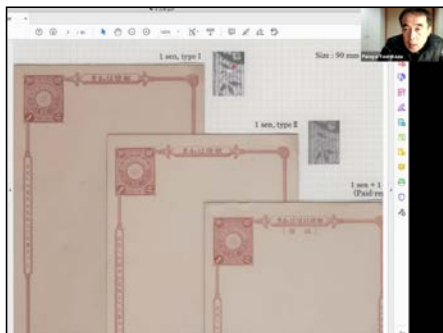
「グラーフ・ツェッペリン号 (南アメリカ飛行) で運ばれた航空郵便」(東京・立川賢一) 大金銀賞。これまでの世界一周飛行から、南アメリカ定期航路としての実業を対象にした切り口が新しいのでは。

テーマティク

「かえる-生物多様性の観点から-」(静岡・長島裕信) 金銀賞。年季のサブテーマも、益々充実してメインに昇格。学者さながらの論文調のストーリーの展開が見事。

「数学の世界」(埼玉・嶋根浩) 銀銅賞。文系にとっては、タイトルページだけで近寄り難いが、初出品で 2 フレーム作品ながら、数学の歴史や身近な例を挙げて、判りやすい内容に好感。

「私の「日本の鳥」切手総図鑑」(千葉・中尾英雄) 銅賞。鳥類保護を目的にしたストーリーであれば、タイトル名を再考された方が。



「日本ポスタル・ステーションナリー 1898-1908」と WEB セミナーで作品解説をする古家美和氏
* 画像提供: 郵便振興協会



「The Postal Stationery of Burma under the Japanese Occupation Period」(守川環)

「バラのきた道＝その生い立ちと人々のかかわり＝」（大阪・山田精一）大金銀賞。これまでの出品作の集大成の力作。テーマに対する愛情がひしひしと。

「日本の歴史Ⅱ「奈良から平安時代」」（静岡・高塚純一）銅賞。毎年の連続出品テーマは、短時間の参観者にはつらいものが。やはり、連ドラ作品ではなく、2時間ドラマが作品にとってはベター。

「朝鮮近代史 1863～1910」（東京・大津太孝）銀賞。このようなテーマは毎回郵便史とのボーダーが話題となる。作者も大いに悩んだのでは。

「黒い森」から「黒い海」へ―切手をめぐるドナウ川の船旅―（埼玉・谷覺）大銀賞。ラストの船便使用例は、テーマティクのバランスとしてはどうかと思ったが、興味深かった。

「オスマン帝国の没落をトルコ近代化―ケマル・アタテュルクの活躍を中心に」（大阪・斎藤良昭）金銀賞。ストーリーの構成もさることながら、リーフのレイアウトも秀逸だった。

「満州と満鉄」（広島・小林莞爾）銀賞。非競争展の時より拝見させていただいているが、このテーマは是非オープンクラスに発展させてご出品を願いたい。

「宇宙開発の進化」（奈良・中尾謹三）金銀賞。ひところ、宇宙をテーマにした作品が多かったが、対象がモダンで、高評価が難しかったが、時代を経て、本格作品をまとめた努力に感服した。

「モノレールの世界―日本はモノレール王国」（東京・三浦正悦）大銀賞。連続出品アイアン・エレキマンの今年のテーマがモノレール。切手自体が少ない中で、多彩なマテリアルでの作品作りはさすが。



「宇宙開発の進化」（中尾謹三）

ユース

2作品、いずれもテーマティクの取り組み方に好感。

「オリンピック東京 1964 から 2020」（兵庫・千葉郁実・高一）銀銅賞。旬のテーマ。

「国旗の図案で知る世界」（神奈川・立川晴菜・中一）金銀賞。ベストユース賞。国連のロングシリーズははじめ各国国連切手は少なくないが、分数、組み立てが大人顔負けの3フレーム。お二人とも、お名前からは女性では。今後の切手展は、女性に支えられるかも。

ワンフレーム

展示順に。

「黒1銭」（東京・近辻喜一）銀銅賞。旧小判黒1銭の使用例を、はがき、封書等官民郵便を含め紹介。その刷色で見映えのアイテムの難しさが。



「黒一銭」（近辻喜一）

「戦前の年賀切手 (1935 - 1937)」(愛知・宇佐見比呂志) 銀銅賞。年賀切手 85 周年による戦前 3 種の展示。使用例の消印にこだわった作品で、見ていて楽しい作品。

「帝国議事堂竣工記念」(長崎・木下朋英) 銀銅賞。毎回、一テーマの記念切手をワンフレーム作品へとライフワーク。記念絵葉書を加えても、製造面、使用面総動員。あと出品候補は何テーマか知りたいもの。

「国際文通週間・東海道五十三次シリーズ」(鹿児島・永吉秀夫) 銅賞。五十三次すべてが切手になったのを記念してか、原点の文通初期 5 種類の使用例を楽しく展開。我々が子供の頃には想像もつかなかった夢の作品。評価は二の次。

「高山植物シリーズ」(大阪・須谷伸宏) 銅賞。これまた、新しい記念シリーズを次々と料理をする名シェフ。ワンパターンになりがちが悩みとか。

「手彫時代の津軽渡海と北海道航路」(兵庫・佐々木義郎) 金賞。ベストワンフレーム賞。最後まで残った津軽・北海道ルートの夜明けを現物で示した労作。是非、文献化で、レクチャー願いたい。

「北清事変の軍事郵便」(兵庫・志水正明) 金銀賞。殆どが有料郵便であった異色の軍事郵便のパート。逆に参観者には見込えが。

「横浜ロンドン線船内郵便局 (1837-1940)」(三重・小坂彰宏) 大金銀賞。船内郵便印のオーソリティーが、特定航路に絞ったワンフレーム。40 日余りの長期航路、12 か所の寄港地、商便が少ないとの特徴を上手く表現されていた。

「太平洋戦争終戦前後の台湾と日本間の郵便」(長野・濱村一雄) 大銀賞。難しい時期に絞った作品。混乱の中に、よく残ったアイテムで構成。

「速達料金八銭徴収」「時間外配達」及び「窓口」表示の速達郵便」(埼玉・行徳国宏) 銀賞。プロになれば、究極のこだわり。マテリアルの追求は BS 放送でリバイバルされている。「刑事コロンボ」のよう。

「国内急速郵便：1945 - 52」(大阪・馬淵正比呂) 金銀賞。やはり、戦後の難しい時期を対象の作品。消印不鮮の中で、よくぞとのアイテムが。

「D 欄☆」(大阪・栗篤吉) 銀賞。誰しも、気になるアイテムの大行進。実に見ていて楽しい。

「青島・日本局 郵便印」(静岡・柳川英幸) 銀賞。支那字入りのレジェンドが、一番の対象の青島を発行された時期の中で展開。

「モリコー試作卓上押印機及び活字」(東京・山田克興) 銀賞。機械印のオーソリティーが人気のモリコーをワンフレーム作品として。門外漢でも一目で判るが、やはり中々見かけないのは当たり前。

「美濃国 2 箇所の黒野郵便局」(三重・若園泰三) 大銀賞。丸一印収集家の上ではこの黒野郵便局は地元でなくとも注目的。それこれも局名表示のバラエティー揃えが一苦労も、またそれが楽しみ。



「戦前の年賀切手」(宇佐見比呂志)



「北清事変の軍事郵便」(志水正明)



「横浜ロンドン線船内郵便局」(小坂彰宏)

「八王子の消印」(東京・長野行洋) 大銀賞。各消印の最初期、後期の使用データの研究・記載を感想文のタイトルリーフにとのお言葉を頂戴。

「ツェッペリン飛行船航空切手と使用例(ドイツと南米以外の諸国: 1930 ~ 1933)」(東京・立川賢一) 銀賞。ドイツ以外に各国で発行された飛行船航空切手の展示は初めてでは。

「平成から令和へ(主たる皇室行事を中心に)」(栃木・柴田公子) 銀銅賞。皇室関係の行事をワンフレームに展開、絶好のタイミング。

「国体切手・葉書の変遷」(神奈川・高木均) 佳作。地図切手のオーソリティーが毎年テーマを変えてご出品

「ロータリーの重点分野」(千葉・浜名賢一) 銀賞。今年、日本のロータリー 100 周年に合わせてのご出品。目白のミニボックスでは、今年の記念切手の試刷も展示され、話題となった。

オープン・その他

今年は当たり年。力作が目白押し。例年より非郵趣マテリアルの比率が高く、楽しめた。

「オペラ座の怪人」(神奈川・加藤和弘) 大金銀賞。以前の作品よりも、してやったりと思ったが、さらなる進化形。お見事高位受賞。

「相模の歴史」(大阪・須谷伸宏) 金銀賞。今回、時代の区切りの構成で、ますます国技を表した作品。海外での出品に期待したい。

「明治維新」(神奈川・延原敬) 大金銀賞。日本人の誰もが知る歴史を、多くのマテリアルで展開。見応え十分。

「東北の鉄道建設による発展」(宮城・斎享) 金銀賞。鉄ちゃんにはこたえられない作品。郵趣家にも。駅弁包装紙のオンパレードの後に鉄郵印の本格作品との切り替えは意外にも新鮮。

「国勢調査 100 年の軌跡」(広島・井上龍太郎) 銀銅賞。100 年の節目、そして 10 月に今回の国勢調査が実施され実にタイムリー、非郵趣材料が難しいところ。子供の頃、1 回国勢調査の図案は不思議だった。

「棟方志功の世界」(神奈川・池澤克就) 大金銀賞。ベストオープン賞。テーマティック、オープンの達人が切手図案と縁の深い芸術家をアトラクティブに展開。一般参観者にもインパクト。

「野菜とくどもの(日本の歴史に沿って)」(栃木・柴田公子) 銀賞。女性ならではの感性での作品をまとめて、出品いただけることが何より貴重。

「袖が語れば」(神奈川・今井節子) 銀銅賞。タイトルはてっきり「袖・・」かと思ったが、これまた女性の視点のテーマをワンフレームに展開。歌の世界の結びつけは、女性さながら。

「横浜外国人居留地発着書簡」(東京・小林彰) 大銀賞。仏国への愛が満たされた作者は何とタイムハンター。明治の居留地の不動産業を郵趣の世界で具現。外信・国内カバーを丹念に。失礼ながら、その執念深さはヘビ年では。



「東北の鉄道建設による発展」と
WEB セミナーで作品解説をする斎享氏
* 画像提供: 郵趣振興協会

本当に厳しい時代に、ご出品、ご参加、ご企画いただいた各位に感謝。是非とも、フィラニッポン 2021 を成功に。全ての出品者と、関係スタッフに心より感謝。ありがとうございました。

第 11 回郵便史シンポジウム

和田 文明

アメリカでは、郵便史に関するシンポジウムを 2006 年以来 1 年乃至 2 年毎に開催している。このシンポジウムは、郵便史のコレクターであるフィラテリストの他、郵便歴史家、歴史学者、その他の関係者を対象にしたフォーラムである。郵便史シンポジウムでは、フィラテリー、または郵便業務の歴史を世界史のより広い文脈で統合を行い、研究について議論してきた。

これまでの郵便史シンポジウムの開催年月と開催地、テーマは、下表の通りである。第 1 回郵便史シンポジウムは、2006 年 11 月に首都ワシントン DC にあるスミソニアン国立郵便博物館で行われた。テーマは、『What is Postal History』（郵便史とは何か）であった。2 回目以降は、2012 年まで毎年 9 月乃至 10 月あるいは 11 月にワシントン DC のスミソニアン国立郵便博物館、またはペンシルバニア州ベルフォントにある APS(アメリカ郵趣協会)本部で開催されてきた。2014 年からは郵便史シンポジウムの開催は隔年開催に変更され、2016 年 6 月に開催された第 9 回の郵便史シンポジウムは、FIP 国際切手展である NY2016(ニューヨーク)の会期中に開催された。その時のテーマは、『How Postal Treaties Influenced Post Office Reforms』（郵便条約が郵便の改革にどのように影響したか）であった。

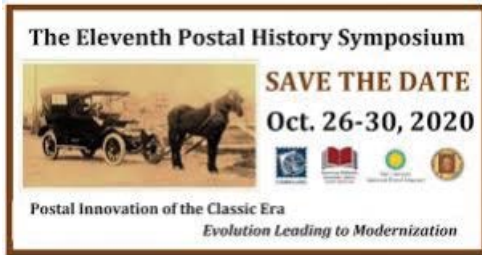


APS(アメリカ郵趣協会)本部 (APS の HP より)

回	年月	会場	テーマ
1	2006 年 11 月	スミソニアン 国立郵便博物館	What is Postal History (郵便史とは何か)
2	2007 年 10 月	APS 本部	Further, Farther, Faster: Transportation Technology and the Mail (より遠く、より速く：輸送テクノロジーと郵便)
3	2008 年 9 月	スミソニアン 国立郵便博物館	When the Mail Goes to War (戦争と郵便)
4	2009 年 10 月	APS 本部	Post Office Reforms (郵便局の変革)
5	2010 年 9 月	スミソニアン 国立郵便博物館	Stamps and the Mail: Imagery, Icons & Identity (切手と郵便：画像、アイコン、アイデンティティ)
6	2011 年 9 月	APS 本部	How Commerce and Industry Shaped the Mails (商業や産業はアメリカの郵便をどのように形成してきたか)
7	2012 年 11 月	APS 本部	Blue & Gray: Mail and the Civil War (北軍と南軍：郵便と南北戦争)
8	2014 年 9 月	APS 本部	Development of Transoceanic Air Mail Service (大洋横断の航空郵便発達史)
9	2016 年 6 月	NY 2016 ニューヨーク	How Postal Treaties Influenced Post Office Reforms (郵便条約が郵便改革にどのように影響したか)
10	2018 年 11 月	スミソニアン 国立郵便博物館	WWI and its Immediate Aftermath (第一次世界大戦とその直後の余波)
11	2020 年 10 月	ヴァーチャ シンポジウム	Postal Innovation of the Classic Era - Evolution Leading to Modernization (古典時代の郵便革新 - 近代化につながる進化)

郵便史シンポジウムの開催年月と開催地、テーマ APS の HP より作成

10月30日31日の2日間に American Philatelic Society(アメリカ郵趣協会)本部(ペンシルバニア州ベルフォント)で開催が予定されていた第11回郵便史シンポジウムは、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、急遽10月26日から30日まで5日間、オンラインベースで開催されることとなった。今回のバーチャルの郵便史シンポジウムは事前の参加登録は必要と思われるものの、だれでも参加可能で、下図のように American Philatelic Research Library(APRL)、American Philatelic Society (APS)、およびスミソニアン国立郵便博物館の3つの団体に加え、U.S. Philatelic Classics Society も参加している。



第11回郵便史シンポジウム (APSのHPより)



第11回郵便史シンポジウム共催4団体

第11回郵便史シンポジウムのテーマは、『Postal Innovation of the Classic Era - Evolution Leading to Modernization』(古き時代の郵便革新-近代化につながる進化)プレゼンテーションである。2020年5月15日を締め切りとして、今回のテーマに沿った研究論文の募集が行われた。研究論文の提出は9月1日まで、承認された研究論文は、書誌資料、引用、画像タイトルを含む3000~4000語の論文になる必要がある。

今回のシンポジウムのテーマである『Postal Innovation of the Classic Era - Evolution Leading to Modernization』(古き時代の郵便革新-近代化につながる進化)の意義について、郵便史シンポジウムでは、『米国で切手発行が始まった日は、アメリカの郵便の歴史における郵便革新の最大の契機の一つであった。郵便に関する費用を受取人が負担したスタンプレス郵便の時代から、民間郵便キャリアおよび仮郵便局によって運ばれる前払いの手紙の時代まで、これは切手の作成、発行、および適用を必要とする普遍的な前払いの最終システムに至り、これはアメリカの郵便の歴史の時代は、形式化された現代の郵便システムの開発と成長につながる多くの重要な革新者と革新で満ちていた。米国と並んで、他の多くの国々も、郵便の歴史の進化と進歩において、現代への郵便の発展に大きく貢献し、発展させたクリエイターやアイデアとともに、同様に重要な役割を果たしてきた』とされている。

今回の郵便史のシンポジウムのテーマである『Postal Innovation of the Classic Era - Evolution Leading to Modernization』(古き時代の郵便革新-近代化につながる進化)から、研究論文のテーマが6つ例示されている。

- ・配信モードと方法
- ・初期の機械化
- ・郵便サービスの開発
- ・郵便ルート
- ・初期の切手製造の種類
- ・郵便発明と発明者

2020 年 8 月時点で選考されたシンポジウムのプレゼンテーションのテーマと講演者は下表の通りで、全部で 14 のテーマが予定されているが、さらに増加することも予想される。バーチャルシンポジウムとして、パソコンやタブレットを用いて自宅からこれらプレゼンテーションに参加することができる。

Scott Trepel (基調講演)	Postal Innovation of the Classic Era クラシック時代の郵便革新
Diane De Blois and Robert Dalton Harris	The "Special" Postalization of Locale 「特別な」ロケールの郵送化
William DeWitt	Evolution of Intercity Mail Transportation Modes 1840-1880: Insights from Postmaster General Annual Reports 都市間郵便輸送モードの進化 1840-1880：郵政局長の年次報告書からの洞察
Gordon Eubanks	Postal History of the Issue of 1847 1847 年の郵便の歴史
Anthony Gallagher	The British Colonial Post Office Controversy: A Letter from the American Revolution イギリス植民地郵便局論争：アメリカ革命（独立戦争）からの手紙
Fred Gregory	Government Post in Hawaii: Creation and Reform – 1849 - 1859 ハワイの政府ポスト：創造と改革 – 1849 – 1859
Patricia Kaufmann	Confederate States of America: Postal Innovation During the Civil War アメリカ連合国：南北戦争中の郵便改革
Yamil Kouri	U.S. Post Riders in Spanish West Florida, 1801-1810 スペイン領西フロリダのアメリカのポストライダー、1801-1810
Ken Lawrence	Mails of Navassa Island, the Original Overseas United States Possession, 1876-1898 アメリカ合衆国の最初の海外の領有地であるナヴァッサ島の郵便、1876-1898
Jim Milgram	Early Railroads Carry the Mail 郵便を運ぶ初期の鉄道
Tim O'Connor	Rise of the American Post 1639-1776 アメリカの郵便の台頭 1639-1776
William Schultz	Toll Gates & Toll Houses: Assistance or Hindrance for Mail Delivery Modes 料金所ゲートと料金所住宅：郵便配信モードの援助または支障
Mark Schwartz	The New York Postmaster Provisional 暫定ニューヨーク・ポストマスター
Steve Walske	Blazing Trails for the Westward Expansion 西部への拡張のためのブレイジング・トレイル

選考された第 11 回郵便史シンポジウムのプレゼンテーション (2020 年 8 月 1 日現在)
ASP の HP より作成

韓国のバーチャルスタンプショー

「2020 大韓民国郵票展示会」 参観記

ソン フィチャン

ソンさんは早稲田大学に留学している韓国の大学生で、外国切手研究会の例会参加者です。今回、韓国でオンライン切手展が開催されたと聞き、参観されたソンさんに、寄稿を依頼しました。ご寄稿は日本語で頂きましたので、そのまま掲載しています。(編集部)

概要

2020年11月18日から「2020 大韓民国郵票展示会」が開始された。同年12月24日まで開催予定である。今年はコロナの影響で初のVR機能が加わったオンライン開催となった。(図1~3)



図3 「2020 大韓民国郵票展示会」のホームページ
<https://stampex.kr>

展示される作品はこども(小学生)郵票展示会の4作品を含め総140作品416フレームである。

これらの作品は8月から9月にかけて韓国郵趣聯合の各支部が開いたオンライン切手展を通り、その中から申し込まれた作品で構成されている。

内訳は表の通り。

部門	作品	フレーム
伝統郵趣	12	44
郵便史	4	20
テーマチック	24	112
現代郵趣	19	86
青少年郵趣	20	32
こども作品	4	4



図1
「2020 大韓民国郵票展示会」の英文ロゴ



図2 「2020 大韓民国郵票展示会」のポスター

VR の展示会場 特別賞

各作品はホームページの作品展示館でリーフ毎に見ることができる。残念ながら、今のところタイトルリーフはアップロードされていない作品も見える。作品のうち数品は優秀作として、VR 展示室に改めて展示されている。会場を見てみよう。

図 4 がその入口である。中央の池に橋が架かり、周りは韓国伝統建築様式の通路で囲まれている。通路は特別展示館となっていて、3つのパネル展示を見ることができる。「希望の郵便箱キャンペーン」「切手で見える伝染病克服の物語」「デジタルニューディール広報館」である。



図 4 「2020 大韓民国郵票展示会」の入口

橋を渡ると展示会場の門の前である。門を開けて中に入ると優秀作品展示館である (図 5)。左からこども受賞作、科学技術情報通信部長官賞受賞作、郵政事業本部長賞受賞作、韓国郵便事業振興院長賞受賞作である。現実の展示室のようにフレーム単位で見ることができる。作品によって、解像度により文字が読めないこともあるが、作品展示館ではっきり見ることができる。



図 5 「2020 大韓民国郵票展示会」の 1 階

2階に上ると国務総理賞を受賞した光州郵趣会のナム・サン Chol 氏の「大航海の足跡」を見ることができる(図6)。展示室の名は名誉の殿堂となっている。また、彼のインタビュー動画も第1フレームの左隣に挿入されていて話を聞くことができる。



図6 「2020大韓民国郵票展示会」の2階

イベント

予定されていた「郵趣人集いの日」行事は中止され、現代郵趣セミナーは延期された。しかし、記念はがき・記念切手の販売や記念印は予定通り運営される。あわせて4種類の記念はがきと記念印が用意されている。各販売期間は1週間で初日だけソウル中央郵便局内で、他日は韓国郵趣聯合事務室からもとめることができる。

また、ホームページでは出席、クイズなど様々な景品がもらえるイベントや切手デザイナーの直筆サイン入りの切手ブックレットがもらえるイベントなどが開催されている。

私の感想

私は朝鮮の消印を集めているので、オ・ピョンユン氏の「京城(ソウル)中央郵便局史(Ⅰ)1884～1922」と同じく「京城(ソウル)中央郵便局史(Ⅱ)1922～1949」を一番興味深く見させていただいた。前車は今回の展示会の唯一の大金受賞作で、後者は同じく唯一の金賞受賞作である。

二つの作品ではあるが、構成上一つの作品のように見える。在朝鮮日本郵便局の仁川郵便局京城出張所の設立前から独立後のソウル中央郵便局に至るまで使われた様々な消印を多彩なエンタィヤ資料とともに展開している。日付印の形の提示、郵便物の物量、逓送経路などをも示していて大変勉強になった。私はまだ初心者で資料もまだ全然足りないが、一つずつ集めていき、彼の作品のようなものを作りたいと思った。

「2020 大韓民国郵票展覧会」展示作品一覧（筆者和訳）

出品部門	作品名	F	出品者	メダル
伝統郵趣	韓国の慈善付加金郵票	5	キム・ホンシク	金銀
伝統郵趣	航空書簡	5	イ・ドンシク	金銀
伝統郵趣	大韓民国付加金郵票	5	イ・ジェソブ	金銀
伝統郵趣	第3次グラビア印刷普通	5	パク・ユングアン	金銀
伝統郵趣	キャンペーン普通郵票	5	アン・ヨンス	大銀
伝統郵趣	第4次グラビア印刷普通郵票	5	シム・ヨンス	大銀
伝統郵趣	年賀葉書(1974～2007)	5	クォン・ヒグアン	銀
郵便史	京城(ソウル)中央郵便局史(Ⅰ)1884～1922	5	オ・ピョンユン	大金
郵便史	京城(ソウル)中央郵便局史(Ⅱ)1922～1949	5	オ・ピョンユン	金
郵便史	ムクゲ型郵便日付印の多様性の考察	5	ソン・イルホ	大金銀
郵便史	観光郵便日付印考察(1958～2018)	5	チェ・テユン	金銀
郵便葉書類	韓国の広告郵便葉書	5	キム・タクジュン	銀
郵便葉書類	往復葉書(1957～1988)	5	チャン・セヨン	大金銀
郵便葉書類	韓国暫用郵便葉書	5	キム・ジンス	大銀
郵便葉書類	5ウォン料金完納葉書	5	イム・ホンムン	大銀
テーマチック	大航海の足跡	5	ナム・サンチョル	大金銀
テーマチック	75億人類の食糧産業	5	パク・グァンジュン	金銀
テーマチック	蒼空を向かった人類の夢	5	イム・ホンムン	大銀
テーマチック	鳥の生態	5	ノ・シンウン	大銀
テーマチック	オペラ	5	ミン・ヒョング	大銀
テーマチック	福音書	5	チョ・デシク	銀
テーマチック	世俗生活での仏教文化の理解	5	キム・ヨンギ	銀
テーマチック	スキイング(スキーにのること)	5	イ・ヒョン	銀
テーマチック	新約聖書	5	ジン・オクス	銀銅
テーマチック	イエスの十字架受難と復活	3	カン・テヒョ	銀銅
テーマチック	水上スポーツ	5	ペ・ソンハン	銀銅
テーマチック	韓半島の動植物	5	グォン・テウォン	銀銅
テーマチック	栄光のソウル・オリンピック	5	イム・チェグン	銅
テーマチック	ベッター犬	4	オ・ソンミ	銅
テーマチック	雪と氷の祭り、平昌冬季オリンピック	5	シン・ジェドゥ	銅
テーマチック	神が下さったペットの犬の世界	5	ヨン・ジェチョル	銅
テーマチック	伝染病、医学歴史の主人公	5	イエ・ピョンイル	銅
ワンフレーション(伝統)	行政中心複合都市(普通郵票 220ウォン券)	1	イ・ギユイン	優秀
ワンフレーション(伝統)	米軍政庁普通 50ウォン 瞻星台	1	キム・ハンギ	優秀
ワンフレーション(伝統)	風の音ぼんりの、COVID対応の8月	1	ソン・ギョク	準優秀
ワンフレーション(伝統)	190ウォンムクゲ	1	ヤン・スンウ	準優秀
ワンフレーション(伝統)	大韓体育会創立 100周年	1	ハン・ジェヒョク	奨励
ワンフレーション(郵便葉書)	「解放葉書」の印刷版区分	1	キム・ハンギ	奨励
ワンフレーション(郵便葉書)	「菊」封緘葉書	1	イ・ジェソブ	優秀
ワンフレーション(テーマチック)	コーヒー	1	キ・ヒョング	準優秀
ワンフレーション(テーマチック)	氷上のチェス、カーリング	1	キム・ジョンビル	準優秀
ワンフレーション(テーマチック)	冬季オリンピック、氷上のそり物語(ボブスレー、リュージュ)	1	ウォン・ホムン	準優秀
ワンフレーション(テーマチック)	鉄道の発達と理解	1	チェ・ユンソク	準優秀
ワンフレーション(テーマチック)	韓民族と一緒にだった私たちの音	1	チャン・ジンジョン	準優秀
ワンフレーション(テーマチック)	韓国の書院	1	チェ・テユン	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	十二干支物語	1	イ・ボンギ	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	「身土不二」を探して	1	ホ・グンボム	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	世界記録遺産ハングル	1	ホ・グンボム	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	絶滅危惧種の野生動物物	1	キム・ジョンミ	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	地図で見る我が国	1	イ・ヒョソ	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	歴代王国	1	イ・ヒョジン	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	動物が与える有益	1	キム・ユンソン	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	独立に向けて	1	パク・チャヨン	奨励
ワンフレーション(テーマチック)	有形文化財	1	パク・チャヨン	奨励

出品部門	作品名	F	出品者	メダル
ワンフレーム(テーマ)	韓国の十二干支	1	チョン・ミョンジャ	奨励
ワンフレーム(テーマ)	冬季オリンピックを輝かせた人物	1	キム・ジョンリム	奨励
ワンフレーム(テーマ)	冬季オリンピック、アルパインスキー	1	シン・ヒョンイク	奨励
ワンフレーム(テーマ)	冬季オリンピックの花、スピードスケート	1	シン・ジェドゥ	奨励
ワンフレーム(テーマ)	歴代冬季オリンピックのエンブレム	1	シム・ジェフン	奨励
ワンフレーム(テーマ)	雪上のマラソンと射撃の冬季オリンピック、バイアスロン	1	シン・ヨンジェ	奨励
ワンフレーム(テーマ)	スキージャンプ	1	グォン・オヒョン	奨励
ワンフレーム(テーマ)	雪上のマラソン、カントリースキー	1	オ・フンソン	奨励
ワンフレーム(テーマ)	フィギュアスケート	1	シム・ジェフン	奨励
ワンフレーム(マシナリイ)	日本アニメーションの現住所と展望	1	アン・ヒョン	奨励
郵趣文献	韓国郵趣用語解説集		ウン・ジョンホ	金銀
郵趣文献	郵趣春秋第13号		韓国郵便葉書会	金銀
郵趣文献	郵票に込められたゲーテの物語 (Goethe story in Briefmarken)		シン・チャシク	金銀
郵趣文献	郵票文化178号		釜山郵趣会	金銀
郵趣文献	Yeti ネパールの文化遺跡を巡礼する		イ・グンフ	大銀
郵趣文献	Yeti ネパールの歴史的人物に会う		イ・グンフ	大銀
郵趣文献	情郵趣楽		ソン・イルホ	大銀
郵趣文献	ヨ・ヘリョンの郵票旅行		ヨ・ヘリョン	銀
現代郵趣	基本郵便料金 300ウォン時期発行普通郵便	5	ミン・ギョンオク	金銀
現代郵趣	基本郵便料金 170ウォン後期グラビア印刷普通郵便	5	ジョン・ギョングウォン	金銀
現代郵趣	基本料 170ウォン時期普通郵便	5	アン・ヨンス	金銀
現代郵趣	基本郵便料金 300ウォン時期普通郵便	5	キム・ジョンソ	金銀
現代郵趣	2018PYEONGCHANG	5	ハン・ウンソク	金銀
現代郵趣	国内通常基本郵便料金 220ウォン時期普通郵便	5	ヨン・ジェチョル	金銀
現代郵趣	190ウォン時期普通郵便	5	ペ・ソプ	銀
現代郵趣	基本郵便料金 330ウォン時期一般	5	ブ・ヨンジョン	銀
現代郵趣	ソウル・オリンピック	5	ペ・アヒョン	銀銅
現代郵趣	基本料金 270ウォン時期普通	4	チャン・ウォンミ	銀銅
現代郵趣	基本料金 190ウォン時期普通郵便	5	キム・ヒョンオク	銀銅
現代郵趣	基本料 270ウォン時期 360ウォンホラガイ普通郵便	3	キム・ヨンスク	大銀
現代郵趣	基本料 270ウォン時期 270ウォンシール式普通郵便	3	キム・ヨンスク	大銀
現代郵趣	170ウォン時期普通郵便	5	キム・ジンス	大銀
現代郵趣	基本郵便料金 330ウォン時期発行普通郵便	3	ミン・ギョングオク	大銀
現代郵趣	基本郵便料金 220ウォン時期普通郵便	5	アン・チャンホ	大銀
現代郵趣	250ウォン時期グラビア普通郵便	5	イ・ギョングウォン	大銀
現代郵趣	220ウォン時期普通郵便	5	チョ・ソンヒ	大銀
現代郵趣	基本料 270ウォン時期、1,770ウォン普通郵便	3	キム・ヨングジャク	大銀
現代郵趣	基本料金 380ウォン時期一般郵便	5	シン・ジョンミン	大銀
現代郵趣	基本料金 300ウォン時期グラビア	5	キム・ジェチョル	大銀
現代郵趣	90ウォン券シジュウカラ	3	コ・ヨングミン	大銀
現代郵趣	50ウォン券フクロウ	3	キム・ヒョリ	大銀
現代郵趣	顧客に合わせた郵便葉書	5	ジョン・ミギョン	銅
絵葉書	自然と歴史の故郷ナイアガラ	5	ユ・ヨングサン	大金銀
観光郵便日付印	観光郵便日付印に込められた倍達 (ペダル) 民族の歴史	5	ジョン・テシク	準優秀
観光郵便日付印	韓国の橋梁	3	ホ・ソング	準優秀
観光郵便日付印	観光通信日付印をつうじた美しい旅行	5	チェ・ユンソク	奨励
観光郵便日付印	隆盛な仏教文化遺産	3	コ・スングジャ	奨励
オープン郵趣	忠武公李舜臣	4	シン・ジョンシク	準優秀
オープン郵趣	韓国の古建築 (宮闕)	3	シン・ジョンシク	準優秀
オープン郵趣	造形物物語	5	イ・ヨンス	準郵趣
オープン郵趣	世界遺産報恩谷離山法住寺	3	ジョン・ユンベ	奨励
オープン郵趣	美しい金蔚慶郵票物語	5	アン・マンギ	入選

「韓国郵票」「青少年」「子ども」部門は掲載を割愛しました。

ジャパンスタンプオークションニアレポート

鯛 道治

2020年9月13日開催の第113回フロアセールのレポートです。今回のフロアのロット数は2560点なので、1日だけのセールでしたが、2000ロットを超えるとワンデイでのフロアはちょっとキツイかなと改めて感じた次第です。今後の検討課題と致しましょう。

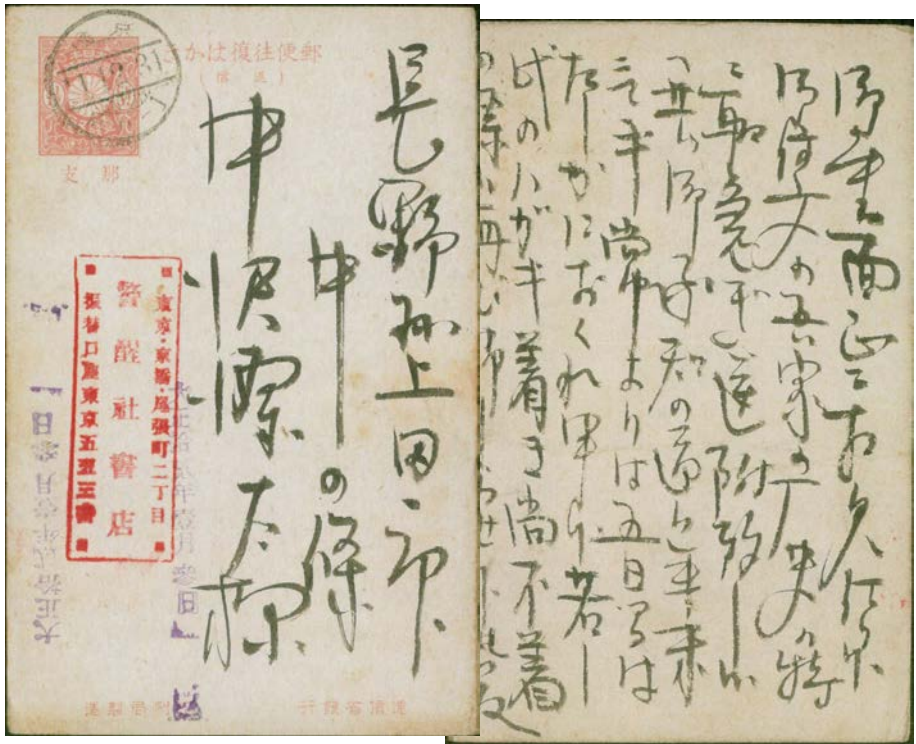
数を絞って書いて見ます。落ちた値段でなく、オークション誌には書いていないけれど、私だけが持っている裏ネタを話せる物を選びました。全部が昔話ですが今でも通用する新鮮な情報を含んでいると思います。

Lot942 支那字入分銅葉書返信部 “支那左書”長野宛 櫛型京橋 11.12.31

最低値 100,000 応札 4 スタート 280,000 落札値 340,000

ある郵趣雑誌に一つの記事が出たのです。普通の人は何それ?!!・・・みたいに気にするかも知れませんが、わたくし的にはオークションでの結果に影響が有るとは毛ほども思わないので、どうという事でもなかったのです。セールの直前の「郵趣研究」にも、このマテリアルが取り上げられていました。所有者様の思惑はさて置き、記事の筆者が那須伊允氏なので簡潔明瞭で的を得た解説だと思えます。

氏が認識されている事実関係は完全に正しいのですが、洩れている秘密の情報が有りました。【支那・左書】の返信部の使用例はマーケットに出るのは、確かに初めてだと思います。私もその希少



性は十二分に認識していますが、ご一任の最低値を安い目の10万円に設定したのは、重大な「買わない理由」が有ったからです。宛先が国内なのです。厳しい人は忌避します。

中国発の往復の内地宛を受け取って、差出人に返信なら、抹消印は国内の櫛型ですが、宛先は当然ながら中国になるはずですが、差出し・返信共に国内ということは、他に何らかの事情が無ければ、正規使用でなく内地での誤用の見逃し通用になるのです。京橋→長野でなく、京橋→上海なら物は完璧で、「買わない理由」が見つからない超一級の珍品です。

ご出品者が意識されていた、11年12月31日の在支局ラストデーはこのアイテムでは、少なくともプラスの評価にはなりません。差し出されたこの日付に関して、推測で納得できるストーリーを作るのは無理でしょう。この葉書とすれば往復の特性として宛先が中国かどうか、最重要のファクターだと思います。

結果的には場でもそれなりに競って、結局メールに落ちたのですが、予想よりも高くなりました。使われ方に厳しく拘るのでなく、希少度を重視した人が少なからずいたのです。それ以前に受けていた、メールビッドを見て嬉しくなった事が有りました。私だけの指標で「麻葉探知犬」ではないのですが、「珍品察知金糸雀」が啼いたのです。

この人は知人ぞ知る、隠れコレクターで表には出て来ません。漏れ聞く所では、郵便史のマテリアルでユニークな素晴らしい物を沢山お持ちです。樺太の鉄郵の実通とか、河西務の欧文とか、表の情報には一切出ていないけれど、あったら良いなものまで・・・をたくさん・・・勿論本物を持っている人なのです。

この人のビッドは弊社のオークションでは普段は全く目立ちません。落し切る入札はほんの数える位です。高値で入れて落としたのは、大正大礼の臨時速達ぐらいかな。あとは、ご来店ポイント押しが狙いのビッドなので、良い物はまず絶対に落ちないのです。高額品にビッドして来ても、珍品だと知ってるよ、でも俺はもっと良い物を持ってるよ、という私へのちょっと嫌味なメッセージかも知れません。物が珍品で、だけど自分は持っていることを囁ってくれるカナリヤさんだと思っています。だから左書きへのビッドは、いつも通りの最低値の10万だったのです。

この人の価値感なのでしょうか、不落を避ける為のビッドで本気で落とす気は無かったと読みました。この事実からして、左書きの返信部の使用済は、多分現存1点では無かったのかな？ちょっと深読み過ぎるかもしれませんが。ここまで書いたのはほんのイントロで、本編はこれからです。

私のビジネスに於いてのターニングポイントが、1985年3月19日のPA.フィラデルフィア・ウォールナット街のEarl P.L. ApfelbaumのJAPAN Specialized セールでした。事前の連絡も無かったのですが、現地で初めて出会ったのが在ロンドンの北園君です。お互いそれ以前から存在は知っていて、間接的なバトルはイギリスを主にした欧州で際限なくやっていたのですが、言葉を交わしたのはこのセールが初めてでした。

直接会って、建設的なディールの役割を分担する事に合意するのに時間は掛かりません。経済上の損得を判断すれば必然の流れです。2人共にこの瞬間に、ビジネスのやり方ががらりと変わったのです。この数年前から、私は実務で経験を積み、見様見真似の独りよがりなやり方を卒業して、結構上手に物を買えるようにはなっていたのです。海外での人脈も自然に出来ていました。ちょっと振り向いて情報を探るだけで、湧いて来るが如くにふんだんに日本切手のアキュムレーションが有ったという意味で、時代が良かったのかも知れません。今でも印象強く覚えている海外のオークションでの買い物は、このセールの数年前から数年後に集中しているのです。買い方としては、1985年以前の方は自分で開拓したエージェントを通じてのビッドでした。以降は基本的に北園君経由か、ビッグセールの際には私自身が欧米のフロアに出向いたのです。毎年の如く、デンマーク経由でスウェーデンのマルメ行きというルートが有ったのですが、コペンの駅前のチボリ公園が開園する初春と、閉園になる晩秋が年2回の欧州大陸でのオークション行脚の時期と一致していました。時間調整で何度か入園したのです。DBZ(ドイツの郵趣情報誌)で調べて、動くルートを決めていたのです。

記事を書く段になって思い出しても後先の区別が明瞭です。北園君が居るか居ないかで判ります。

そして当然ながら結果も自ずと違って来たのです。費用はそれなりに掛かるけれど、ローリスクでハイリターンの手法が確立できました。海外のオークションでは自分が場に出て下見するか、そうでなくても、それと同様の情報を得られれば、アドバンテージは強烈です。仮に負けても納得ですし、ビジネススペースで見れば負けた記憶は有りません。元から、踏めなくせに落し切るノンリミットのなビッドをするコレクターには勝てませんが、売値を逆算する転売前提のプロやセミプロは怖くは有りません。目を瞑って叩き潰しました。尤も今は是非とも買いたいという意欲も失せているし、別のスタイルでのビジネスで手一杯なのです。他の人が海外のオークションで買って、弊社に出品してくれればそれで良い、のスタンスです。遮二無二競って落とすより、まめで、達者なブローカーさんがリスクを被ってくれるのを高みの見物で待てば良いのです。

チューリッヒを主戦場にして、ハンブルグやロンドン等で毎回、どこでも、私とガンガン競っていた、在欧の郵便人でも、ジュリアン・クライブもコン・ウエンスンもルドルフ・シャピラも最早居ず、ホルカムにゴールドスミス、在スイスの知日派コレクターの三菱のモーザさん、ロッテのブラックさん、チバガイギーのグラッサーさん達も皆旅立ちました。彼らのすぐ傍らにいて、連合葉書6銭を掘り出した、アルバート・クンズさんの消息はその後全く聞こえてこないのです。35年前と同じ立ち位置にいるのは、偉くなったアイホン君だけでしょう。私が最初に彼に出会ったのは、二十歳代前半の日本語学校の学生だった頃でした。彼の日本のエンタのルートとレートに対する検証能力は世界一です。アクセスキーを持っていて、 SHIPPING リストを自由自在に見られるのが強みです。カタヤマ・ミナクチ・おまけにイシカワを付けても彼の情報処理能力には敵いません。

本題に戻りましょう。ターニングポイントの少し前に、素晴らしい葉書のコレクションが売りに出たのです。DE NEDERLANDSCHE POSTZEGELVEILING BV. 和蘭国郵票競売株式会社、当時はアムステルダムに有り、今は場所を移っています。大金持ちのコレクターが作った会社だと聞きました。35年経っても、カタログを見た時の衝撃をまだ覚えています。世界中のハイレベルの葉書のコレクションの一部としての JAPAN のパートでした。最上級の情報に独占して接することができても、当時は今と違って金も無いし、それ以上に知識と勇気が無かったのです。直感で物の良し悪しは判ります。でも良い物が多すぎたのです。国内葉書は記憶にないの、紅枠～丸菊は元から無かったのかも知れません。兎も角、切手加貼の外信便が凄かったのです。

かなり絞ってビッドしました。はっきり覚えている落札品だけでも、小判封皮にU小判3種貼、20mmの書留、支那字桜連合復の4銭加貼返信未使用付着実通便、支那字菊と同丸菊封緘の外信便、富士連合8銭往復使用済、関東庁濁点楠公往復未使用、まだまだ結構買った覚えが有るのです。ここらは1点で写真が出ているのでビッドは値段だけが問題です。それ以外のロットはどうだったのかな。自信が無いのでノービッドだったかも知れないし、少なくともブラインドで落し切る値段は出してないでしょう。最早知る由も有りません。ほんの数年後ならば喜び勇んで飛んで行って全部買ったと思います。

一番インパクトが有ったのが、支那字入分銅往復の切手加貼の外信便返信未使用付着です。オークション誌にはっきり書いて有りました。【支那・左書】。割と安く落ちた記憶が有るのです。すぐオークションで売ったのかな。返信部の支那の字の上に切手が貼って有ったのです。水口正春氏に返信部も左書を問われて、無理やり剥がしてその事実を確かめました。物は勿論日本の何方かがお持ちだと思います。わたくし的には、往信部の完璧な使用済も有る事をこの時から知っていたのです。

北園君と知り合ってから話をしたら、何故か彼もこのセールに出席していたのです。大きいロットを買ったのは彼でしょう。単独出品のひねり物は当時でも私の方が遙かに評価は高かったはずですが。そしてもう一人の出席者が、アンドレ・ローラン氏、日本の葉書が目的でなく、外国のパート、旧韓国の連合葉書4CHの◎FUSANを6点、@4万円位で買ったと聞きました。

1985年の前と後、一杯書けるネタを持っています。当時はそれが当たり前な程、血が沸くセールが次々に行われていたのです。ローラン氏とはその後の一度の電話を除いては、全く接点が無いのですが、北園君とは30年を越えても途切れることなく、パートナーとして共通の時を過ごして来たのです。お互い良い思いができました。溢れ出たお宝の中で贅沢な時期を楽しめたのです。あの時のような、海外で日本切手を挟んでの、数百万円の遣り取りが当たり前の海外のブローカー連中との、事前調整の言う名の合理的な談合を含めての、斬った張ったのギリギリの勝負はもうやりたくてもできません。ふと遠くを見るような懐かしい気分に浸れた【支那・左書】だったのです。

Lot1286 旧毛1½ 銭貼絵葉神戸宛 紫櫛型 HAWAI - MARU 17.9.15 SEA POST

最低値 15,000 応札 6 スタート 160,000 落札値 370,000

Lot2089 旧小4 銭5 枚貼書留ハワイ宛 KB2 周防室木村新港 明治21年5月20日出

最低値 100,000 応札 3 スタート 260,000 落札値 260,000

ハワイ繋がりのエンタが2点です。そして最後にもう一点、思い出した珍品カバーを書きましょう。船内印の方は、かなりエゲツナイ出品をする人からの物でした。全部最低値付き、勿論それは良いのですが、兎も角、昔に夢見た評価なのです。オークションは売れてこそその口銭商売なので、売れない物は遠慮なくカットです。私の基準はブレないので妥協はしませんし、事前交渉の余地は有りません。扱いにご不満なら、どうぞ他所へ行ってくださいがスタンスです。でも弊社以上の条件で迎えてくれる処分の手段は絶対に居ないでしょう。

だから掲載率2割でも、この人はここ数年は皆勤です。もしかして間違えたら売れるかなと思う物まで拾い上げても、平均して200点の出品で30~40点しか載せることはできません。厳選してもその結果としての落札率は5~6割でしょうが、オークションは面白い物で、ラッキーパンチがさく裂して時たま打つ飛ぶ物もあるのです。終わった後の結果こそが正解です。

今回の最低値ですが、HAWAI - MARU SEA POSTが15,000円なら、これは当然OKです。万々歳ですが、取って値上げは致しません。でも一緒に CHIYO-MARU、TENYO-MARU、SHINYO-MARU も同じ値段で出して来ていたのですが、後の三船は載せません。

HAWAI - MARU はメールの1番札が360,000、2番札が155,000なので、スタートが16万、場で手が挙がって37万のハンマーです。過去の弊社の取引実績が15万ぐらだったそうです。



Lot 1286



C 欄 SEA POST の例外使用というよりも、非 NYK でのタコマ線故の存在数の少なさが正に評価されたという事でしょう。皆様よくご存じなので、オークションの記事には余計なキャプションは要らないです。競りの機会を提供するだけで、見る人が見て値段を付けてくれるので、それがオークションの醍醐味でも有るのです。超欲張りの出品者さん、この結果を見ても今後の行動パターンは変わらないでしょう。それを承知で、こちらも付かず離れずのお付き合いをさせていただきます。

旧小 4 銭貼の方は、見るからに綺麗ではないのです。メールの札を見て随分と良い値段だったので、思わず料金表を調べました。ハワイ宛だから、もしかしたらサンドウィッチ時代? UPU 未加入かも?



直ぐに分かりました。ハワイアンキングダムは1882年1月1日に独立国としてUPUに加盟しています。アメリカ宛の5銭ではなくUPU加盟国宛の10銭+書留10銭でしょう。特に紛れは無いのです。このカバーは料金とかでなく、4銭の多数1色貼、◎村入2行印、プラスしての宛先が珍しいハワイというのがちょっとしたプレミアだったのかな。もしかして料金が違っていることを見落していたのなら、此畜生と思うのですがそうでは無かったようなのです。私以上に有難い評価をしてくれる人が居てくれるのです。

でも別件のカバーでは疑問が残りました。ハワイ宛で思い出したアイテムが有ったのです。記憶のモヤモヤを解消するために、必死でバックナンバーを探しました。弊社のオークションでの最高値を記録した中日コンビネーションカバーなのです。2011年2月27日開催の67回フロアセール、Lot2812です。最低値120万が900万で落ちました。

競ったのはアメリカの超大物コレクター、フォーブスに名前が出ています。この人がスイスのエージェントを通して、在東京の代理人に数字を預けてテレフォンビッドしたのです。スタートは200万台だったかな。もう一人がフランス在住の中国人、別項で書いた一人、コン・ウエンスンの息子です。御尊父は私のヨーロッパのオークションでの友

2812 中日コンビネーションカバー-ハワイ宛 裏に旧
中国大竜3C貼 青北京+青◎IGOF CUSTO-
M PEKING JAN.22.84→◎CUSTOMS SHANG-
HAI 表に旧小5銭貼 クロスロード+20%
SHANGHAI 20.FEB.1884→星入YOKOHAMA
1.MAR.1884 開封 切手と封に少難 日専評価
400万円 Royal Philatelic Society 鑑定書付 120万



第67回フロアセール
2011年2月

人かつ、最後の最後まで邪魔なライバルだったのですが、ご子息は日本切手でのビジネスは諦めて、中国のクラシックのコレクターのドクターです。こちらもテレフォンビッドでした。

二人で競って、どこまで行くの？でしたけど、本来は強いはずのアメリカ人が止めました。最初から、値段を切って人を使ったビッドだから、予想を超えて競られれば詰めの時点で最後に踏ん張り切れないのです。推測ですが切りの良い数字で 10 万ドルか 1000 万円、余裕で落ちると踏んでいたのでしょう。彼にすればオークションのビッドでの、最初で最後の敗北かも知れません。私が何度も目の当たりにした、香港やチューリッヒでの彼のエージェントの買いつくりを見れば分かります。そして落札者さんはリクエストを入れて来たのです。郵送せずに香港に持って来いです。丁度ついでが有ったので、Inter Asia のジェフリー・シュナイダーのオフィスに届けましたよ。

さて、このコンピネーションカバーの料金ですが、大竜 3C は国内便料金として OK でしょう。1884 年のハワイ宛なのですよ。宛先の括りとするれば、アメリカ・カナダ・上海（香港）以外の UPU 加盟国宛 10 銭が適正だと思うのです。なぜ 5 銭で良いのでしょうか。見逃しなのか、何か別の理由が有るのかちょっと気になるところです。10 年間意識していた訳でなく、むしろ当初はアメリカと同一料金だと思い込んでいたのですが、真面目に見直すとうどう見ても UPU 料金が必要だと思えます。知っている人教えてください。

東京下見会の会場で適任者を見つけました。片山七三雄さんです。データを渡したのです。確定した返事はまだ来ていません。因みに送ルートは桑港経由でなくダイレクトのハワイです。もしかすれば直行の低額料金とかも有るのかも。明治の外国郵便料金表を見ると、米国経由（高い）とダイレクト（安い）で料金が違う場合が有るようです。でも今までにははっきりと書かれた記事を見た覚えが有りません。アイホン君に聞けば判るかも知れません。機会が有ればやって見ましょうか。

Lot1569 竜 100 文、500 文貼桑名宛 □東京検査済 創業時の料金

最低値 600,000 応札 2 スタート 600,000 落札値 1,250,000

物は見たままの物なのです。創業時の距離別での東京→桑名、500 文貼の 600 文料金、率直なカバーです。不落は嫌なので、絶対に売れて欲しい値段として 60 万で出したのです。コレクターご本人がご健在ならこの値段は有り得ません。それ以上に私ならばのイキサツが有ったカバーなのです。

発端は 1986 年 1 月の Harmers of London セールでした。菊の 20 銭偽物貼、ウッドワード宛カバーが出たのです。今はアメリカ西海岸に戻った、クリス・ハーマーのオークションで、事務所整理をした際にハーマー家のゴミの中から出て来たウッドワードの菊の偽物の 20 銭のロットの一部です。因みに老舗のロンドンハーマーは、クリスが去ったのち、イタリア人のジオこと、ジャンジャコモ・オーランディーニに経営権が移りましたが、最早欠片も残っていません。

時が私に味方してくれたというか、的確に踏めるライバルは皆無でした。菊の偽物は天野先生がお持ちでなかったで、日専（新日本切手カタログ）にも真っ当な評価が出ていなかった時だったのです。私は結構良い値段でビッドしたのですが、文字通り一桁安く落ちました。オンピースと未使用もそうですが、それ以上にカバーの方が安かったと思います。詳しいディールの情報は、私が書いた 2004 年版日専のコラムの 11 ページ「クリスはカリフォルニアの青い空を見たか」と「郵趣モノグラフ 20・わたくしの収集履歴 外信はがき収集 60 年 by 天野安治」に出ています。

この時は後先何も考えずに、安く買ったという僥倖を、そのマテリアルを持つに相応しい人達にお裾分けしたのです。売値は今思えば、物凄く安かったのです。そして件のウッドワードの 20 銭カバーは、三五六 銭葉書 長崎大型クロスロード消と 1・1 でバーターです。儲けの額はどうでも良かったのです。連合 6 銭は、1977 年 4 月 23 日の金井スタンプのオークションで 125 万円で天野先生が落札（出品者は前述のスイス人のアルバート・クンズさん）、この時に負けた人が、もしかしらご所望かなと思ったのでオファーしたのです。お金で買うのは無理な品物を、私の個別の

付き合いを梔子に動かしてみたのです。買う方も、売る方も、すんなりと話がまとまりました。時間軸とすれば、元から売れる当てが有ってのトレードでなく、6 銭葉書を手にしてから別個に動いたのですが、このディールはビジネスでなく完全に趣味でやった物なのです。若かったから遊べたのだと思います。

20 年程の時を経て、6 銭葉書が移動することになったのです。都の御殿様の気紛れで、これを持って欲しい人に譲ることになりました。値段が問題になる商売では有りません。長年のお付き合いの中で物が移ったのです。事前の相談は無かったのですが、結論だけを聞きました。

6 銭葉書と 500 文エンタを交換した。この事実のみでザッツオールなのです。損得勘定は野暮なのです。ご本人同士はご満足だったと思います。そしてその 500 文のエンタは、ビッグコレクターの本体コレクションには入りません。実際に別の場所に置いて有りました。偽物のカバーが 6 銭葉書を経て 500 文エンタに化けた、完璧なアンダーザテーブルでのディールを知っているのは私一人だと思います。

三人のビッグコレクターの琴線に触れた珍品 3 点をオークションでの流通価格に置き換えれば、決してイブーンでは有りません。でも、高名な先達に物の移動を通じてですが、細やかながら密に関われたのは私のビジネス経験に於いても誇りに思っている事なのです。その見返り？さあ、有ったのかな？今回のセールでも、500 文エンタは幾らで売らねばならないという物では有りませんが、60 万で落ちたならちょっとお気の毒かなとは思っていたのです。メールは 120 万でお一人だけ、スタートは最低値の 60 万、場で一人が競って、メールビッドをクリアして 125 万のハンマーです。今度はこのカバーの生末を私は気にしないで良いでしょう。未永くコレクションに入れて可愛がってくれと信じましょう。



Lot1635 野口英世 5円 無目打ブルーフ 糊無

最低値 300,000 応札 8 スタート 620,000 落札値 620,000

知る人ぞ知るマテリアルです。文化人野口英世の発行が1949年11月3日ですが、5月1日に封書料金が5円から8円に値上がりしています。当初段階では第1種が5円なので、準備されていたブルーフ状態の物が極少数流出したのです。料金値上がりを因とする特異なマテリアルとすれば、【かつおつり5円】、【穂高24円0付】、【50円旧サイズのエログラム・霊鳥と忍冬唐草模様】などもマーケットに出て来ていますが、インパクトの強さでは野口が白眉です。

昭和30年代の複数の郵趣雑誌に取り上げられていますし、参議院決算委員会で公明党の二宮文造氏が、全郵普の天下り絡みでモロに質問をしています。東芝エンゼルと並べて取り上げていたのですが、物の本質からはズレています。郵趣家でない人が切手を梃子に議論すると、我々から見れば得てして違う方向に行ってしまうのです。兎も角、野口5円の現品を手にしたのは今回が初めてですが、物が有るという確度の高い情報が3か所から来ていました。

郵政関係者の遺品と、在日ロシア人の隠れたビッグコレクターの遺品、そして今回のルートです。前二者も野口以外の物は結構出品してくれているので、数年前からそれとなく声を掛けていたのですが、お目に掛かれていなかったのです。

戯れの雑談の中で話題にした最後の人には、値段を切って教えました。物はまやかしくてなく、有名な物なので商売はやり易いのです。オークションが売る手段としてベストで、最低値は30万、売れる値段は50万と踏み込みました。実際良い読み筋だったと思います。ビッドは50万以上が接近して3人もいましたから。

文化人の専門コレクターが落してくれました。珍品ゼネラルさんよりも一息、執念で勝ったのです。僅差でしたけど良いところに入ったと思います。今回の出品者がもう一枚持っているし、別ルートのお二人も物をお持ちなのは確かです。値段に惚れて続いて出て来ても、同じような結果になると思います。でも、2番札が60万だったからと言って、その値段を最低値にするのはNGです。50万なら出品自体は受けるとは思いますが、オークションニアの評価とすれば、最低値は30万、後は場の雰囲気次第というのが居心地のいいディールです。

こうやって書いて来ると、コロナ下でのワンデーフロアでも結構良い物が有ったのだと思います。勢いで次のJAPEX2020 Special Sale もやっちゃいましょう。こちらは相当にリキを入れて仕事をしました。売れる物を贅沢にアレンジしました。内緒の目標の数字も目一杯高く設定していました。落札率で75%、金額はもしかしたら8000万位・・・です。



ジャパンスタンプオークションიაレポート

鯛 道治

第114回フロア、JAPEX2020 Special Sale・11月8日開催のレポートです。最低値総額が68,365,900円、昨年よりも約900万円少なかったのです。編集時間の制限故に、ロット数も想定Maxの点数には120点余裕がありました。超一流の数人のコレクターの遺品が主体で、選り放題、並べ放題だったので贅沢に編集ができました。最近の弊社を含めての日本のオークションの落札結果を見て、社会状況も有りますし、今回は特に危惧をしていたのですが幸いそれは杞憂に終わりました。コロナの影響でフロアへのご参加数は3割減の約100名、これは想定通りですが、メールビッドの数もやや少なめでした。最終結果は、出品点数1979ロット(1点がW.D.)、落札点数が1494ロット、落札率が75.49%、ハンマープライスが82,397,550円になったのです。

これが今後も続く訳はなく、次回以降が怖くなるような好成績です。金額以上に落札率が重要です。最近では6割の真ん中あたりが多く、75%超は2017年JAPEXセール以来です。その原因の一つが、予想外の一匹の【爆買いモンスター】の出現です。お買い上げ額以上に、場でのビッドが絨毯爆撃、上から下まで全部買う、でした。テーマは産業図案と透かし無、昨年暮れに亡くなった、「かまかずさん」のコレクションのエキスの部分を殆ど浚えてくれました。

尤も知る人ぞ知る事実なのですが、このテーマは思う程にお金が掛からないのです。正確に表現すればお金を使えないのです。買う意志が有っても買いたいものが無いので、一額面で100万円は掛かりません。場で競って、フロアの進行が数十分遅れになる程に買ったとしても、たかが1000万位です。それでもこの怪物さんは他の善良なビッダーを容赦なく蹂躪したのです。今回のメールビッドは420名でしたが、140名はお買い上げがゼロでした。今までに記憶にない現象です。相手を力を入れて、覚悟のビッドをされた人も、軒並み討ち死になりました。

Lot.	概要	最低値	入札数	落札値
1064	産業 6 円無目打ペア	400,000	3	580,000
1076	// 16 円無目打ブルーフ	150,000	4	410,000
1098	産業 3 円貼印刷物船便	150,000	4	620,000
1146	無透 80 銭貼 3 種便帯封	200,000	6	1,000,000
1149	// 1 円貼第 5 種農産物種子	200,000	4	560,000
1220	青議事堂に 28 円貼国内航空再開初日	250,000	4	520,000

一例を挙げてもこの通りです。基本的にメールで高い札が入っていて、普通なら落ちて然るべき物が全部一人に負かされたのです。オークションとすれば有難いのですが、こんなことは毎回は起きないと思います。産業図案はお金を使わずに集められるテーマなので、是非とも今後も脈わって欲しいのです。それでは本題に入ります。

Lot434 1次円8円、35円、50円貼第5種書留代引適正貼 櫛型愛媛大西 35.2.1

最低値 15,000 応札 6 スタート 300,000 落札値 300,000

第5種8円、書留35円、代引き50円、見事にドンピシャの貼り合わせだし、全てのファクターが封筒の表面に有りました。カバーは適度に大型でルックスも極美です。でも、30万は高いかなが率直な感想です。しかもキッチリお二人同値、オークションならではの値段です。お買い上げは今年のJAPEXに初出品された方、テーマは菩薩50円、作品の点数は残念ながら伸びませんでした。別件で電話を貰ったので話をしたのですが、点数は納得の上、このテーマでやっている人が居ることを知って欲しかったから出品したんだと言っていました。ちょっと安心したのです。

菩薩50円と言っても、0付・茶色・小豆・赤・緑の5種類です。切手展の評価では、テーマ的には単独額面収集と同じレベルで見られる上に、5種全部で無い物は無い所まで要求されてしまうのです。どの額面一つを取っても完璧に揃えるのは容易では有りません。そのくせ、切手展の審査員にとってはあら捜しの格好のターゲットになるのです。

この方は、今回のセールで随分頑張ってくれました。4点ビッドで全点落札、茶弥勒の代引き以外は、ゼロ付が3点です。単貼の国内航空速達、新庁銘付10B未使用、無透20円との混貼の〇特書留、押しなべていい値段の物ばかりです。この4点がコレクションに入っていればもう少し点数も伸びたかも知れません。同じテーマで続けるなら、キーマテリアルは、緑菩薩のコート紙です。オンカバーは買えるでしょうし、使用局数も増えるでしょう。問題は未使用を入れられるかどうかです。現存唯一のCM付未使用ですが、どこにも書いていないネタが有るのです。表に出たのは久野徹君のボルドーでしたが、どこかで聞きつけた彼が私に頼んで来たのです。発表したいので持っている人を紹介して欲しい・・・所有者は表に出て記事を書く気は有りません。でも図版の提供は喜んでやってくれるのです。直近の山崎君の新動植物国宝切手カタログも全く同じ流れでした。最初に記事にしたのが久野君なので、彼が見つけたような話になっているのですがそれは正しくありません。

1993年か翌年でした。弊社の店頭で売り込みが有ったのです。四日市の理髪店のご亭主さん、収集をやめるからとのご処分でした。現行の未使用が主体でした。銘付他にカラーマークの単片がブックにギッシリ詰まっていた。緑の50円でも100枚近くは有ったのです。一括のご処分ご希望なので、額面+のベースで買いました。整理もせずにそのままの状態で置いていて、たまたま来た現行切手のコレクターに見せたのです。ルーベを使わずに、付き合いで、何枚か買ってくれました。スクリーンを調べずに、見たままで感じの違う物を抜いたのです。

売った私も、買った相手もその場では全く意識していません。ディールの詳細を最早確認できる術も有りません。幸運な人は暫くして整理に掛かって気づいたのです。その気で見れば明瞭です。ただどこで買ったかを全く覚えていないのです。彼の行動範囲と物の出現状況と入手した時期他から、有り得ない可能性を消去すれば最後に残るのがこのルート。これ以外には彼が僥倖に恵まれた可能性は無いのです。真実は藪の中で、夢の中として置きましょう。

50円専門収集の方もその内、女神がほぼ笑むかも知れません。そして今回の買いっぴりを見れば、今後も良いお客さんでいてくれると確信が持てたのです。この人からのビッドは、番号と値段を見るだけで、何に入れたか分かるのです。地元印の超強気の人のトラッド版です。オークショニア的には分かり易いビッドは有り難い物なのです。



Lot483 旧中国大龍5C 田型 卵型天津

最低値 50,000 応札 7 スタート 180,000 落札値 185,000

Lot481 ~ 489 は二時代前に水原さん、古庄さんらと同時期に海外のオークションで旧中国を買っていた方の遺品です。数年越しにご子息が出品してくれて、殆どの物は良い値段で売れています。整理も雑だし、弊社に来た時点では、大龍でも大清国と書信館の区別もされていないのです。それは全く問題なし、大雑把にロッキングをして、売れる値段設定で出すのです。今回の場合も、ビッドは国内外の中国系の人の札が、上から下まで同じリズムで入っていました。平均して7名ぐらいがずらりと並びました。勿論、物は1点なので買えるのはお一人です。最低値との比較はさて置いて、落札値はそれなりの値段になりました。中国切手はいつもこのパターンになるのです。

吃驚ネタがこのロット、大龍5C 田型天津消なのです。この現物は、ほんの数回前に弊社のセールに出ています。勿論出品記事もそのまま、当然ながら写真入り、そして最低値は10万円、絶対に売れると思ったのですがこのアイテムだけが不落札、親しい中国人に聞いたのですが、中国人は使用済の田型は評価しない・・でクリ、何となく納得していたのです。

だから今回は売り切り価格の単片の4倍=5万円で出しました。他のロットと共に全員がビッドを入れてくれました。10万円以上が3人も、メールの一番値はきっちり同値で18万、何それ、みたいに思っていたのです。フロアでのファーストコールは18万、場手が挙がって18.5万でハンマーです。落とした人も、同値の18万のお二人も、絶対に以前も見ているはずなのにです。

突然にここに来て、中国切手の田型の済の評価が急変したのでしょうか。オークションでの変な値段は結構有るのですが、このパターンにはちょっとびっくり、余りにも予想が嬉しい方に外れたのです。

緊急の情報が入りました。中国本土での或る種の切手の取引禁止です。満州切手は既にそうになっていたのですが、今度は字入りにまで広がりました。菊と田沢の支那加刷、青島軍事も含みます。五省加刷などの占領地も駄目でしょう。アメリカやフランスはどうなのかな。中国は一体どこへ向かうのでしょうか。時代錯誤の新たな文化大革命、迷い出て来た廃仏毀釈政策だと思えます。



Lot1186 無透 30 円貼 3 倍重量便封書年賀 櫛型米沢 28.1.1 富士山

最低値 80,000 W.D.

残念な、そして逆説ですが有用なお知らせをせねばなりません。じっくり図版を見てください。全体像では分かりません。2 印比較の拡大図を凝視して下さい。そういう目で疑って見て初めて気が付きます。上側の印類は真正では有りません。プレスの痕が有るので、コピーでなく押しています。もし鑑定に出したなら、鑑定委員は性悪説で物を見るので、このエンタならば、結論は FAKE で決まりです。幾つかの要因を分析して、疑いを持って、その上で消印の細部を比較すれば、違いが明瞭に見えて来ます。でも買う人が希少性に惚れて、コンディションしか見なければ、これは絶対に見抜けません。そしてオークションアは性善説で物を生かすことを目指すので、どうしても見逃してしまうのです。

情報通からヒントを貰って、然るべき関係者に取材して初めて出処が知れたのです。物はヤフーの【tomopu・】です。悪意なき購入者が競って高値で手にして、複数の善意のコレクターの手を経てやって来たのです。詳細の具体的な流れはこの際スルーして置きましょう。

アナライズに入ります。封筒の裏に封緘印が有る事から、第 1 種だと分かります。後付けの理屈ですが、基本料金の 10 円で、0 付壁画 10 円が貼って有ったと思います。切手に傷が有ったかどうかは判りませんが、それを剥がして未使用の 30 円を貼ったのでしょう。下側の消印の「米」の上の輪っかを見れば気づきます。他の部分とはこの部分だけが印色が違っているのです。未使用？を貼り換えてごく一部を後で加筆しています。もしかして、左上の判子が無ければ疑われたかも知れません。封書年賀の 3 倍重量便、こんな有り得べからざる料金の珍品ならば、疑われて貼り替えを気づかれる可能性が大なのです。

だから偽物師は得意の技をふるったのです。もう一つの消印を押したなら、その疑いから逃げられる。発想力と作成能力は並外れた物を持っています。疑って 2 印を比較すれば、差異は明瞭です。【米】一文字で確定です。でも、比較材料の下の一印が無ければ誰でも本物と思うでしょう。オフカバーならまず見抜けない珍品登場です。このケースでの明るい結論は今を持ち合わせていないのです。単片⑩を鑑定に出したなら？・・・少なくとも私はその判断に自信をもって関わる自信は有りません。良い物までが疑って見られる事を恐れます。そして終わったと思っていたあの亡霊が、時を経てどこからか登場する事も有るのです。その前提で物を精査せねばなりません。



Lot1350 鳥 15 銭口 書き十 OH フレッシュな美品

最低値 1,800,000 応札 2 スタート 1,800,000 落札値 2,300,000

Lot1960 鳥 15 銭口貼米宛 裏に© CUSTOMS KIUKIANG→クロスロード+ SHANGHAI JAN.20, 1878

最低値 600,000 応札 2 スタート 740,000 落札値 740,000

**Lot205 鳥 15 銭ハ、旧小 4 銭、U 小 1 銭、5 銭貼 3 倍重量便書留カナダ宛
白抜 K + 8 角書留 KOBE 31. DEC.1884→22mm書留 YOKOHAMA**

最低値 500,000 応札 3 スタート 780,000 落札値 1,250,000

鳥の 15 銭が 3 点です。ビッドの人数は少なかったのですが、何れも書けるネタが満載です。前号で日本の【Woo さん】を書いた事とは全くの無関係なのですが、この人は私の中では陰の主演です。弊社の Woo さんは、普段はロットを絞ってピンポイントでの郵便ビッド専門です。オークションが始まって、私書箱でビッドシートが入っている郵便物を受け取って、封を切るのが楽しみな何人かの人が居るのです。当然ながらこの人もそのお一人です。

瞬間ちょっとギョツとしたのです。ビッドの数字が 150 万、私の思惑では少なくとも 300 万だと期待していたのですが。ロット番号を思わずチェックしたのです。ビッドは当然ながら「鳥」に限られます。前号に書いたとおりの読み筋で、「書き十」未使用にビッドしてくれたと思ったのです。150 万は安いけど、最低値でのビッドだと勘違いしたのです。書き十の最低値が 180 万だったのを忘れていていたのです。ちょっとがっかり来ましたが、そんなものかとも思いました。

書き十はメールではノービッド、場でお二人が競っての 230 万でした。コンディションは抜群だし、誰もが憧れる目玉品、売れ筋だと読むのです。それ以上に強烈な実績が有りました。弊社でも過去に未使用を売ったことが有って、オポログ記憶ですが、200 万以上でかなりの人数がビッドしてくれて、300 万? 位で売れたような気がしたのです。後先は分からないのですが、鳴美が 10 年程前にやった、古庄昭夫さんのセールの実績も有りました。

書き十と洋桜 6 銭ヨの綺麗な未使用 2 枚で 1000 万になったのです。日程の都合で私は場に出て居ないのですが、結果だけは聞きました。落とした人は突然躍り出たお一人で、競ったお二人は綺麗な物には糸目を付けられない人でした。

誰も知らないニューカマーが突然フロアに現れて、2 枚の単片に 1000 万です。当然ながらこの人目掛けて嵐のような手彫のオファーが降り注いだと思います。かく言う私もその一人、売るべき物は、縁あって手元に来ていた和桜 20 銭縞のマ 23 号のナンバーワン。実は 20 銭縞は物凄く相性が良く、ブラーベートで 8 点も扱っています。その内の 7 点は、相手を一人だけチョイスしてオファーすれば百発百中、値切りもなく即決でディールが完了していたのです。でも、この一枚には手こずりました。値段は大人しかったのですが、さりと逃げられました。今切手の高い物を買うのは、地元の但馬の山奥の土地を買う様なもの…。将来性を考えれば…。見事なクレバーな断り文句です。

今も現役で続いている人ですが、手彫の高級品でなく、別のテーマ、超マニアックな物に移っています。そしてあの珍品は 1 年以上かけて 5 番目位



Lot 1350

のオファーで5年間の分割払いでやっと収まったのです。値段故に買わないのではなく、要らないから売れないのです。想定値を半値に下げても結果は同じです。だから今は20銭編がもう一枚出て来たら、ちょっときつい事になりそうです。それにしても書き十を500万で買った、あの時のあの人は何を考えていたのかな……。私だけでなく聞きたい人は一杯いるはずですが、誰もが吃驚ビッドには触れないようにしています。永遠の謎でしょう。

お話を進めましょう。わが社のWooさんの今回のビッドは、15銭単貼 九江書信館引き受け、SHANGHAI 差し出しのカバーだったのです。書き十でなく、このカバーへの150万は良い値段です。鳥のエンタとすれば、ルックスからして50万で売れるかどうかギリギリでしょう。ポイントは◎CUSTOMS KIUKIANGなのです。中国系の人に聞いたら、相場は150~200万だそうです。スタート値は74万だけれど、場で中国人がビッドして、155万で落とすだろうと読みました。結構絵になるし記事も書くつもりだったのです。あにはからんや、場では動き無し、メールのままでハンマーです。

件の中国人に聞きました。何で買わないの？速攻での返事です。KIUKIANG印にペンで11の数字を書いている。これが買わない理由になるのだそうです。私の感覚なら、日附印の日付のペン書きは明治の初期なら有り得ると思うのです。まさかこれが買わない理由だとは信じられない思いです。まあ、それは人それぞれの評価なので、無理強いはしませんが。推測の話なのですが、弊社のセールの前日のJPSのフロアセールに鳥15銭の書留エンタが出たのです。ルックスも良く最低値は超割安、でもハンマープライスは110万、これもWooさんが買ったかも知れません。落ち値も含めて、好みとすればドンピシャだと思います。



Lot 1960 裏面

最後のエンタは書けるネタの宝庫です。物の素性と流通の双方です。Web. にUpしたら速攻でドイツからメールが来たのです。このエンタは1980年代にカリフォルニアのGeorge Alevizosに出ていた物で覚えている、香港のルジエロセールでお前が買った物だろう？でした。前半のパートの情報は流石ですが、後半は全く外れです。出品者の書いて来た記事と私の編集記事は完全に一致しています。紛れが無いエンタだと思ったのです。

スタート値も安くは無いでしょう。ルックスは今一だし、Wooさんはノービッド、踏める要素とすれば、神戸とおまけの横浜の書留印位なのです。その割に、初っ端で情報をくれたドイツ人が素晴らしい値段でメールビッドを入れていました。鳥のエンタは、彼の本筋ではないので頼まれビッドかなと思いました。

場で意外な確信犯が手を挙げてくれました。メールの一番札をクリアしての125万。落とした人と競った人、結果を逆算して分析すれば、このお二人がビッドしたという事は、何か有るに違いないのです。ロット番号が若く落札者にお渡しする前なので、ルーペでシゲシゲ見たのです。□のRの下に、紫の薄い文字が有りました。探すつもりなら読めるのです。【Return Receipt】、所謂AR. =到達証付きなのです。

ARは5銭なので、料金解釈を書き換ええないといけません。3倍重量書留便でなく、2倍重量便到達証付カナダ宛・5銭x2 + 書留10銭 + AR5銭 = 25銭が正解です。料金表を調べてみたのです。ARが何時から始まったかを知りたかったのです。鳴美の日本郵便料金大系で見つかるのは、1892年7月1日です。UPUのウイーン条約が根拠です。でも、このエンタの事実から、明らかにそれ以前からARの制度が有ったのは確かです。

国際郵便の料金に関わる事なので、絶対に告示が有るはずですが。私では探せないで、水口公秀さんに依頼して、「法規分類大全」を繰って貰いました。このエンタでのARの法的根拠を知りたかったのです。結論は、パリ会議の条約改正で見つかりました。1879年3月27日布告で4月1日に施行されています。6条2項の後半部分です。【書留郵便物ノ差出人ハ其郵便物ノ到達證ヲ求ムルコトヲ得ヘシ但シ其手数料トシテ二十五サンチームニ過ギザル金額ヲ前拂スヘシ】。25サンチーム = 5銭です。到達証の制度は日本のUPU加入と同時に始まっていますが料金5銭はこの時からだと思います。このポイントの詳細の解説は、当号の山本勉氏の魂を込めた見事な論文に譲ります。

出品者も私も見落としていた AR、でもお二人が完璧に見抜いていたのです。ここで密かに私が持っている情報を教えましょう。1980 年代のアレヴィソスセールに出ていたこのカバー、カナダ人のトランスパシフィックルートのコレクターが落していたと思います。ルジエロは外れです。秘密のお話をばらします。出所に関してです。ごく最近のカナダのマイナー・オークションハウス、Eastern Auction で売られたのです。落札値は邦貨で 10 万円位だったかな・・・お前が買えよ！と言われそうだけれど、最近の私は仕入れるのではなく、黙って待つことに徹しています。落とせる人は限られているし、買えば絶対に送って来てくれるという確信が有るからです。10 万買いの鳥のエンタなら、最低値は 50 万で良いでしょう。場で 2 人が競っての 125 万は最高の結果で万々歳です。このディールで皆がハッピーになれるのだし、予想外の突拍子もない事が見つかって、ここできっかり記事を書いて遊べるのです。楽しきエンタの顛末記でした。



Lot1980 1 昭 2 銭貼盲人用点字米宛中身点字文入り 櫛型天王寺 13.11.10

最低値 500,000 応札 5 スタート 1,700,000 落札値 4,100,000

隠れた主役が居たのです。鬼籍入りしても忘れられてはいませんでした。彼が居たら、目を瞑って手を挙げ続けたのかな。その勢いに押されて、場で逆らう人は元からいなかったかも知れません。

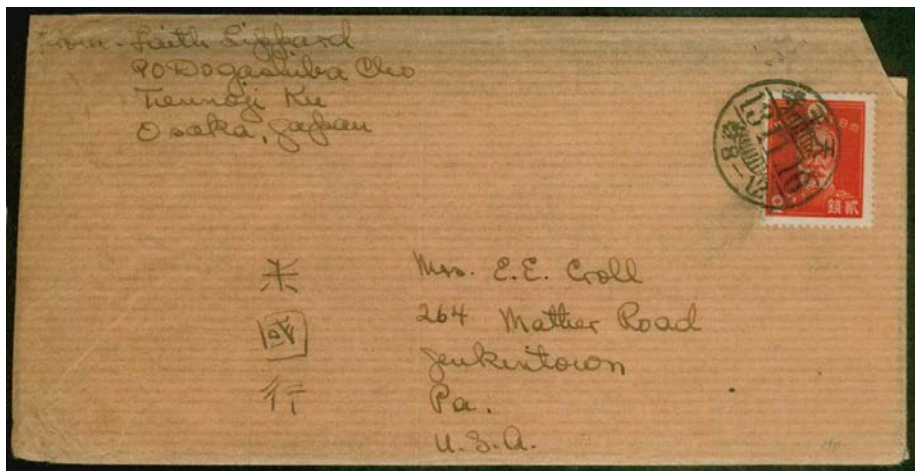
アワヨクバ・・・で落とせるとは誰も思っていなかったカバーです。盲人用点字は外信便料金表には載っています。1922年の1キロ2銭で新設、その後1961年9月末までは有料です。この間の切手貼りは恐らくは皆無でしょう。

数年前にこのカバーを手にしてから、ずっとタイミングを計っていたのです。唯一無二のチャンスがJAPEXフロアのラストロット、必然の流れです。ビッド数は5ですが、お一人は駄目を承知のアリバイ作りで入れていました。残りはメールのお二人で、ビッドは165万と180万、だからスタートは170万、でも誰もこれで済むとは思っていないのです。

メールビッドの上位お二人が場でバトルに参加です。私の踏んだ値段は200万でした。最低値は取りあえずの数字です。即売での100万なら欲しい人は両手に余ると思います。でも、弊社のオークションのお客さんはしっかり考えた上で、真剣なビッドをする人が多いのです。100万超しレベルならば、アワヨクバで入れる人は居ないのです。

ハンマープライスは、考え抜いての結果で400万+だったのでしょうか。彼がもし居たら、フロアの雰囲気はガラリと変わったと思います。今回のフロアでのビッターお二人共、落としには来なかったと思います。メールではソコソコは入れてくれるでしょうが、駄目元の数字なのでジャスト200万、そして場で落とすのは【乃木バカ】君。二人が意地を張らずに遠慮した結果210万で買えたと思います。ここの数字は私は物凄く的確に踏めるのです。唯一の誤算は陰の主役の不在です。すっかり忘れていたのですが彼は最早居ないのです。

主役が居ないからこそ高くなったこのカバー、今後も乃木が出る度に彼の顔を思い浮かべます。乃木と言えば、やっぱり、児玉博昭なのですよ。永遠の別れがもたらした不思議なオークションのラストロットの結果だったと思います。合掌。



スタンペディアオークション

第 15 回セール レポート

スタンペディアオークション株式会社

当社セールとしては最大取扱数となる 1500 ロットのフロアオークションを 10 月 3 日に日本橋富沢町の切手市場第二会場（綿商会館）で開催しました。事前入札 245 名、フロア来場者数 34 名。

フロアオークションへご参加の方には感染症予防対策の観点からマスク着用、手指消毒をお願いしましたが、全ての方に順守いただきました。ご協力に感謝いたします。

事前入札率 54.5%、最終落札率は 1014/1498=67.7% でした。同月開催の文献セールと合わせて流通額は 1,1490,622 円でした。

恒例の事前入札ベストテンは以下の通りです。(単位：円)

	事前入札 件数	Lot	最低値	スタート	落札値	ロット内容
1 位	12	300	3,000		9,500	稲刈 1 銭 2 枚, 上高地 5 銭, 灯台 6 銭, 金剛山 7 銭, 明治神宮 8 銭, 陽明門 10 銭, 春日大社 14 銭, 富士桜 20 銭 2 枚, 朱印船 5 厘 2 枚, 東郷 4 銭 2 枚, 金閣 50 銭, 乃木 2 銭, 航研機 12 銭, 水力発電 3 銭 銘付 未使用 シミ ヒンジ跡なし
2 位	10	739	3,000		31,000	ケダーローマ字 10c ペア, 1c, 2c, 4c, 5c, 6c 二重丸印 (青, 2602) 皇紀 2603 1 10 Kangar → Syonan 南方占領地マライ書状書留 到着印: Newton, 1/14 検閲あり カタログ価: 3,000 円 < 料金参考情報 > 書状 8 セント 書留 15 セント
3 位	9	470	5,000		15,500	ハツ橋 500 円 銘付 未使用 など ヒンジ跡なし 14 種類
		566	1,000		3,400	2019 令和元年特別お年玉切手シート 済切抜 和欧文機械印 2019-07-? 日野、蒲田
		717	5,000		18,000	不発行切手西表公園 未使用 ヒンジ跡なし カタログ価: 25,000 円
4 位	8	332	3,000		30,000	東郷 5 銭 櫛型印 昭和 18 6 15 フィリピン宛て 書状 検閲あり < 料金参考情報 > 書状 5 銭 [1942.4.1 - 1944.3.31]
		460	5,000		13,500	観音 50.00 円 銘付 印刷庁製造 未使用 ヒンジ跡軽い
		587	2,000		6,200	五輪募金小型シート 1 次, 2 次, 3 次, 4 次, 5 次, 6 次 初日カバー 櫛型印 欧文三日月印 昭和 39 8 20 東京中央
		806	5,000		10,500	1943 パターンコレヒドール陥落 5c4 枚ストリップ 二連印 6/3 San Pablo → Manila 検閲あり 書状 台湾電力会社宛て
		811	10,000		31,000	1944 英雄切手小型シート・赤色印刷漏れエラー 未使用
		812	10,000		28,000	1944 英雄切手小型シート・未発行 未使用
		1036	5,000		11,500	フィンランド 1885 10m 済 カタログ価: 60,000 円

在外局カバー

今回のセールでは在日外国郵便局関係のエンタィアが8通出品され、全て成約しました。

- Lot.1 仏 80c 貼り 1869-12-25 Livron → YOKOHAMA (到着印あり) 30,000 円 → 30,000 円
 Lot.2 仏 80c 貼り 1866-08-17 YOKOHAMA / BAU / FRANCAIS → 仏宛て
 抹消印の封とのタイ無し 30,000 円 → 30,000 円
 Lot.3 英 1sh, 4d 1867-11-26 London → YOKOHAMA (到着印日付不鮮)
 30,000 円 → 30,000 円
 Lot.4 英 1sh, 4d , 1d 1871-10-20 London → YOKOHAMA (到着印半分あり)
 30,000 円 → 30,000 円
 Lot.5 英 スタンプレス 1869-12-18 YOKOHAMA → Liverpool 2/ と 1 のペン書きあり、切
 手未納の郵便物を横浜局が引き受けた理由は不明 10,000 円 → 105,000 円
 Lot.6 英 1p. 2p. 1867 1sh 1870-03-25 MANCHESTER → YOKOHAMA (到着印あり)
 30,000 円 → 52,000 円
 Lot.7 英 6p. 1879-04-21 LONDON S.E → 東京 中継印：英国 YOKOHAMA 局
 25,000 円 → 105,000 円
 Lot.8 英 4p.6p. 1866-01-09 MANCHESTER → Nagasaki (到着印なし)
 25,000 円 → 115,000 円

今回に限りませんが、英国・米国局は人気があり、複数のビッドが入り、ものによっては非常に高くなることもある一方で、フランス横浜局へのインカミングレターはあまり上がらない様です。

Lot.2 はアウトゴーイングカバーである上に、消印も面白いので、もう少し競るかと思いましたが、消印がタイしていないことが嫌われて最低値で落ちました。



Lot. 7 1879 年 6 月の横浜英国郵便局の到着印付きインカミングカバー、かなり後期

二二六事件、戒厳令カバー

Lot.245 [使用例] 新毛輪転 3 銭 櫛型印 昭和 11 2 29 駒込→渋谷 書状「戒厳司令部査閲済」印
30,000 円 → 52,000 円

戒厳令カバーも、だいぶ数が出てきた為、いくつかのサンプルから自分にとって良いものを選ぶことができる様になりました。

まず、戒厳令カバー類に押される判子ですが、右図の様に複数のタイプが知られていると共に、インクの色も複数確認されています。

次にこのいわゆる「戒厳令はんこ」を押すのは封筒の表面よりも裏面の方が多い様ですが、表面に押されているものの方が人気が高いと言えます。

美観で言えば、「戒厳令はんこ」のインクが薄いものが多いのですが、かつてはそんな贅沢は言っていられませんでした。また、戒厳令が敷かれる中での急遽の検閲業務でしたので、現場はバタバタしていたのかもしれませんが。郵便物は汚れたものが多数見受けられました。

この様な諸条件を考えると、今回のカバーはパーフェクトで、強いて欠点を挙げるとしたら、「戒厳令はんこ」が逆位置ということくらいでしょうか。

しかし、このレベルで綺麗なものは、またすぐに出てくるとは確約できないと思います。落とした方は良いものを入手できたのではないのでしょうか。



左) 戒厳令二依り開絨
右) 戒厳令司令部査閲済



スタンペディアオークション

第 15 回セール (2020.10.3 フロア) 最終落札結果

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1	30,000	55	105,000	114	2,800	175	4,000	240	3,200
2	30,000	56	3,600	115	3,000	177	4,000	242	4,400
3	30,000	57	10,000	116	13,500	178	4,000	243	3,000
4	30,000	58	2,600	119	10,000	179	3,000	245	52,000
5	105,000	59	4,000	120	3,600	180	3,000	246	3,000
6	52,000	60	58,000	121	5,200	181	5,000	247	4,200
7	105,000	61	9,000	122	2,600	182	2,600	249	5,600
8	115,000	64	4,000	123	2,600	183	4,000	250	3,200
10	13,000	65	5,000	126	320,000	186	20,000	251	4,000
12	26,000	67	2,000	127	16,000	187	9,500	252	21,000
13	8,500	68	3,200	128	35,000	190	1,600	253	5,400
14	30,000	69	7,200	129	5,000	191	15,500	254	5,000
15	41,000	70	3,000	130	43,000	192	2,000	255	6,800
17	64,000	71	6,400	131	43,000	193	3,800	256	3,200
18	12,500	72	4,200	132	4,000	195	30,000	257	3,000
19	12,500	73	2,000	133	12,000	196	8,000	258	4,000
20	18,500	74	4,800	138	3,400	197	5,000	259	6,400
21	8,000	75	175,000	139	4,000	198	190,000	260	4,000
22	8,000	76	11,500	140	2,200	199	3,000	261	4,000
23	175,000	77	10,000	141	4,000	200	4,000	262	10,500
26	35,000	78	3,000	142	3,000	202	8,500	263	12,500
28	54,000	79	2,000	143	4,400	203	19,500	264	27,000
29	105,000	80	3,000	144	26,000	204	2,600	265	30,000
30	21,000	81	3,400	145	2,400	205	3,000	266	23,000
32	6,000	82	37,000	147	3,000	206	3,800	268	3,000
33	8,000	83	29,000	149	3,000	207	3,000	269	3,000
34	3,000	84	49,000	150	28,000	209	2,000	271	37,000
35	1,600	85	3,000	151	7,200	212	3,000	273	3,000
36	5,000	86	4,800	154	6,000	214	18,500	274	3,000
37	18,500	87	5,200	155	6,200	215	3,800	275	3,000
38	6,600	88	15,000	158	3,000	217	8,500	278	5,000
39	4,000	91	7,800	160	4,000	221	3,000	283	3,000
40	3,400	94	4,000	161	8,500	222	3,400	285	3,000
41	66,000	95	3,000	162	2,000	223	4,000	286	3,000
42	30,000	96	2,000	163	6,400	224	6,000	288	3,000
43	20,000	97	4,000	164	7,000	225	6,000	290	3,000
44	50,000	99	26,000	165	3,000	226	10,500	291	2,000
45	6,000	100	3,000	166	2,000	227	4,000	292	2,800
46	3,400	101	2,000	168	7,600	228	3,400	293	16,500
47	6,000	102	6,000	169	7,000	230	3,400	294	2,000
48	5,800	104	3,000	170	11,500	231	3,000	295	3,000
49	2,000	105	20,000	171	3,000	234	3,000	296	12,500
50	24,000	106	29,000	172	4,200	235	2,800	297	15,500
53	36,000	109	3,000	173	5,000	237	5,000	298	24,000
54	3,000	111	3,000	174	7,000	238	3,000	299	1,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
300	9,500	361	3,000	431	5,000	500	3,000	571	2,400
301	3,400	365	3,000	432	2,000	501	3,000	572	3,200
302	4,000	366	5,000	433	26,000	502	3,000	573	2,000
303	8,500	368	7,200	434	49,000	503	3,000	574	6,800
304	4,200	373	2,000	435	43,000	504	3,000	575	3,000
305	3,000	375	1,000	436	6,200	507	12,500	576	3,000
306	3,000	376	3,600	437	10,500	509	5,000	577	3,000
307	6,200	377	6,000	440	3,000	511	5,200	578	3,000
308	4,000	378	9,000	443	3,400	512	9,000	579	3,000
309	56,000	379	27,000	444	3,000	513	76,000	580	3,000
310	5,000	380	1,000	445	3,600	515	3,600	581	3,000
312	37,000	381	3,000	446	8,500	516	4,000	582	1,400
313	3,000	382	40,000	447	3,000	517	3,800	584	1,600
314	7,000	383	12,500	448	14,500	518	6,200	585	2,800
315	13,500	384	7,600	449	11,500	523	1,600	586	2,800
316	12,500	385	44,000	450	4,000	524	6,600	587	6,200
318	6,000	386	6,000	451	7,000	525	2,000	588	1,600
319	3,000	387	7,000	452	5,000	526	5,400	590	1,800
320	3,000	388	11,000	453	3,800	527	2,200	592	1,400
321	3,000	389	4,200	455	1,600	528	6,000	593	1,000
323	3,800	390	8,000	457	6,600	529	12,500	596	1,800
325	7,200	392	4,000	459	3,000	530	8,500	597	9,000
326	30,000	393	8,500	460	13,500	531	3,000	598	9,000
327	4,000	396	26,000	461	8,500	532	6,000	599	3,000
328	3,800	400	6,000	462	6,000	533	6,000	600	3,000
330	5,000	403	5,600	463	5,000	534	4,000	601	3,400
331	4,200	404	5,600	466	6,400	535	6,000	602	1,000
332	30,000	406	5,400	467	31,000	536	10,500	603	8,500
334	30,000	407	5,200	468	2,000	537	3,200	604	2,000
335	4,000	408	4,400	470	15,500	539	8,500	605	2,400
336	1,400	411	74,000	472	4,000	541	3,200	606	2,200
337	4,800	412	4,000	473	7,000	547	1,000	607	2,200
338	1,000	413	3,800	475	3,000	548	7,200	608	4,800
340	5,400	414	3,200	477	14,000	550	8,500	609	3,000
341	6,200	416	10,000	479	3,000	554	2,000	610	3,000
342	4,800	417	3,000	481	3,000	557	5,200	611	5,000
345	4,000	418	2,400	484	33,000	558	12,500	612	15,500
346	4,400	420	13,500	485	12,000	559	400	614	5,000
347	4,800	421	35,000	486	3,400	560	600	615	18,500
349	1,000	422	27,000	488	3,800	561	10,500	616	3,000
350	2,000	423	29,000	489	5,200	562	2,000	621	4,000
351	3,600	424	3,600	491	2,000	563	2,600	622	6,000
352	4,000	425	18,500	492	3,000	564	1,600	627	5,000
354	4,200	426	4,000	493	3,000	565	3,200	628	30,000
355	3,000	427	2,400	494	3,000	566	3,400	629	10,000
356	4,000	428	4,400	496	4,000	567	1,800	630	7,000
358	1,000	429	25,000	497	5,000	568	1,600	631	5,000
359	1,000	430	6,200	498	25,000	570	15,500	632	50,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
633	4,000	705	3,400	766	3,000	820	50,000	923	4,000
634	10,000	707	6,400	768	3,600	822	3,400	924	4,000
635	10,000	710	13,500	769	3,600	824	13,500	925	4,200
637	5,000	711	5,800	770	3,000	825	1,000	926	10,000
639	5,000	712	12,500	771	5,000	836	25,000	927	10,500
640	3,000	713	4,800	772	5,000	837	3,000	928	8,500
641	8,500	714	17,500	774	5,000	839	3,200	929	4,200
642	5,000	715	64,000	775	5,800	840	2,800	930	10,500
644	3,800	716	4,000	777	2,400	841	3,000	931	10,500
645	6,000	717	18,000	778	12,500	844	15,000	932	24,000
646	3,800	719	1,000	779	4,000	845	7,000	933	4,000
648	4,000	720	3,000	780	5,800	848	8,000	934	10,500
652	10,000	721	3,800	781	7,600	849	4,000	935	5,200
654	5,400	722	3,200	782	4,800	852	3,000	936	3,000
657	2,600	723	2,200	783	3,800	854	4,000	937	8,500
658	12,000	724	3,200	784	24,000	855	24,000	938	1,000
661	5,600	725	3,200	785	7,200	856	4,000	939	3,400
662	4,000	726	3,200	786	5,000	857	4,000	943	7,200
663	4,200	727	2,200	788	4,000	858	4,000	944	12,500
664	3,000	728	2,200	789	52,000	860	16,500	945	6,200
667	4,000	729	2,200	790	6,600	862	12,000	947	3,000
668	3,000	730	2,200	792	185,000	863	15,000	948	3,000
669	20,000	732	5,000	793	4,400	876	12,000	950	6,000
671	15,500	733	7,800	794	4,000	877	8,000	951	8,500
672	1,000	735	3,000	795	4,400	879	4,000	952	18,000
674	12,500	736	8,000	796	10,500	880	12,000	953	15,000
675	12,500	737	21,000	798	36,000	881	10,000	954	2,600
676	5,000	739	31,000	799	6,200	882	30,000	956	4,200
677	8,500	740	9,000	800	21,000	883	15,000	957	2,600
681	3,000	741	27,000	801	85,000	885	13,000	958	3,000
682	7,400	743	3,000	802	3,800	890	3,000	959	3,000
683	4,200	744	6,800	803	3,000	893	8,000	960	8,500
684	7,000	745	5,000	804	7,800	895	7,200	961	6,000
685	1,200	746	3,000	805	4,400	896	8,000	963	8,500
686	5,600	749	3,000	806	10,500	897	4,400	964	13,500
688	3,000	750	5,600	807	16,500	898	4,000	965	10,000
690	2,000	751	3,000	808	7,200	900	9,500	966	110,000
691	4,000	753	5,400	809	3,000	908	3,800	967	5,600
694	1,600	754	3,000	810	41,000	911	1,000	968	3,600
695	10,500	755	13,000	811	31,000	913	10,500	969	15,500
697	3,200	756	1,000	812	28,000	914	3,000	970	32,000
698	6,000	757	90,000	813	3,000	915	3,400	971	3,400
699	1,000	758	8,000	814	31,000	917	32,000	972	5,200
700	600	759	12,500	815	9,000	918	6,000	973	5,400
701	2,000	760	16,500	816	15,500	919	9,500	974	5,400
702	2,400	761	9,000	817	3,800	920	3,000	975	12,500
703	2,000	762	6,400	818	4,000	921	10,000	976	5,600
704	4,800	763	5,000	819	30,000	922	3,000	977	3,800

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
978	5,000	1041	5,400	1115	400	1219	3,000	1300	2,400
979	5,000	1042	26,000	1117	4,400	1220	1,400	1301	2,400
980	3,000	1043	3,000	1118	4,000	1221	1,800	1302	2,400
982	8,000	1044	15,000	1119	12,500	1222	1,000	1303	2,400
984	400	1046	3,000	1126	10,000	1223	2,400	1304	2,400
985	3,000	1047	100,000	1127	8,000	1225	24,000	1314	32,000
988	2,000	1048	3,000	1129	6,000	1226	24,000	1317	10,000
989	3,000	1049	7,200	1130	5,000	1228	6,400	1322	2,400
990	5,000	1053	7,200	1131	8,000	1229	160,000	1323	2,400
992	34,000	1055	24,000	1132	20,000	1232	2,400	1328	2,400
993	12,500	1056	7,200	1133	18,000	1233	4,000	1345	4,000
994	36,000	1058	7,000	1134	33,000	1235	8,000	1346	10,000
995	31,000	1059	3,000	1136	6,200	1240	8,000	1347	5,000
997	2,400	1060	2,200	1137	11,000	1241	8,000	1348	1,000
998	2,400	1063	3,000	1138	6,600	1242	8,000	1349	2,400
1001	27,000	1064	110,000	1140	5,200	1243	24,000	1350	3,000
1003	54,000	1065	18,500	1141	9,000	1245	2,400	1351	3,000
1004	4,000	1068	5,000	1142	4,400	1247	8,000	1352	4,000
1006	7,200	1071	2,000	1143	600	1248	2,400	1353	1,200
1007	4,400	1072	8,000	1144	3,000	1249	4,000	1354	1,000
1008	3,200	1074	5,200	1160	2,400	1251	16,000	1355	2,000
1009	2,600	1075	3,000	1165	5,000	1254	24,000	1356	2,000
1011	3,000	1077	3,000	1166	8,000	1255	6,400	1357	3,000
1012	9,500	1078	3,000	1167	1,000	1256	120,000	1358	3,000
1013	3,000	1079	2,000	1169	5,800	1257	2,400	1360	3,000
1014	600	1081	3,000	1170	5,600	1259	2,400	1361	1,000
1015	1,000	1083	3,000	1172	3,000	1260	2,400	1362	1,000
1017	3,000	1086	3,800	1174	3,000	1261	2,400	1363	9,000
1018	3,000	1089	3,000	1176	3,000	1262	2,400	1364	3,000
1019	4,800	1090	2,000	1177	1,400	1263	8,000	1369	2,000
1020	3,000	1091	3,000	1178	3,000	1264	8,000	1371	5,000
1021	8,500	1092	3,000	1180	12,000	1265	4,800	1372	3,000
1022	6,200	1093	7,200	1181	4,000	1267	4,800	1374	1,000
1023	5,000	1094	2,000	1186	7,200	1270	4,800	1375	1,000
1024	3,000	1096	1,600	1187	4,000	1271	16,000	1376	1,000
1025	1,000	1097	4,800	1191	8,000	1272	16,000	1379	3,000
1027	4,000	1098	3,600	1192	5,000	1273	3,800	1381	1,000
1028	3,000	1099	3,200	1196	6,000	1274	8,000	1382	13,000
1029	4,000	1100	4,000	1204	3,000	1278	64,000	1383	2,400
1030	4,000	1101	4,000	1206	3,000	1279	40,000	1385	1,400
1031	3,000	1105	10,000	1209	3,000	1280	8,000	1386	5,400
1033	13,500	1106	3,000	1210	2,600	1287	2,400	1387	3,000
1035	10,000	1107	3,000	1212	2,600	1288	4,000	1389	3,400
1036	11,500	1108	10,000	1213	8,000	1290	48,000	1390	8,000
1037	7,000	1110	31,000	1215	2,600	1294	1,200	1391	200,000
1038	13,000	1111	17,500	1216	3,200	1295	1,000	1392	22,000
1039	11,000	1112	18,500	1217	1,000	1296	2,400	1393	8,000
1040	8,000	1114	4,200	1218	1,000	1299	8,000	1398	17,500

Lot	落札値
1399	3,000
1400	12,000
1401	3,000
1402	20,000
1403	7,200
1404	5,000
1405	6,000
1409	3,200
1410	54,000
1412	39,000
1413	10,500
1414	3,000
1415	5,000
1419	5,200
1421	3,600
1422	11,000
1424	6,000
1427	3,000
1428	5,000
1430	12,000
1433	8,000
1434	10,500
1435	3,000
1436	3,000
1437	1,400
1438	3,600
1439	1,000
1440	29,000
1441	1,000
1442	3,000
1444	5,000
1445	3,400
1446	1,000
1448	3,000
1450	4,800
1454	4,000
1455	1,000
1456	3,200
1457	3,000
1458	4,000
1459	3,000
1461	1,000
1462	4,000
1463	22,000
1465	2,000
1466	3,000
1467	3,000
1468	3,000

Lot	落札値
1470	2,000
1471	2,000
1472	2,000
1475	3,000
1477	3,200
1479	1,000
1480	1,400
1481	7,000
1482	7,000
1483	12,000
1486	1,000
1487	1,600
1489	1,400
1491	1,400
1492	1,000
1493	3,000
1494	1,800
1497	2,000
1498	8,500
1499	1,000
1500	23,000

2020 年秋の文献セール (2020.10.29 メール)

最終落札結果

成約品数 : 309 点
 成約率 : 100%
 成約総額 : 524,922 円
 事前入札者 : 76 人
 事前入札点数 : 485 ビッド

Lot	複	*	落札値
E1			200
E2	2		3,700
E3	2		5,100
E4	2		4,100
E5	1		5,000
E6	2		5,100
E7	2		5,100
E8	1		3,000
E9	1		5,000
E10	1		5,000
E11	2		21,100
E12			5,000
E13	2		6,600
E14	2		18,100
E15			8,204
E16	2		5,100
E17	9	*	21,000
E18	1		500
E19			200
E20	3		2,100
E21	1		1,000
E22			100
E23			100
E24	1		3,000
E25			100
E26	1		1,200
E27	5		1,900
E28	3		3,800
E29	2		1,000
E30			398
E31			372
E32	2		500
E33			367
E34			376
E35			475
E36			469
E37			293
E38	1		400

Lot	複	*	落札値
E39	3		1,000
E40	1		1,000
E41	4		1,000
E42	2		1,700
E43	1		800
E44	1		800
E45	2		700
E46			112
E47	1		1,000
E48	1		800
E49	3		1,500
E50	1		1,000
E51			220
E52			2,842
E53	3		900
E54	2		2,000
E55	8	*	3,000
E56	2		2,300
E57	2		1,100
E58			220
E59			383
E60			120
E61			1,467
E62	1		2,000
E63	1		300
E64			100
E65	3		1,200
E66			587
E67	1		1,000
E68	1		5,000
E69	1		1,000
E70			469
E71	1		1,000
E72	2		1,400
E73	1		300
E74	2		1,600
E75			100
E76			100

Lot	複	*	落札値
E77	1		600
E78			733
E79	1		2,000
E80	1		2,000
E81	2		800
E82	3		1,000
E83	1		300
E84	5		3,900
E85	6		3,900
E86	4		1,700
E87	2		1,300
E88			
E89	4		2,500
E90	4		2,700
E91	6		2,800
E92			800
E93			587
E94	2		1,800
E95	3		1,700
E96	4		2,100
E97	2		1,200
E98			500
E99	2		2,000
E100	3		2,000
E101	4		1,900
E102	5		1,300
E103	4		2,000
E104			880
E105	1		800
E106	1		1,500
E107	1		1,000
E108	2		1,900
E109	5		1,600
E110			938
E111	1		1,500
E112	2		400
E113			168
E114			374
E115	1		800
E116			488
E117			759
E118			1,513
E119	3		2,200
E120			
E121			703
E122	4		3,700
E123	1		800
E124			100

Lot	複	*	落札値
E125			374
E126			299
E127			600
E128			100
E129	1		800
E130			100
E131			200
E132	3		1,400
E133			
E134	6		3,600
E135	4		1,400
E136	10		3,500
E137	1		1,000
E138	3		900
E139	2		1,000
E140	3		8,100
E141	1		1,200
E142			572
E143	1		500
E144	2		3,300
E145			587
E146	1		1,000
E147			330
E148	1		1,200
E149	4		2,300
E150	4		1,700
E151			220
E152	3		600
E153	2		1,700
E154			465
E155	4		2,100
E156	2	*	1,200
E157	2		5,100
E158	2		2,600
E159	1		500
E160			234
E161			100
E162	2		1,500
E163	1		1,000
E164			367
E165	2		2,200
E166	2		5,000
E167			2,060
E168	6		4,300
E169	1		5,000
E170			300
E171	1		800
E172			100

Lot	複	*	落札値
E173	6		4,000
E174			
E175			500
E176			484
E177	4		1,500
E178			
E179			500
E180			478
E181	1		1,000
E182			1,100
E183	2	*	1,200
E184	2		2,100
E185	2		1,600
E186	6		1,600
E187			1,408
E188	3		1,900
E189	3		1,400
E190			1,396
E191			1,125
E192	3		3,400
E193	1		500
E194			297
E195	2		800
E196			465
E197			100
E198	2		3,500
E199	6		4,400
E200			306
E201			2,347
E202			587
E203			200
E204			374
E205			385
E206	2		1,100
E207	2		400
E208	1		800
E209			299
E210	2		1,700
E211	1		1,000
E212			121
E213			374
E214	1		3,000
E215	1		500
E216	1		600
E217	2		2,800
E218	2		2,100
E219			

Lot	複	*	落札値
E220			
E221	4		2,200
E222			469
E223	2		1,100
E224	3		1,700
E225	1		1,000
E226	2		1,100
E227	4		1,100
E228	2		3,500
E229	1		1,500
E230	1		1,000
E231			587
E232	1		800
E233	1		500
E234	1		500
E235			100
E236			140
E237	1		800
E238	2		2,400
E239			733
E240	1		800
E241	3		2,100
E242	3		600
E243			400
E244	1		500
E245			73
E246	4	*	5,000
E247	4		4,700
E248	2		1,100
E249	2		1,200
E250	7		4,500
E251	3		4,600
E252	2		3,300
E253	1		300
E254			1,467
E255			1,818
E256	2		2,900
E257	3		3,100
E258			364
E259	1		1,200
E260	3		2,200
E261	2		4,500
E262	7		8,700
E263	5		3,700
E264			1,480
E265	3		4,100
E266	2		4,100
E267	4		3,100

Lot	複	*	落札値
E268			3,044
E269			383
E270			383
E271	7		3,900
E272			100
E273	1		1,000
E274	3	*	3,000
E275	2		3,700
E276	2		600
E277	1		500
E278			293
E279	2		400
E280	2		1,300
E281			587
E282	1		1,000
E283			800
E284	1		374
E285			327
E286			587
E287			100
E288	1		300
E289			187
E290	2	*	300
E291			469
E292	2		700
E293			73
E294	2		200
E295			73
E296			74
E297	1		300
E298	2		500
E299	1		400
E300	1		400
E301	2		900
E302	2		1,100
E303	1		500
E304	2		800
E305	1		600
E306			469
E307			297
E308	4		1,500
E309	6		1,900

落札手数料を除く金額。「複」は事前入札数。「*」は同値事前入札あり。「複数ビダー」欄を一つの枠で囲んだロットは「同一内容・同一状態・同スタート値」が複数ある旨記載されたロット。WD（出品取り消し）なし。

スタンペディアオークション 2021 年開催予定

1/9	16 回セール
1/29	冬の文献セール
4/24	17 回セール
5/25	春の文献セール
7/3	18 回セール
7/29	夏の文献セール
10/2	19 回セール
10/29	秋の文献セール

予定が変更になる場合は、ホームページ及び通常セールのカタログで案内します

1. 機関誌「フィラテリスタマガジン」のお届け

機関紙通常号本誌（付録含まず）を3/25、6/25、9/25、12/25 前後にお送りします。

* 受け取る冊子の判型を『A5 判(年会費 3,980 円)』『A4 判(年会費 9,980 円)』より選択できます。

2. 機関誌「フィラテリスタマガジン」2021 年発行分 PDF のダウンロード権利

3/15、6/15、9/15、12/15 の4回発行するほか、年数回の号外を発行予定です。

3. 書籍「日本郵趣記事索引 2021」のお届け

フィラテリスタマガジン等の郵趣記事索引を掲載した書籍(冊子)を2022年3月頃にお届けします。

4. 単行本販売時の優先取り扱い

当社発行書籍等をお申し込みいただく場合、非会員に比べて優遇した条件で販売する場合がございます。オンラインからの注文に関してはマイスタンペディアにてワンクリックでお申込みいただける仕組みも導入しております。

5. 提携先の「スタンペディアオークション株式会社」の優待サービスを受けられます

スタンペディアオークション株式会社(以下、同社)より「スタンペディア日本版」会員向け優待サービスが提供されており、同社が利用停止した方を除く全ての当会会員が利用できます。

(1) 毎回のセールカタログを、当会機関紙の郵送時に、同梱して受け取ることができます。

(2) 入札や下見にあたり、同社への会員登録の申し込みは不要で、当会会員の資格で参加できます。

(3) 事前入札において同値の場合、当会会員の取り扱いが優先されます。

(4) 一定条件を満たす事前入札に対して、入札確認通知の郵送を行います。

(5) **新企画**「落札品送料 5人に1人ただ」キャンペーンに参加できます。

会費有効期間 2021年1月1日ー12月31日

ご入会案内

1. まず、お受け取りになる冊子のサイズを『A4 判』か『A5 判』か、お決めください。
年会費は A5 判の場合 3,980 円、A4 判の場合 9,980 円 です。
2. 該当する金額を本ページ「送金先」欄のいずれかの方法でご送金ください。
3. ご連絡先（郵送先・電子メールアドレスのいずれか、もしくは両方）を当社にご連絡ください。
ご連絡先が分からない場合は、当社からはサービスの提供を開始できません。

ご寄稿案内

当誌は2013年12月に創刊された、総合郵趣雑誌（季刊）です。

フルカラー160ページの紙面を、フィラテリーに関する寄稿記事に最優先に割り当てています。「このような内容は掲載できるかな?」「他の郵趣雑誌ではページ数や編集の都合でうまく書けない/掲載できない」「連載で書きたい」「これまで寄稿を郵趣雑誌にすることはないけれどぜひ書いてみたい」といったフィラテリストの情報発信を、本誌への寄稿記事で実現してみませんか?

「マテリアルは持っているのだけど、記事を書くまでではない」といった方には、『私の発見・私の報告』や『切手コレクションの紹介』への掲載のご相談も承ります。

- (1) ご寄稿にあたり、お送りいただきたいものは、テキストと画像です。画像については、200dpiのスキャナーやスマホカメラで撮影した写真を添付ファイルとしてお送りください。
- (2) (1) のような手段のない方はカラーコピーをご郵送ください。なお、お送りいただいた原稿、カラーコピーほか資料は返却しません。送付はなるべく USB メモリをご活用ください。
- (3) いただいた原稿は、編集部で判断の上、編集して掲載いたします。手書き原稿もお引き受け可能ですが、キャパシティに上限がありますので、長文の場合は事前にご相談ください。

連絡先: tpm@stampedia.net

郵送先: 102-0083 海事ビル内郵便局留 スタンペディア 宛て
30 号へのご寄稿締切日は、**2021 年 2 月 15 日**です

あとがき

寒い！こたつが恋しい！お鍋が食べたい！師走ですね。

今年は残念ながら年末帰省ができないかもしれません。毎年恒例の「こたつでのぬくぬく寝正月」はお預けになりそうです。お筆り年末年始の予定の方も多いのではないのでしょうか。是非お共に本誌 29 号を！今号もフルスロットル！

ひとり暮らしをはじめた大学生時代の冬、祖母から手紙が届きました。「床に直で座っているのは、きっと寒いことでしょう。えみちゃんが寒さに耐えているかと思うと、ばあちゃんは涙が出ます」と言った内容だったと思います。その手紙を読んで私の目頭も熱くなったのを覚えています。それから数年後の冬、祖母は突然あの世に旅立ってしまいました。

さて、先程の手紙には続きがあります。「これで、敷物でも買ってください。」そうです。現金も一緒に同封されていたのです。当時、親が懸命に働いたお金で都内でひとり暮らしをさせてもらっていた私。仕送りが家賃込みのギリギリの額でした。大学の課題が多くバイトをする時間がなく、仕送りをなんとかやりくりして過ごしていた貧乏学生だったので、「ばあちゃん ありがとー！」と心底祖母に感謝しました。心も懷も温まった、孫想いのばあちゃんの思い出です。

あれから時は過ぎ、郵趣家となった「えみちゃん」は今…

あれは、現金書留だったのでは？そうだった気がする！現金書留の封筒だったと思う。あれへ、封筒無いや、捨てちゃったかな？封筒はとっておこうよ（過去の自分）。

と、まあこんな感じです。（笑）

必死に封筒を探す孫を、手紙じゃなくてそっちかーい！と天国からきつと苦笑しながらも見守ってくれている事でしょう。ちょっとした「えみちゃん」の冬の思い出でした。（菊地）

書 名：スタンペディア日本版機関誌「フィラテリストマガジン」

号 数：第 29 号（2020 年冬号）

発行日：2020 年 12 月 30 日

価 格：1,500 円（消費税込）

発行部数：700 部

発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

発行人：吉田敬

編集部：北川朋美、菊地恵実

Name of the magazine: The Philatelist Magazine

Number: 29th (2020 Winter issue)

Date of issue: December 30th 2020

Price: 1,500 Yen

Number of printing: 700 copies

Publisher: Stampedia, inc. Takashi Yoshida

Editor: T. Kitagawa, E. Kikuchi

連絡先

(1) 郵便 〒102-0083

海事ビル内郵便局留置

スタンペディア

(2) F A X 03-5770-8504

(3) 電子メール tpm@stampedia.net

送金先

(1) ゆうちょ銀行 10060 14016181

(2) 楽天銀行 ロック支店 普通 7027345

(3) ゆうちょ振替口座 00100-4-515137

(4) Paypal order@stampedia.net

* 加入者名はいずれも『無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社』です。

スタンペディアオークション

第16回セール

フロア 2021年1月9日(土) 12:30 切手市場第2会場
会場 東京都中央区日本橋富沢町8-10 綿商会館5階

COVID-19の感染状況による行政判断等により競売方法・日時や会場が変更される場合があります
急な変更がある場合はホームページでご案内します



グアテマラ 二色刷切手 Center Inverted



旧小判 10 銭 二重丸 仁川港



フォークランド ペンギン含む人気シリーズ 使用済は珍しい



1841 ペンスブルー プルーフ



発行 2 日目使用例 1840.5.7

北朝鮮 実通 400 通



サイパン機械印



南方占領地充実



菊 1.5 銭・同朝鮮字入 私製葉書 初期使用例

